

十A-29

1113  
86-0

凡例

一 本書ハ明治二十八年十二月現行ノ本縣令達ヲ類輯シ以テ處務ノ參考ニ資スルモノナリ故ニ告示告諭ノ類ト雖モ必要ト認ムルモノハ之ヲ採録ス

一 分類ハ概テ事務ノ區別ニ從フ然レトモ一令達ニシテ數事ニ關涉スルモノハ關係ノ重ナル部門ニ掲ケ又部門ニ屬シ難キモノハ雜トス

一 令達中一部分ノ更正刪補ニ係ルモノハ其沿革ヲ明瞭ナラシムル爲メ直ニ訂正ナサス新舊令併載其欄外ニ參照ヲ附ス

一 同文ノ令達ニシテ番號ヲ異ニセルモノ例ヘハ一ヲ告示トシ他ヲ訓令ト爲セルモノハ如キハ其一方ヲ掲ケテ事由ヲ附記ス

鳴根縣令規類纂上卷目次

官規  
 服務規律  
 儀式  
 叙動  
 外國人  
 統計  
 官報報告  
 雜

○第一類

會  
 帝國議會議員選舉  
 縣會  
 地方稅賦課徵收  
 備荒儲蓄  
 會計檢查  
 雜

○第二類

賞典

鳴根縣令規類纂上卷目次

○第一類

- 官規
- 服務規律
- 儀式
- 叙動
- 外國人
- 統計
- 官報報告
- 雜

○第二類

- 會
- 帝國議會議員選舉
- 縣會
- 地方稅賦課徵收
- 備荒儲蓄
- 會計檢查
- 雜

○第三類

賞典

一 一 六 三 二 六 〇

二 二 四 五 一 三 一 四 九 五 三 一 五 九

索引

救恤	一六二
命令告示	一六八
願屆	一七一
島廳	二二〇
郡役所	二二五
委任條件	二六二
戶長役場	二七六
市町村附水利組合	二九三
市町村區域及名稱	二九四
市役所町村役場位置	三五二
市町村會	三六九
市町村費	三七五
市町村吏員及事務	三八五
水利組合	四三八
隱岐國町村附水利功會	四三八
海外行	四五九
行旅病人及死亡人	四六一
雜	四七〇
○第四類	
土木	四八八
道路	四八九
橋梁	

河川堤防	四九一
官舍 郡廳舍	四九六
工事	五一七
報告	五四三
土木管區	五五四
土木費	五五五
土地	五六八
地籍	五六八
官有森林原野	五八二
官有土地水面處分	五八三
○第五類	
縣立學校	六〇二
小學校	六八二
設備	六八二
教則	六九八
教員	七三一
學齡兒童附設材料	七六三
教科用圖書	七七八
各種學校	七九七
報告	八〇八
雜	八四九

# 島根縣令規類纂上卷

## ○第一類

### 官規

#### 服務規律

●訓令第二百八號

明治二十年九月七日

郡役所

戶長役場

勅令第三十九號官定服務規律ニ於テ本屬長官ノ許可ヲ得ルニテ禁止セラレタル條項中第六條第十一條ニ限リ郡役所雇ニ關スルモノハ郡長ニ於テ許否ノ戶長役場用係生ニ關スルモノハ戶長ニ於テ許否スヘシ

#### 儀式

●第三百五十號

明治六年八月二十九日

●第二百五十八號

太陽曆ニ掲載ノ御祭日御祝日等ハ追テ確定スヘキ旨壬申第三百六十號布告候處今般歷世ニ皇靈以下御祭日及御祝日等月日相常推步相成本月二十四日ヨリ別紙ノ通被改候條此旨布告候事

但成務天皇御祭典ハ已ニ被爲濟 一條天皇 光明天皇 後宇多天皇ハ本年限舊日ヲ以被爲行候事

明治六年七月二十日

太政大臣

別紙

一神宮以下諸社御祭日ノ義ハ舊曆定日ヲ新曆日ニ充テ尤從前干支ヲ用ヒ來候分ハ當年相當ノ日ヲ以テ永ク御祭日ト被定候事

一一月一日ヨリ一ヶ年諸御祭日御祝日等ハ來七年甲戌曆面ニ掲載追テ頒行可致事

七月二十四日

後宇多天皇

全 二十六日

垂仁天皇

全 二十七日

鳥羽天皇

●第一類 ○官規 ○服務規律 ○儀式

六年第五百七十號參照

全二十九日	成務天皇	全三十一日	一條天皇	白河天皇	
八月三日	光明天皇	全四日	北野祭	全九日	平成天皇
全十一日	後龜山天皇	全十三日	光嚴天皇	大島祭	
全十五日	男山祭 宇佐祭	全十六日	堀河天皇	三島祭	
全十八日	鹿島祭	全二十日	香取祭	鎌倉祭	
八月二十四日	弘文天皇	全二十五日	後深草天皇	全二十七日	齊明天皇
全二十八日	嵯峨天皇	全二十九日	近衛天皇	全三十日	六條天皇
全三十一日	孝昭天皇	全七月	後堀河天皇	全八日	宇多天皇
九月一日	孝謙天皇	全九日	雄略天皇	全八日	宇多天皇
全十日	稱光天皇	全十一日	雄略天皇	生國魂祭	
全十二日	仁賢天皇	全十一日	朱雀天皇	後水尾天皇	
全十七日	二條天皇	全十五日	石上祭	全十六日	敏達天皇
全十七日	神宮神嘗祭	全十八日	後一條天皇	豐國祭	
全二十一日	光孝天皇	全二十三日	秋季祭	全二十四日	靈元天皇
九月二十二日	井伊谷祭	全二十三日	秋季祭	全二十六日	圓辨祭 日崩祭
全二十五日	安康天皇	全二十四日	秋季祭	全二十四日	靈元天皇
全二十七日	後醍醐天皇	全二十四日	秋季祭	全二十六日	圓辨祭 日崩祭
十月一日	慈德天皇	全四日	天武天皇	全七日	後奈良天皇
全十一日	孝元天皇	全十二日	龜山天皇	全十四日	順德天皇
全十六日	伏見天皇	全二十一日	醍醐天皇	全二十八日	陽成天皇
全三十日	後光明天皇	全三十一日	後土御門天皇		

十一月三日	天長節	全十日	新春祭班幣	全十三日	土御門天皇
全十四日	淳仁天皇	全二十日	舒明天皇	全二十二日	欽明祭
全二十三日	新春祭	全二十七日	孝德天皇	冷泉天皇	
十二月一日	神宮月次祭	全四日	明正天皇	全六日	後醍醐天皇
全十日	花園天皇	全十二日	光格天皇	全十二日	光格天皇
全十四日	崇峻天皇	全二十三日	景行天皇	全二十四日	後醍醐天皇
全三十一日	大坂				

右之通從太政官御布告相成候條管内無洩觸示者也  
 ●第五百七十號 明治六年十二月二十三日  
 第四百六號  
 本年七月第二百五十八號布告及來明治七年太陽曆中  
 醍醐天皇御祭日十月二十一日、揭曉有之候、全月二十八日、候條此旨布告候事  
 明治六年十二月八日  
 右之通從太政官御布告相成候條管内無洩觸示者也  
 ●第四百四十八號 明治六年十月二十五日  
 各區正副戸長立  
 歷世  
 皇靈御祭日並御祝日等月日相當推歩云々從太政官依御達第三百五十號ヲ以テ相違候内  
 天長節十一月三日相當ニ候處數件ノ儀ニ付萬一粗漏看過候様ノ儀有之候、ハ不相濟事ニ候條爲心得此旨更ニ  
 相違候事  
 但自今其都度相違不申候條同就布達之儀熟知可致事  
 右之通管内無漏相違スルモノ也

●第一類 ○官規 ○儀式

乙第百十八號 明治十年十月十九日

各區區長

勅委任官大禮服ノ義上下衣袴トモ黒羅紗地金飾章ノ大禮服用可致事  
但朝儀ニ係リ白鼠色ノ下衣袴着用ノ節ハ其旨兼テ式部寮ヨリ可及通知事  
非役有位ノ輩モ右ニ照準可致事

右之通從太政官御達有之候條區内非役有位ノ向ニ可相違候事

各區區長

乙第百五十九號 明治十年十二月二十八日  
來十一年一月ヨリ禮服用喚起之節ニ限リ黒或ハ紺色ノ上服(英フ ロックコート)若シハ羽織袴換用不苦候  
條此旨相違候事

各區區長

乙第百四十四號 明治十一年一月三十一日

三大節拜賀ノ節間ニハ上下着用候向ニ有之候處在職ノモノハ明治六年十月限リ直垂上下ヲ以テ換用不相成儀  
ニ付自今右様之儀無之様可相心得且黒或ハ紺色ノ上服若シハ羽織袴換用候ハ通常禮服用日ニ限リ候儀  
三天節ノ如キ大禮服用日ニハ換用不相成候條取混無之様可致注意此旨相違候事

甲第三十三號 明治十一年二月七日  
自今非職無位ノ輩ハ羽織袴ヲ以禮服用ニ換用不苦候條此旨爲心得布達候事

島根縣訓令第百七十一號 明治二十七年十月二十五日

- 島 廳 郡役所 警察署 警察分署 收稅署
- 監獄支署 土木管區員派出所 縣立學校 市役所
- 戶長役場 町村役場 市町村立小學校

新年紀元節天長節參賀之儀左ノ通定  
一 判任官准判任官判任待遇者(以上有位者)ハ當日午前九時所屬廳ニ參賀ス可  
但松江市内ノ學校職員縣社以下神職ハ縣廳ニ其他ハ其所屬島廳郡役所ニ參賀ス可

明治十一年訓令  
第百七十九號

一 遠地奉職ノ者又ハ職務ニ依リ參賀シ難キ者ハ賀表ヲ差出ス可  
一 病氣又ハ忌服等ノ事故アリ參賀シ難キ者ハ其參賀時限迄ニ届山忌服ノ外ハ尙賀表ヲ差出ス可  
一 參賀又ハ賀表ヲ受ケタル島司郡長ハ其旨開申ス可  
(賀表書式參ス)

島根縣訓令第百七十九號 明治二十七年十二月七日

- 島 廳 郡役所 警察署 警察分署 收稅署
- 監獄支署 土木管區員派出所 縣立學校 市役所
- 戶長役場 町村役場 市町村立小學校

明治二十七年十月島根縣訓令第百七十一號賀表書式左ノ通改正ス

連名賀表書式(料紙美濃紙)

賀表書式(料紙美濃紙)

謹奉賀新年  
紀元節 官職氏名  
天長節

謹奉賀新年	折目
紀元節	折目
天長節	折目
官職氏名	折目
年月日	折目

第一編 〇規 〇儀式

五

●島根縣告示第七十四號 明治二十七年十月二十五日  
新年及天長節午前十時ヨリ午後三時マテ縣廳島郡役所ニ於テ  
聖上

皇后兩陛下ノ御眞影衆庶ノ參拜ヲ許ス

●島根縣訓令官第八十七號 明治二十七年十月二十五日 島 郡 役 所  
新年及ヒ天長節其廳(郡役所)奉置ノ

聖上

皇后兩陛下ノ御眞影衆庶ニ參拜差許シ候條其地警察署(警察分署)ニ打合セ禮衛方不都合無之様取計フヘシ

●島根縣訓令官第八十八號 明治二十七年十月二十五日 官兩縣社 社務所  
三大節福宜主典ハ其神社ニ參賀又ハ賀表ヲ差出ス可シ之ヲ受ケタル官司ハ其旨開申スヘシ

叙 勳

●甲第十四號 明治十二年一月十四日

叙勳者履歷届出心得別紙ノ通其筋ヨリ違相成候條此旨布達候事  
(別紙)

叙勳者履歷届出心得

第一條 新タニ勳等ニ叙セラレタル者ハ第二條離形ニ照準シ履歷書相認メ用紙美二間以内ニ復日數ニ之ヲ賞  
勳局ニ届出ヘシ

但從前勳等ニ叙セラレタル者ハ此心得書承了ノ日ヨリ本文同様ノ日數内ニ届出ヘシ

本貫族籍 元元 本本 苗字 名 籍貫

年號月日某國郡町村ニ於テ生

一 任 某 官 或ハ某職被申付候事

同 但遠督全文ヲ書載スヘシ 或ハ某職被差免候事

一 免 本 官 或ハ某職被差免候事

同 但同 上 上 或ハ某職被差免候事

一 叙 某 位 或ハ某職被差免候事

同 但同 上 上 復命ノ時ヲモ書載スヘシ

一 内外御用出張 復命ノ時ヲモ書載スヘシ

同 但同 上 上

一 賞 上 上

同 但同 上 上

一 責 上 上

第三條 勳等ニ叙セラレタル者ハ第二條履歷書ノ履歷濟ノ後左ノ事項有之節賞勳局ニ届出ヘシ  
但届出期限ハ第一條ノ例ニ同シ

一現ニ官位アル者ハ轉免黜陟等有之節  
 但達全文ヲ書載シ届出ヘシ  
 一非職ノ者新ニ任官叙位ノ命ヲ拜セタル節  
 但同上  
 一内外御用出張ノ命ヲ受タル節及復命ノ節  
 但同上  
 一賞典及責罰ヲ受タル節  
 但同上  
 一外國旅行ハ公私用ヲ不論發航及歸朝ノ節  
 一本貫族籍等轉換ノ節  
 一苗字名更改ノ節  
 一住所轉換ノ節  
 但叙勳ノ節ノ現在所ハ第二條履歷書ト共ニ届出ヘシ  
 一死亡ノ節  
 但遺族又ハ親族ヨリ其管轄廳ヲ經テ届出ヘシ

●乙第五號 明治十七年一月十五日  
 賞勳年金渡方手續概則別紙之通候條年金拜受者へ無遺漏違方可取計此旨相違候事  
 但明治十二年<sup>九</sup>本縣乙第九十六號達ハ廢止ス

年金渡方手續概則

第一款 賞勳局ハ有功受賞ノ本人へ年金下賜ノ儀達シ濟ミノ上年金票ヲ同時ニ本人へ付與スヘシ

第二款 賞勳局ハ年金下賜ノ時々何月幾日某官某名<sup>其府縣原行</sup>ノ叙セラレ年金若干ヲ賜<sup>チモ違テ</sup>第何號ノ年金

那 町 村

票ヲ下賜セラレタル旨及ヒ受賞人ヨリ申立タル年金受取場所共詳細大藏省へ通報シ同省ニ於テハ此通報ヲ得ルヤ直チニ該金額渡方取計ヘキ地方廳へ通達スヘシ

第三款 年金ハ本人管轄廳又ハ寄留ノ地方廳ノ内イラレニ於テモ其便ニ從ヒ受取得ヘキモノニ付受賞ノ本人ハ此金票ヲ該廳へ持參シ現金ヲ受取ルヘシ若シ他人ニ代理ヲ命セハ委任狀ヲ附シテ之ヲ該廳ニ示スヘシ

第四款 本人又ハ代理此金票ヲ持參セハ其管轄廳又ハ寄留ノ地方廳ニ於テハ之ヲ檢査シ其票一紙ヲ以テ本人終身金額ヲ受取ルヘキ等ニ付票上註明ノ金額渡濟<sup>シ</sup>ノ上本票ハ之ヲ持參セン受取人へ附還シ別ニ金額ノ收証ヲ出サシム

第五款 地方廳ニ於テハ別ニ一帳ヲ製シ置年金渡<sup>シ</sup>高月日受取人姓名等明細ニ記シ毎年六月十二月現金渡<sup>シ</sup>濟<sup>シ</sup>ノ上成規ノ通勘定帳ヲ大藏省へ差出スヘシ

第六款 年金ハ每年上半ケ年分ヲ六月一度ニ下半ケ年分ヲ十二月一度ニ地方廳ニ附與スルヲ例トス

第七款 年金ハ一月以降六月三十日マテノ日付年金証ヲ受タル者へハ上半ケ年分ノ金額ヲ給シ七月ヨリ以降十二月三十一日マテノ日付年金証ヲ受ケタル者へハ下半ケ年分ノ金額ヲ給スルヲ例トス

第八款 地方廳ニ於テ大藏省ノ達ヲ得ハ其全額ハ第六款ニ據リ同省へ請求スヘシ

第九款 勳等年金拜受ノ者其年金授受ノ順序ハ左ノ如シ

一 受賞人ノ請願ニ依リ其本官廳又ハ寄留ノ地方廳ニ於テ渡方取計ヲヘシ因テ金票拜受ノ際金額ノ受取場所ヲ賞勳局へ申立賞勳局ハ之ヲ大藏省へ通達シ大藏省ハ之ヲ該廳へ達スヘシ

二 年金受取場所ノ轉換ヲ要スルトキハ其旨本人ヨリ受取期月ノ前々月盡口迄ニ現在付ノ地方廳へ届出ツヘシ該廳ハ之ヲ届届ケ速ニ轉換先ノ地方廳へ通達シ其旨直ニ賞勳局及大藏省へ届出ヘシ

三 年金受取場所轉換願出ノ期限ハ前項ニ據ルヘキモノト雖トモ右期限後公務ノ爲メ年金附與ノ期節ニ際シ轉換ヲ要スルトキハ現交付ノ地方廳へ届出ヘシ該地方廳ハ届届ノ上其旨速ニ賞勳局へ届出ヘシ但大藏省及新主管廳へ報告方ハ本年三月大藏省令第五號取出取扱順序第七十九條ニ據ルヘシ

第一類 ○官規 ○叙勳



一改正  
ニ付訂正

第十款 年金受領ノ本人死去スル時ハ其死去ノ日一月以降六月マテニ在ルモノハ上半年分七月以降十二月マテニ在ルモノハ下半年分ヲ給スヘシ但シ其年金票ハ最終ノ下付金ヲ給スル時地方廳ニ之レヲ收メ地方廳ヨリ賞勳局ニ還納スヘシ賞勳局ハ之レヲ大藏省ニ通牒スヘシ

第十一款 勳等年金拜受ノ者事故アリ姓名ヲ改メントキハ本籍戸長ノ奥印アル届書ヲ本人所有年金證ニ附シ現受取場所ノ地方廳ニ出スヘシ地方廳ニ於テハ之ヲ認可シ該年金證ノ裏面ニ何年何月何日改姓名セシコトヲ簡明ニ記入シ長官之ニ名印ヲ本人ニ封付ス而後地方廳ニ其事山ヲ賞勳局長及ヒ大藏省ニ届出スヘシ

但シ年金拜受以來ノ改姓名ニ係ル者ハ都テ此手帳ニ據ルモノトス

第十二款 勳等年金拜受ノ者水火災或ハ盜難ニ罹リ又ハ遺失等ニテ所有ノ年金證紛失コ及フコトアラハ即時ニ該證ノ寫シ全文其寫シヲ所持ナキ者ハ何號何額ノ年金證如何ナル事山ニ依テ紛失コ及ヒタル次第ヲ詳記シ代リ年金證請求方ヲ年金受取場所ノ地方廳ニ願出スヘシ地方廳ニ於テ右ノ願書ヲ受取ルトキハ其旨賞勳局ニ申請シ且同時ニ紛失ノ旨大藏省ニ届出スヘシ然ルトキハ賞勳局ニ於テ前證ニ代ニシテ新證ヲ作り該地方廳ヲ經テ本人ニ付與セシムヘシ尤新證ヲ付與セサル間ハ本人ノ年金渡方ヲ停止ス仍テ其間ニ相渡スヘキ年金ハ新證ヲ付與シタル次ノ拂渡期月ニ一同之ヲ相渡スヘシ

但本文紛失ノ年金證ハ發覺次第本人ヨリ其管轄廳ニ差出シ該廳ヨリ之ヲ賞勳局ニ届出スヘシ

第十三款 勳等年金拜受ノモノ其勳章及年金ヲ褫奪セラレ又ハ勳章及年金ヲ停止セラレタル時ハ其區分左ノ如シ

一 重罪輕罪ノ訴ヲ受ケテ拘留ノ後保釋資付亦同シ勳章褫奪セラレタルモノハ其拘留セラレヨリ日ヨリ年金ヲ止

二 明治十六年第三十九號違第一條第二項第三項ニ依リ勳章ヲ褫奪セラレタルモノハ其褫奪ノ日ヨリ年金

ヲ止ム

三 輕禁錮以下ノ刑ニ處セラレ勳章褫奪ニ至ラサルモノハ其犯罪ノ訴ヲ受ケテ拘留セラレヨリ日ヨリ刑期終ルノ日迄年金ヲ給セス

四 犯罪ノ訴ヲ受ケテ拘留ノ後免訴ノ言渡ヲ受ケタルモノハ其拘留セラレヨリ日ヨリ放免ノ日迄年金ヲ給セス又無罪ノ言渡ヲ受ケタルモノハ之ヲ給ス

第十四款 年金附與ノ期月ニ至リ前款一項二項ノモノハ其拘留又ハ褫奪以前ニ保ル分ヲ附與シ又三項四項ノモノニハ其停止中ノ分ヲ扣除シ又ハ扣除セスシテ附與スヘシ若シ拘留及刑期年金附與ノ期月ニ跨ルトキハ次回ノ期月ニ於テ計算附與スヘシ

年金扣除ノ計算方ハ壹ケ年ニ滿タサルモノハ年額ヲ十二ケ月ニ拆算シ又一ケ月ニ滿タサルモノハ一ケ月三十日ヲ以テ算スヘシ但シ月ト日トニ跨ルトキハ皆日數ニ換ヘ年額ヲ乘シ三百六十日ヲ以テ除算スヘシ

第十五款 勳等年金拜受ノ者勳章褫奪又ハ停止セラレタルトキハ賞勳局ハ之ヲ大藏省ニ通報シ大藏省ニ於テハ年金渡方ノ地方廳ニ達スヘシ

第十六款 勳等年金拜受ノモノ失踪若クハ逃亡スルトキハ其他人ニ代理ヲ命スルト否トニ拘ハラス地方廳ニ於テ年金渡方ヲ停メ置キ他日復歸スルカ又ハ踪跡分明ナルトキハ榮譽ヲ汚辱スルノ所爲アリシヤ否ヲ取調ヘ其所爲之レナキトキハ年金附與ノ期月ニ於テ全額ヲ下付スヘシ若シ其所爲之レアルト見ルトキハ明治十六年第三十九號違ニ依リ賞勳局總裁ニ具狀スヘシ

但失踪逃亡ノトキ又ハ踪跡分明若クハ復歸シタルトキハ(本文具狀ナ)速ニ地方廳ヨリ賞勳局及ヒ大藏省ニ届出スヘシ

明治十六年十月

乙第九十五號 明治十九年七月二十四日

太政官賞勳局  
大藏省  
郡役所 戶長役場

第一類 ◎官規 ○叙勳

明治十六年<sup>十</sup>月本縣乙第百二十九號違勅章年金襍券及停止取扱手續左之通改正相成候ニ付テハ第一條第四項ニ  
關ル、者アルトキハ戶長ニ於テ取調其情狀ヲ具申スヘシ此旨相違候事(手続ハ十九年關令)  
●縣令第百三十七號 明治二十二年十二月二十六日  
賞勳年金拜受者ニシテ年金渡方手續概則第九款第二項第三項若シハ第十二款ニヨリ本廳へ差出ス願書ハ其地  
所轄ノ島廳戶長役場郡役所町村役場若シハ市役所ヲ經由スヘシ

外國人

●告示第七十八號 明治二十二年五月十八日  
私雇外國人ノ内許可ヲ得テ居留地外へ住居ノ者居留地外ニ於テ轉居ノ節ハ自今雇主ヨリ當廳ヲ經外務大臣へ  
届出ツヘシ

●島根縣告示第五十八號 明治二十四年七月二十一日  
明治二十二年<sup>五</sup>月告示第七十八號中居留地外ニ於テ下ニ「雇主ノ轉居ト共ニ轉居スルカ若シハ當初許可ヲ得  
タル住居地ノ近傍ニ」ノ三十一字ヲ加フ

統計

●島根縣訓令第十四號 明治二十八年一月二十三日  
島 廳 郡役所 市役所 戶長役場 町村役場  
左ノ事項別紙様式ニ依リ市役所ハ翌年度四月限<sup>ニ十六年度分ハ本年</sup> 郡役所 市役所 戶長役場 町村役場 同月二十日限<sup>ニ十六年度分ハ本年</sup>  
ニ十六年度分ハ本年 島廳郡役所ニ報告スヘシ  
島廳郡役所ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡別ニ統計シ同年度四月二十日限<sup>ニ十六年度分ハ本年</sup> 報告  
スヘシ

一地租納人員  
(別紙)

地租納人員	地租納人員	明治何年度
郡市名(役場名)		

本表ハ當該年度中ニ納付ノ人員ヲ記入スヘシ  
●島根縣訓令第十五號 明治二十八年一月二十三日  
左ノ事項別紙様式ニ依リ翌年二月限<sup>ニ十六年度分ハ本年</sup> 報告スヘシ  
但明治二十七年分<sup>第六表</sup>ハ來ル二月限<sup>ニ十六年度分ハ本年</sup> 報告スヘシ

- 一 寒暖
- 二 島嶼ノ戶口
- 三 農家
- 四 農業者
- 五 漁戶及漁人
- 六 島廳 郡役所 給仕小使

第一 寒 暖	明治何年度
島廳 所在地 平均	最高 最低
郡役所	度 月 日 度 月 日

●第一類 ○官規 ○統計

寒暖計ハ華氏ヲ用ニハシ平均トハ一ケ年ノ平均ヲ云フ觀測ノ時刻ハ正午トス

第二 島嶼ノ戸口

明治何年十二月三十一日調

島名	戸數	男	女	合計

戸數ハ現在ノ寗數、人口ハ本籍ノ内ヨリ出寄留ヲ除キ入寄留ヲ加ヘタル數ヲ掲ケヘシ

第三 農家

明治何年十二月三十一日調

郡市	總數	兼業	總數	田	畑
	戸數	戸數	戸數	歩厘毛	歩厘毛

第四 農業者

明治何年十二月三十一日調

郡市	總數	農業者		自作及小作人
		専業	兼業	
		男	女	

農業者ト自作及小作人ノ數ト符合スルモノトス

第五 漁戸及漁人

明治何年十二月三十一日調

郡市	總數	漁	
		専業	兼業
		男	女

第六 給仕小使

明治何年十二月三十一日調

名	稱	人	員	月	俸	額

第一類 官規 統計

小

使

一六

俸給ハ十二月三十一日ノ現員ニ支給スヘキ一ヶ月ノ給額ヲ揚載スヘシ但圓ニ滿ラサル端數ハ四捨五入シテ圓位ニ止ムヘシ●日給ノモノハ三十日ヲ以積算スヘシ

官報報告

訓令第百九十九號 明治二十年八月二十六日  
郡役所官報報告心得書左ノ通更正ス

郡役所

第一條 凡郡村ニ於ケル官報原稿ノ材料トナルヘキ事項ハ郡役所官報報告委員ニ於テ之ヲ縣廳官報報告主任ニ報告スヘシ

第二條 凡報告ハ最迅速ニシテ且事實ノ精確ナルヲ要ス若シ報告ノ事項毎ニ時機ニ後ル、カ又ハ誤謬アルト

キハ爲ニ官報ヲシテ其効用ヲ失ハシムルノミナラス或ハ政府ノ体面ニ關スル如キノ恐レナントセス故ニ報告委員ハ深ク注意シテ報告ノ時機ト事實ノ精確トヲ失ハサルコトヲ要スヘシ

第三條 報告委員ハ毎土曜日ニ報告事項ノ遺漏ナキ旨ヲ郡長ニ證明スヘシ他日若シ遺漏アルトキハ該委員其責ニ任ス

第四條 報告ヲ要スル事項ノ概目ヲ示ス左ノ如シ

- 一 緊要ナル郡役所告示ノ要領
- 二 緊要ナル戸長會議ノ要領
- 三 火災
- 四 著キ民衆ノ墜替

廿一年訓令  
第三百一十一號  
廿三年全第  
二百十六號  
參照

- 五 降雹震死其他天變地異及事變
  - 六 諸税及町村費ニ關スル緊要ノ事項
  - 七 社寺ニ關スル緊要ノ事項
  - 八 軍艦出入港
  - 九 兵員優待慰勞及兵事ニ係ル公私諸會其他緊要ノ事項
  - 十 町村立私立諸學校及教育ニ係ル公私諸會其他緊要ノ事項
  - 十一 地方病傳染流行病中毒種痘及衛生ニ係ル公私諸會其他緊要ノ事項
  - 十二 物産諸作物發明工夫美術及諸作物ノ被害並農工商事ニ係ル公私諸會其他緊要ノ事項
- 第五條 前條ニ於テ示ス所ノ件目ハ其大概ヲ示シタルモノナレハ報告委員ハ實際ニ就キ深ク悉的ニ必シモ該件目ニ拘ハラズ尙モ報告ヲ要スルモノト思料スル事項ハ細大洩カス之ヲ報告スヘシ而其報告文ハ成ルヘク簡明要切ヲ期シ左ノ書式ニ準據スヘシ尤各種ノ統計書又ハ規則類ハ原文ノ儘報告スヘシ  
(報告書式)

官報々告材料

島根縣何々(報告事項ノ件目ヲ摘載列セハ教育會)  
ナレハ島根縣教育會ト題スルノ類) 島根縣某社ニ於テハ、、、、、、、、、

右報告ス

某郡役所

官報々告委員

島根縣

官報々告主任 御中

訓令第三十一號 明治二十二年二月二十七日

郡役所

第一類 ◎官規 ○官報報告

明治二十年訓令第百九十九號郡役所官報々告心得書第一條及報告書式申宛名左ノ通り正ス

第一條 凡郡村ニ於ケル官報原稿ノ材料トナルヘキ事項ハ郡役所官報々告委員ニ於テ之ヲ照會主務部課官報々告主任若シハ報告委員ニ報告スヘシ

島根縣

官報々告主任(何部)課(官報々告委員)御中

●島根縣訓令第百十六號 明治二十三年十月八日

島根縣 郡役所

明治二十年八月訓令第百九十九號郡役所官報報告心得書第三條ヲ削除ス

郡役所

●訓令第百四二〇號 明治二十年八月二十六日 郡役所官報々告委員二名以上ヲ常置シ報告事務ヲ調理セシムヘシ

但報告委員氏名ハ當廳官報々告主任ニ通報スヘシ

郡長

●訓令第百二十號 明治二十年八月二十六日

凡郡村ニ於ケル官報原稿ノ材料トナルヘキ事項ハ郡役所官報々告委員ニ於テ之ヲ報告スヘキ事ナリト雖モ該委員ニ於テ報告スヘキ材料輯集方亦其宜ヲ得サレハ自然報告時機ニ後レ成ハ事實ノ精確ヲ欠キ其キハ遺漏ノ恐レナキ能ハス故ニ郡長ニ於テ深ク注意シ適宜方法ヲ設ケ成ルヘシ報告委員ヲシテ材料輯集ノ便ヲ得セシメ尙郡役所吏員ハ固ヨリ戸長等ニ於テモ苟モ官報々告材料トナルヘキ事項ト思料セラルモノハ速ニ全報告委員ニ報告セシムヘシ

●訓令第百一七八號 明治二十二年六月二十八日

松江市役所

廿三年訓令  
第百四十五號

松江市役所官報々告心得書

第一條 凡松江市ニ關スル官報原稿ノ材料トナルヘキ事項ハ市役所官報々告主務者ニ於テ直ニ之ヲ照會官報々告主任若シハ主務部課掛官報告委員ニ報告スヘシ

第二條 凡報告ハ最迅速ニシテ且事實ノ精確ナルヲ要ス若シ報告ノ事項毎々時機ニ後ル、又ハ誤謬アルトキハ爲ニ官報ヲシテ其効用ヲ失ハシムルノミナラス或ハ政府ノ体面ニ關スル如キノ恐レナキトセス故ニ報告主務者ハ深ク注意シテ報告ノ時機ト事實ノ精確トヲ失ハサルコトヲ要スヘシ

第三條 報告主務者ハ毎土曜日ニ報告事項ノ遺漏ナキ旨ヲ市長ニ記明ス可シ他日若シ遺漏アルトキハ該主務者其責ニ任ズ

第四條 報告ヲ要スル事項ノ概目ヲ示ス左ノ如シ

- 一 緊要ナル市條例規則及告示ノ要領
  - 二 緊要ナル市會議決ノ要領
  - 三 火災
  - 四 著キ民衆ノ隆替
  - 五 降雹震死其他天變地異及事變
  - 六 諸税及市費ニ關スル緊要ノ事項
  - 七 社寺ニ關スル緊要ノ事項
  - 八 兵員優待恩勞及兵事ニ係ル公私諸會其他緊要ノ事項
  - 九 市立私立諸學校及教育ニ係ル公私諸會其他緊要ノ事項
  - 十 地方病傳染流行病中毒痘瘧及衛生ニ係ル公私諸會其他緊要ノ事項
  - 十一 物産諸作物發明工夫美術及諸作物ノ被害並農工商事ニ係ル公私諸會其他緊要ノ事項
- 第五條 前條ニ於テ示ス所ノ件目ハ其大概ヲ示シタルモノナレハ報告主務者ハ實際ニ就キ深ク參酌シ必モ該件目ニ拘ハラズ苟モ報告ヲ要スルモノト思料スル事項ハ細大洩カス之ヲ報告ス可シ而シテ其報告文ハ成

●第一類 ○官規 ○官報報告

ルハ簡明切要ヲ期シ左ノ式ニ準據ス可シ尤各種ノ統計書又ハ規則類ハ原文ノ儘報告ス可シ  
(報告書式)

官報々告材料

島根縣何々報告事項ノ件目ヲ摘錄列セハ報告會ナレハ島根縣松江市ニ於テハ右報告ス  
明治何年何月何日

松江市役所

官報々告主務者

島根縣

官報々告主任(何部(課)官報々告委員)

御 中

副令庶第四五四號

明治二十三年十月八日

明治二十二年八月副令庶第一七八號松江市役所官報々告心得書第三條ヲ削除ス

松江市役所

雜

島根縣訓令第七十六號

明治二十七年十一月十三日

- 島 廳 郡役所 警察署 警察分署 收稅署
- 監獄支署 土木管區員派出所 縣立學校 縣立病院
- 縣立醫院 縣立測候所 縣立育種場 縣立勸業展覽場
- 市役所 戶長役場 町村役場 市町村立小學校

請書式左ノ通定

(半紙半葉)

御 請 書  
何々(辭令文)  
右謹而御請仕候也

明治何年何月何日

族籍 (新拜令ノ外ハ族籍記載セズ官職者ナレバ解  
免ノトキハ氏名ノミヲ記スヘシ)

氏 名 印

知 事 宛

島根縣訓令第七十七號

明治二十七年十一月十三日

- 島 廳 郡役所(島根縣廳字)
- 警察分署 收稅署(松江收稅)
- 土木管區員派出所(第一土木管區員)
- 警察署(松江警察署)
- 監獄支署
- 測候所

出縣及歸任屆書式左ノ通り定ム

(半紙半葉)

出 縣 歸 任 届

何々御用ニ付本日出縣何所何某方へ止宿仕候此段御届候也

明治何年何月何日

官 職 氏 名 印

知 事 宛

第一類 ○官規 ○列

島根縣訓令官第百二十二號 明治二十七年十二月二十八日

島 廳 郡役所 警察署 警察分署  
收稅署 監獄支署 土木管區員派出所  
測候所 縣立學校 市役所

島根縣電信用語並符號表別冊之通定、自今本縣廳及本縣廳所屬ノ官公署、（後略）縣立學校間ノ電信ハ之ヲ使用スヘシ（別冊參ス）

●島根縣告示第百八十六號 明治二十八年九月十二日  
官吏恩給及遺族扶助料ノ請求者ハ自今正副兩通差出スヘシ

○第二類 會議

帝國議會議員選舉

●縣令第二十四號 明治二十三年三月七日

客年勅令第七十九號貴族院多額納稅者議員互選規則ニ據リ互選名簿調製上必要ニ付名簿調製期日（四月一日）ヨリ前滿一年以上本縣内ニ於テ本籍ヲ定メ住居シ直接國稅（地租所得稅）八百圓以上ヲ納メ（互選規則第二條ニ該當スル者ヲモ包含ス）仍ホ引續キ住居シ及納稅シ選舉期日（六月十日）ノ前滿三十歳ニ達スル男子ニテ互選規則第三條乃至第六條ニ觸レサル者ハ別紙届出手續ニ依リ期限ヲ失ヒス届出ヘシ（別紙）

互選名簿調製ニ付届出手續

第一項 職業、身分、住所、生年月、滿一年以上本縣内ニ於テ本籍ヲ定メ住居スルコト、互選規則第三條乃至第六條ニ觸レサルコト直接國稅納額中所得稅額及住居地ニ於ケル地租額ハ第一號書式ニ依リ所轄市長戶長町

村長ノ証明ヲ得テ届出ヘシ

第二項 直接國稅納額中他市町村ニ屬スル地租額ハ第二號書式ニ依リ納稅地市長戶長町村長ノ証明ヲ得テ届出ヘシ

第三項 前各項ノ届書ハ本月二十日迄ニ居住地所轄ノ島廳郡役所市役所ニ差出スヘシ

第四項 島廳郡長ハ前項届書ニ就キ直接國稅納額中所得稅ハ其調査委員會ノ調査書類ニ依リ土地或ハ商業工業ニ屬スル所得稅ノモヲ採擇シ之ヲ細別シ地租額ニ併算シ別ニ一紙ヲ製シ届書ニ副ヘテ本月二十五日限縣廳ニ送達スヘシ

第五項 市長ハ第三項届書ノ取給メ本月二十二日限縣廳ニ送達スヘシ

第六項 第三項届書ヲ差出シタル後六月十日迄ノ間ニ於テ各要件ニ異動ヲ生シタルトキハ前各項ノ手續ニ依リ直チニ届出ヘシ

第一號書式 縣令第二十四號ニ付届

姓 名	何	何	何	某
職 業	何	何	何	
身 分	何	何	何	
住 所	本 籍 何 郡 何 町 何 番 地	寄 留 何 郡 何 町 何 番 地	何 年 何 月 何 日 生	
生 年 月	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	何 年 何 月 何 日	
五選規則第三條乃至第六條ニ觸レス				

●第二類 ○會議 ○帝國議會議員選舉

一 直接國稅納額

地租金若干

(家督ニ由リ相續セシ納額ヲモ包含ス)

本年四月一日ヨリ前滿一年以上間斷ナク本市町村ニ於テ納ム

所得税金若干

明治二十二年分

計金若干

右 及 御 届 候 也

何知町番地

何

某印

明治二十三年三月 日

縣知事宛

右 証 明 ス

市戸町村長 姓

名 印

第二號書式

縣令第二十四號ニ付届

一地租納額

金若干 (家督ニ由リ相續セシ納額ヲモ包含ス)

本年四月一日ヨリ前滿一年以上間斷ナク何知町ニ於テ納ム

右 及 御 届 候 也

何知町番地

何知町番地

明治二十三年三月 日

縣知事宛

右 証 明 ス

●縣令第三十二號 明治二十三年三月十五日

市戸町村長 姓

名 印

本年三縣令第二十四號食族院多額納稅者議員名簿調製ニ付届出ニ就テハ地租納額及買賣讓與ニ依リ土地所有權移轉ノ場合ニ於テ其所有ノ年限及賃入地ノ地租及敷入共有ノ土地ヨリ納ムル地租ノ計算方ハ衆議院議員選舉法施行規則第三條第一項第二項及全則第四條第五條ノ例ニ依ルヘシ

訓令第四十號 明治二十三年三月一日

島 縣 郡役所 警察署 分 署  
市役所 戸長役場 町村役場

衆議院議員選舉法及選舉法施行規則ニ就テハ其事務及書式等内務大臣ヨリ訓令セラルルニ付左ノ各條ニ準據テ取扱フ可シ

第一條 衆議院議員選舉法第十八條ノ選舉人名簿ハ別紙第一號ノ式ニ依リ調製スヘシ

第二條 投票所管理者ハ選クトモ投票期日ノ五日前ニ投票所ヲ指定シ之ヲ其投票區域内ニ公告スヘシ

第三條 投票所管理者ハ選舉法第三十三條ニ依リ立會人ヲ定メ之ヲ本人ニ通知スルトキハ其指定シタル立會人ノ内若シ正當ノ事故ニ由リテ其職ヲ辞スル者アルモ仍ホ投票期日ノ三日前更ニ立會人ヲ指名スルトコトヲ得ヘキ餘日ヲ存シテ之ヲ通知スヘシ但臨時已ムテ得ヤル事故ニ由リ投票期日ノ一兩日前ニ至リ其職ヲ辞スル者アルトキハ選舉法施行規則第十五條ニ依リ投票所ニ參會シタル選舉人中ヨリ之ヲ指名スヘシト雖投票所管理者ハ豫メ其當日指名セントスル者ヲ定メ前以テ之ヲ其本人ニ通牒シ置キ投票ヲ始ムル前ニ參會セシメ臨時指名スルコト差支ナカランムルヲ要ス

第四條 投票用紙、投票函、入場券、及到着番號札ハ別紙第二號第三號第四號ノ式ニ依ルヘシ

第五條 投票所ハ寺院若クハ學校等ノ如キ可成門戸アル場所ヲ以テ投票所ニ充ツヘシ

第六條 投票所ハ開閉ハ察析又ハ鐘號ヲ以テ之ヲ報スヘシ

●第一類 ◎會議 (帝國議會議員選舉)



投票所ハ午前六時三十分ニ其門戸ヲ開キ午後六時ニ之ヲ閉ツヘン

第七條 投票所ハ別紙第五號甲乙ノ式ヲ標準トシ投票人員ノ多少ニ依リ適宜之ヲ務メ受付所ニ投票人知所、投票用紙交付所、投票記載所、投票ノ場所等ヲ區別シ之ヲ設クヘン

第八條 午前七時ニ於テ投票所管理者ハ參會シテ投票用紙交付所ノ入口ニ招集シ投票法第三十六條ニ依リ立會人ト共ニ投票函ノ空處ナルコトヲ投票人ニ示シ且投票人ノ面前ニ於テ其第一蓋ノ錠ヲ卸シ之ヲ投票所管理者及立會人列席ノ卓上ニ置キタル後到着者世々ノ順序ニ依リ適宜投票人數名ヲ呼出シ投票用紙交付所ニ入ラシメ投票法施行規則第十九條ノ手續ヲ爲シ投票用紙ヲ交付スヘン

第九條 投票人ニ投票用紙ヲ交付シタルトキハ投票記載ノ爲ニ設ケタル卓上ニ於テ記載セシメ直ニ投票ヲ爲サシムヘン投票記載ノ爲ニ設ケタル卓上ニハ呼入レタル各投票人連番ナク記載シ得ル丈ニ數個ノ筆視點ヲ備ヘ置クヘン

第十條 投票人出入ノ門戸及投票所出入口等ハ警察官吏又ハ特ニ設ケタル取締人ニ於テ取締ヲ爲スヘン

第十一條 投票函ヲ閉鎖スルトキハ直ニ其第二蓋ノ錠ヲ卸シ其第一蓋ノ錠ハ立會人ニ於テ保管シ第二蓋ノ錠ハ投票所管理者之ヲ保管スヘン

第十二條 投票明細書ハ別紙第六號書式ニ依リ之ヲ製スヘン

第十三條 投票法施行規則第二十三條ニ依リ被選人ノ得點ヲ記入スヘキ點數簿ハ別紙第七號ノ式ニ依リ之ヲ製シ其記入存ニ之ヲ記入スル書記ノ一人其被選人ノ點數ヲ呼フヘン

第十四條 投票明細書ハ別紙第八號書式ニ依リ之ヲ製スヘン

第十五條 投票明細書ハ副本ヲ製シ投票人又ハ被選人ノ請求アリタルトキハ之ヲ閱覽セシムヘン

第十五條 投票所ハ何郡(市)何町村投票所ト記シ投票會場ハ衆議院議員第何區投票會場ト記シ各其門戸ニ之ヲ掲クヘン

衆議院議員選舉人名簿式

但用紙程村又ハ西ノ内

番號		直接國稅總納額		納稅額區別及納稅年間納稅地		籍	年	齡	職	現	住	所
部	號	第	何	金	何	何	何	何	何	何	何	何
				地	租	得	所	稅				
				何年何月ヨリ何地ニ於テ間斷ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ間斷ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ間斷ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ間斷ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ間斷ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ間斷ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ間斷ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ間斷ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ間斷ナク納ム
				從本縣ニ本籍ヲ定メ住居又ハ何府縣ヨリ何年何月本籍ヲ移ス云々ヲ記ス								
				職	何	何	何	何	何	何	何	何
				何郡(市)何町村								

第一類 ○會議 ○衆議院議員選舉

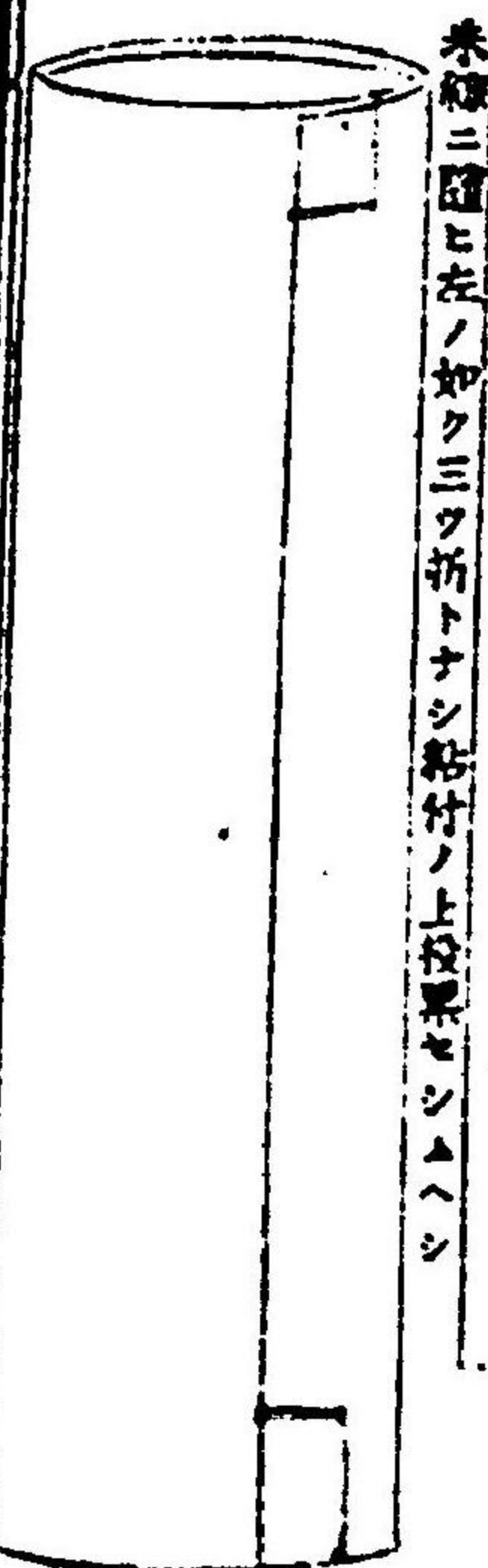
番號	直接國稅總納額	納稅區區別及納稅年間納稅地	籍	年	齡	職	現	住	所

（以下表面ノ通コ付寄ス）  
 一 番號ハイロハ分コ獨ハラス逐次記入スハキモノトス  
 一 納稅額區別地租第二ノ欄内ハ投票法第七條ノ場合コ於テ記スハキ例ヲ示ス  
 一 同シク所得稅ノ第四欄ハ投票法施行規則第三條第三項ノ場合コ於テ記スハキ例ヲ示ス但家計ハヨ  
 一 リ所得稅ヲ納ムハキ財產ヲ相續シタルトキハ前項地租ノ例ヨリ之ヲ記入スヘシ  
 一 此人名簿ノ表紙及卷末コハ左ノ通り記載スヘシ  
 （表紙中央）衆議院議員選舉人名簿  
 （卷末）島根縣第何區衆議院議員選舉人名簿

此選舉人名簿ハ明治 年五月五日ヨリ十五日間何郡役所ニ於テ此寫ヲ総覽セシメ同六月十五日ヲ  
 以テ確定セリ

明治 年六月十五日  
 衆議院議員選舉投票用紙 島根縣第何區衆議院議員選舉區選舉長  
 程村又ハ西ノ内六ツ切 何 某印

被 選 人	何 某
選 舉 人	島根縣何郡(市)何町 村何番地 何 某



●第二編 ○合議 ○第何區衆議院議員選舉 ●  
 二九

第四號 表

衆議院議員選舉投票所入券				
選舉人名簿ノ番號	選舉人ノ住所	投票場所	投票ノ日限	號
第 號	島根縣何郡(市)何町村 何番地	島根縣何郡(市)何町村 何番地何々	何年何月何日午前七時ニ始メ 午後六時ニ終ル	

投票所入場券  
用紙程村又ハ西ノ内十二切

番號札

用紙程村又ハ西ノ内十六切

投票所到着第 何番

選舉人ハ此券表面姓名ノ下ニ實印ヲ捺シ投票ノ當日持參シ之ヲ引換ニ到着番號札ヲ受取リ投票所ニ入場スヘシ

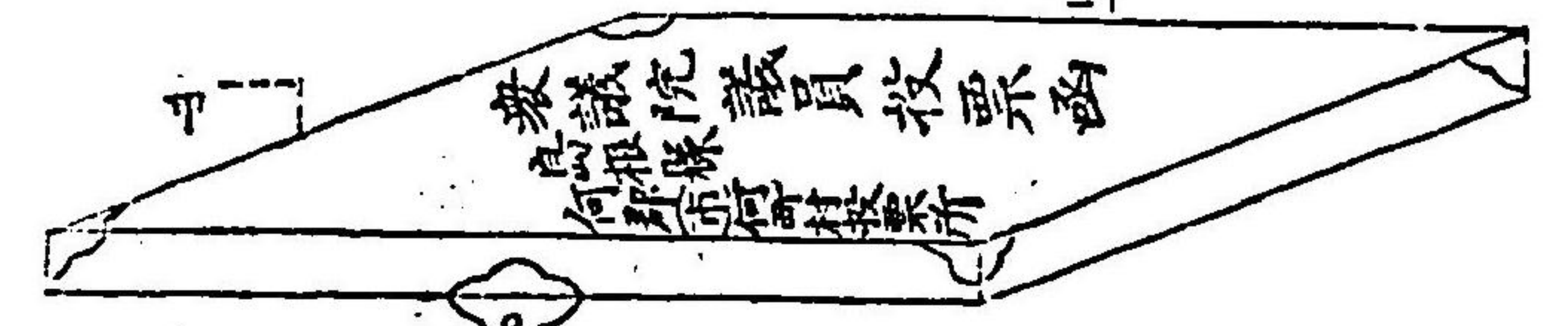
年 月 日

島根縣何郡(市)何町村投票所管理  
何市長 何 印  
何町長 何 印

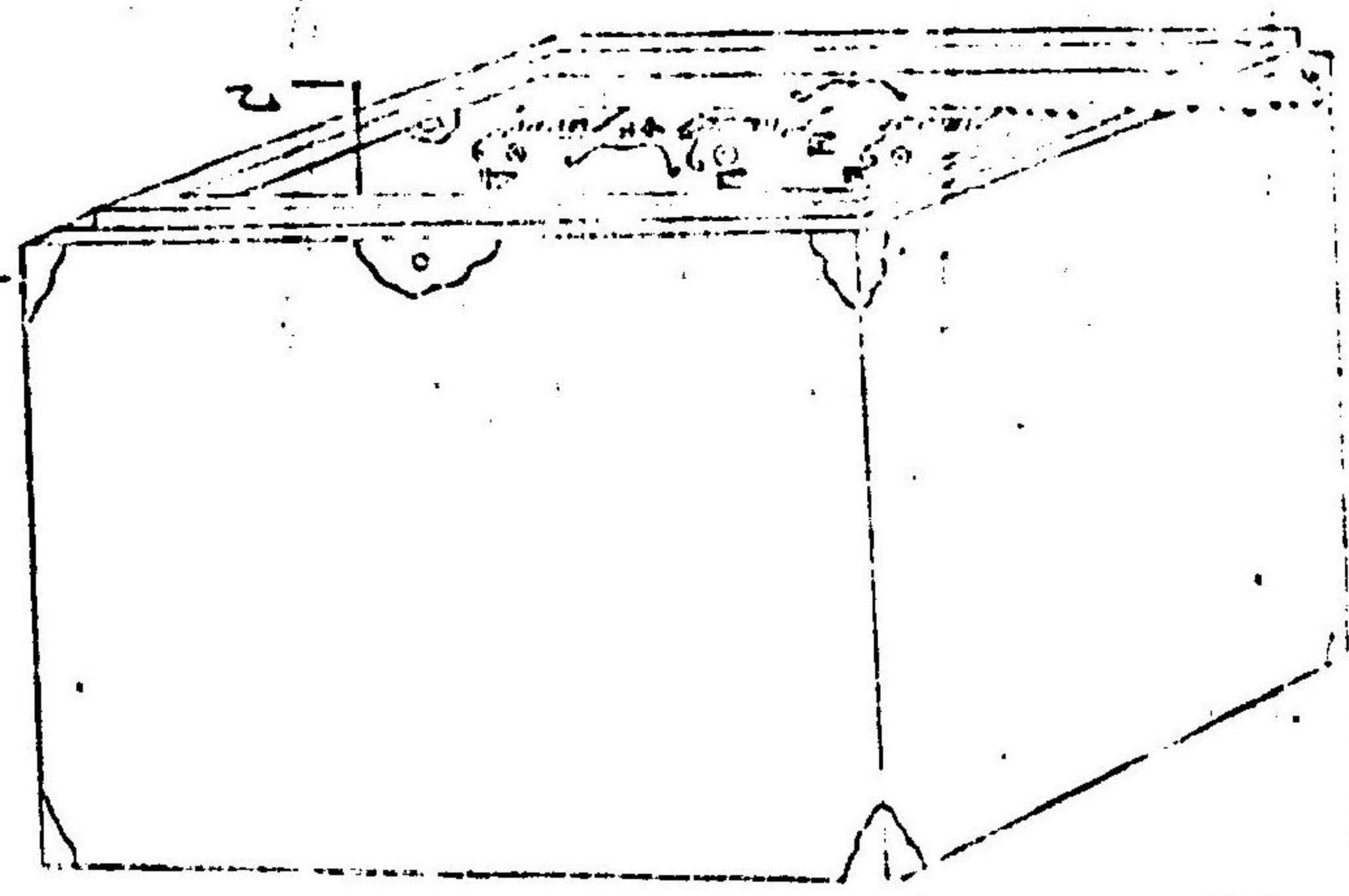
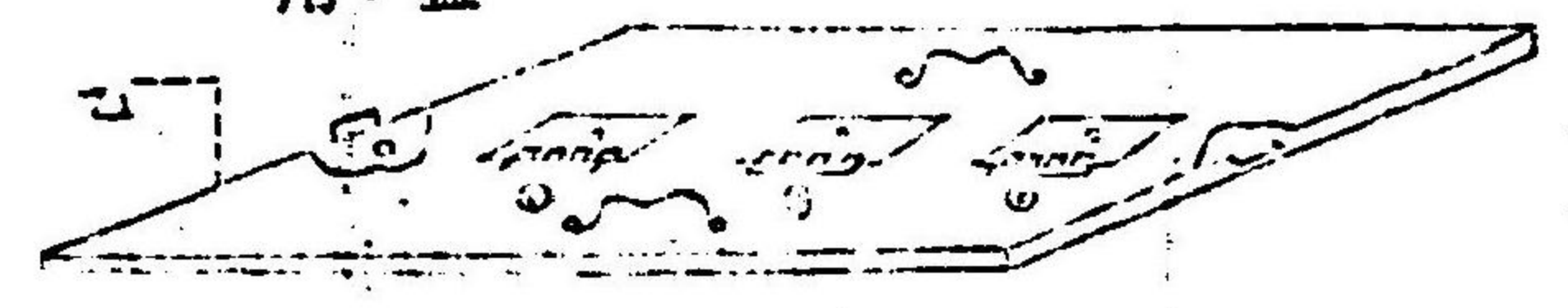
第三號

厚仕上 凡八歩  
高 凡一尺二寸  
巾 凡一尺五寸  
横 凡一尺

但大小ハ撰舉人ノ多寡ニ應シ適宜ニ之ヲ造ルヘシ



此錠ハ中蓋ノ錠ト異ナシ  
此錠ハ中蓋ノ錠ト異ナシ



此蓋ハテウツガイニ造リ投票終レハ蓋トナシ錠ヲオロス低中蓋ノ錠ハ五ヶ所

丙 金物九ヶ錠

島根縣何郡(市)何町村



投票明細書式 用紙 常用野紙 但撰舉明細書モ全シ

島根縣第何撰舉區内何郡何町村(何市)投票所ノ投票明細書

(一)投票所管理者タル町村長何某(市長何某)(又ハ其代理何某)ハ何ノ場所ニ於テ投票ヲ行フ爲メ投票區域内ニ於ケル撰舉人中ヨリ左ノ何名ヲ以テ立會人ト定メ撰舉ノ期日何日前ニ撰舉ノ當日投票所ニ參會スヘキ旨ヲ各其本人ニ通知シ本日投票時刻前ニ各立會人參會セザリ

(市)町(村)番地

何

某

同

某

同

某

何

某

右立會人中何某何某ハ投票ノ時刻ニ至リ參會セザルニ由リ  
右立會人一人モ投票ノ時刻ニ至リ參會セザルニ由リ  
投票所管理者ハ參會撰舉人中ヨリ更ニ左ノ何名ヲ指名シテ立會人ト爲シタリ

(市)町(村)番地

何

某

同

某

何

某

(二)午前第七時投票所管理者ハ投票ヲ始ムル爲メ立會人ト共ニ參會撰舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其空處ナルコトヲ示シ且投票函第一蓋ノ錠ヲ卸シタル後立會人ノ列席スル卓上ニ之ヲ置キタリ  
(三)投票所管理者ハ到着番號ノ順序ニ依リ撰舉人ヲ呼出シ撰舉人名簿ニ對照シテ定式ノ投票用紙ヲ交付シ各

撰舉人ヲシテ順次ニ自ラ之ヲ投票函ニ投入セシメタリ

(四)左ノ撰舉人ハ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立ルニ依リ投票所管理者ハ撰舉法第三十九條ニ依リ町村

(市)吏員何某ヲシテ其姓名ヲ代書セシメ之ヲ本人ニ讀ミ聞カセタリ

(市)町(村)番地

何

某

同

某

何

某

(五)左ノ撰舉人ハ撰舉人名簿ニ記載セラルヘキ裁判官渡書ヲ所持シタルニ依リ投票所管理者ハ撰舉法第四十

(市)町(村)番地

何

某

同

某

何

某

(六)左ノ撰舉人ハ撰舉法第七十五條ヲ犯シタルニ因リ投票スルコトヲ禁シ併シテ退場ヲ命ジタリ

(市)町(村)番地

何

某

同

某

(七)何時ニ至リ投票所管理者ハ投票ノ終ヲ告ケ投票所ノ入口ヲ閉鎖シタリ  
(八)投票區域内ノ撰舉人總員何名ノ内  
一投票シタルモノ

何

名

何 名

一 撰舉法第七十五條ニ依リ撰舉ヲ禁シタルモノ  
(其他撰舉ニ關シ投票所管理者ニ於テ緊要ト認ムル事項アルトキハ記載スヘシ)

(九) 投票所管理者ハ此投票明細書ヲ作リ之ヲ明瞭シタル上立會人ト共ニ署名捺印シテ

何 年 月 日

投票所管理者

立會人

何 某 印

何 某 印

何 某 印

何 某 印

第七號 點數記載用紙 但美濃紙

合計	二十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	姓
																				何
																				某

島根縣第何區衆議院議員撰舉投票點數記載用紙

合計	二十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	姓
																				何
																				某

● 第二類 ○ 會議 ○ 帝國議會議員撰舉

何年何月何日  
投票執行

島根縣第何選舉區ノ選舉明細書

(一) 選舉長タル郡長何某又ハ代理何某ハ何年何月何日各投票所ノ投票函到着セタルニ付其翌何日(本日)衆議院議員何名ノ選舉ノ爲メ選舉管理ノ何郡役所ニ於テ午前何時ニ投票會ヲ開キ各投票所ヨリ投票シタル立會人ヲシテ抽籤セシメ左ノ何名ヲ選舉委員ニ定メヨリ

何郡(市)番地

何

某

同

何

某

同

何

某

同

何

某

何

何

某

何

何

某

(二) 選舉長ハ左ノ何名ヲ書記ニ命ジヨリ

何

某

何

某

何

某

(三) 選舉長ハ選舉委員立會ノ上到着順序ニ依リ各投票函ヲ順次ニ開キ封緘ノ儘投票ヲ取出シテ投票ノ總數ト

投票人ノ總數トヲ計算シケルニ

投票總數

幾

何

投票人總數

幾

何

投票總數ト投票人ノ總數ト符合セリ投票ノ總數ト投票人ノ總數ト符合セス即投票ノ總數ハ投票人ノ總數ト幾何多ク又幾何少ク其由ハ左ノ如シ

(四) 選舉長ハ投票ヲ開披點檢シテ逐一之ヲ選舉委員ニ交付シ選舉委員ハ之ヲ點檢シテ先ツ投票人ノ姓名ヲ朗

讀シ次ニ被選人ノ姓名ヲ朗讀シヨリ

(五) 書記何名ハ投票ヲ得タル各被選人ノ得點ヲ點數簿ニ記入シ且其一人ニ於テ各被選人ノ得點ヲ記入スル毎

ニ其得點數ヲ呼ヒ他ノ書記ト共ニ其點數ヲ校合セヨリ

(六) 選舉長ハ選舉委員ノ意見ヲ聞キ左ノ投票ハ無効ト決定セリ

一

二

三

四

五

合計無効投票幾何右無効ト決定シタル投票ハ悉皆抹線ヲ加ヘテ

(七) 被選人投票ノ得點數ハ左ノ如シ

得點

幾

千

何

某

得點

幾

千

何

某

得點

幾

千

何

某

故ニ何某最多數ノ得點者タルヲ以テ當選人トス

(八)右當選人ノ姓名及投票ノ數ハ選舉法第五十九條ニ依リ選舉長ヨリ直ニ本縣知事ニ届出テ

(九)午後何時投票ノ點檢ヲ終リ選舉長ハ各被選人ノ得點總計ヲ朗讀シ有効無効ノ投票ノ區別ヲ別々ニ之ヲ封

印シテ何郡役所ニ之ヲ保存セリ

(十)此明細書ハ選舉長之ヲ朗讀シ立會人及書記ト共ニ署名捺印シ

年 月 日

選舉長 某印

何 某印

選舉委員 某印

何 某印

同 某印

何 某印

書記 某印

何 某印

同 某印

同 某印

何 某印

同 某印

何 某印

何 某印

島 司 郡長姓名 某印

●訓令第二十七號 明治二十三年五月二日  
衆議院議員選舉法第二十一條ニ據リ送致スヘキ選舉人名簿副本ハ名簿確定ノ上送致スヘシ

●訓令第四百四十六號 明治二十三年六月二十日

衆議院議員選舉ニ關スル手續左ノ通り取扱フヘシ  
島 廳 郡役所 市役所 戶長役場 町村役場

一 投票所管理者選舉人ヲ選舉人名簿ニ對照シ投票セシメタル時ハ便宜ノ方法ヲ以テ名簿ニ捺印ヲ捺スヘシ

一 投票ハ式ニ依リ粘付セシメタル上更ニ封印ヲ捺シテ投票セシムヘシ

一 投票所管理者ハ投票ヲ了リタル選舉人ニ便宜ノ方法ヲ以テ投票済ノ証ヲ交付スヘシ

●訓令第九十三號 明治二十三年九月十六日  
島 廳 郡役所 市役所 戶長役場 町村役場

衆議院議員選舉調毎年六月十五日現在ニ據リ市長戶長町村長ニ於テ別紙表式ニ隨ヒ取調同月三十日限リ市長ハ知事ニ戶長町村長ハ島司郡長ニ差出シ島司郡長ハ之ヲ統計シテ七月十日限リ知事ニ差出スヘシ但本年ニ限リ其差出期限市長戶長町村長ハ九月三十日島司郡長ハ十月十日トス被選舉權ヲ有スル者ハ取調ニ及ハス

衆議院議員選舉調

町村名	族 籍			直接國稅十五圓以上ヲ納ムル者	選舉權ヲ有スル者	被選舉權ヲ有スル者
	華 族	士 族	平 民			
計						



右明何年六月十五日現在ニ據リ取調申候也

年 月 日 戸長 町村長 姓名 印  
島 司 郡 長 宛

取 調 例

一 戸長ニシテ二町村以上ヲ管轄スル者ハ毎町村順次ニ列記シ之レカ合計ヲ付スヘシ  
一 島司郡長市長ヨリ差出スヘキ取調表ハ此表式中町村名ノ欄ヲ郡市名ニ戸長町村長姓名印ヲ島司郡長市長姓名印ニ島司郡長宛ハ知事宛ニナスヘシ

●島根縣訓令第二十三號 明治二十四年二月七日

島 廳

郡役所 市役所 戸長役場 町村役場

一 衆議院議員選舉人名簿確定以前ニ選舉人其選舉區域外ニ轉住シタルトキハ前住地ノ選舉長ハ名簿ヲ削除シ其旨ヲ本人並ニ本人轉住地ノ選舉長ニ通知スヘシ

轉住地ノ選舉長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ更ニ其人姓名等ヲ名簿ニ記載シ本人並ニ本人轉住地ノ投票管理ノ市長戸長町村長ニ通知スヘシ

二 衆議院議員選舉人名簿確定以前ニ選舉人其投票區域外ニ轉住シタルトキハ選舉長ハ其名簿ヲ訂正シ其旨ヲ本人並ニ本人轉住地ノ投票管理ノ市長戸長町村長ニ通知スヘシ

三 前項ノ轉住ハ原住地ノ市長戸長町村長ヨリ所轄選舉長ニ報告スヘシ  
●島根縣訓令第五十八號 明治二十六年五月二十日

島 廳

郡役所 市役所 戸長役場 町村役場

衆議院議員選舉取扱手續左ノ如ク定ム

但明治二十三年訓令第三十八號衆議院議員選舉ニ關スル手續ハ廢止ス  
衆議院議員選舉取扱手續

第一條 名簿用紙及ヒ投票用紙、入場券、到着番號札ハ選舉長ニ於テ調製シ其區内投票所管理ノ市長戸長町村長ニ交付スヘシ

第二條 投票用紙ハ選舉長ヲ經テ投票所管理ノ市長戸長町村長ニ交付スヘシ

第三條 投票所費投票用紙及ヒ選舉會場費ハ選舉長ニ於テ豫算ヲ取調ヘ前年度六月三十日限リ開申スヘシ但臨時選舉ノ勅命アリタルトキハ其時々速ニ開申スヘシ

第四條 投票用紙ハ選舉長ニ於テ其員數ヲ取調ヘ其年四月三十日限開申スヘシ但臨時選舉ノ勅命アリタルトキハ其時々速ニ開申スヘシ

第五條 訴訟人費ハ實費ヲ以テ請求スヘシ但訴訟ノ起リタルトキハ直ニ其事由ヲ報告スヘシ

第六條 投票所費投票用紙選舉會場費及ヒ投票用紙ハ選舉長ニ於テ豫算ヲ取調ヘ後三十日以内ニ精算スヘシ

●甲第四十一號 明治十二年二月二十六日

客歲太政官第十八號公布府縣會規則中處分方左ノ通候條此旨爲心得有違候事

一 第十條其一郡ヨリ出ス所ノ議員共ニ議長副議長ニ撰ハル、コトアルモ議長副議長ハ其郡ノ議員タル本分ヲ失フモノニ非サレハ更ニ議員ヲ補撰スルニ及ハス

一 第十三條第十四條ニ定ムル限内ノ者ハ戸主ニ非スト雖トモ議員トナリ及議員ヲ選舉スルコトヲ得ヘシ

一 第十七條但書投票ハ代人云々トアレトモ町村戸長ハ代人トナスヘカラス

一 第二十四條議員ノ欠ヲ補フ爲メ撰ハレタル議員ノ任期ハ其補フ處ノ先議員ノ撰ハレタル年ヨリ通算スヘシ

一 既ニ議員ニ擧ケラレタル者ト雖在任中其所有ノ地租減少シテ成規ノ高ニ及ハサルトキハ退任セシムヘシ

一 議員及選舉人トナルヲ得ヘキ者其所有地シ質入賣人トナスモ所有權ヲ移轉スルコト非サルヲ以テ仍ハ議員

●第二類 ○會議 ○縣會

四二

及選舉人トナルノ權ヲ失フコトナシ  
 一新律綱領頒布後徒一年以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ第十三條第二款ニ依リ議員タルコトヲ得ス  
 一第十三條第四款ニ就キ准官吏ハ官吏ト同ク被撰入タルコトヲ得ス  
 ●甲第七十三號 明治十三年十月十八日  
 府縣會規則中處分方之義ニ付客年甲第四十一號ヲ以及布達候處ニ有之候處今般尙又左之通達有之候條此旨爲心得布達候事

府 縣

府縣會規則之儀ニ付左ノ二件爲心得相達候事  
 明治十三年九月二十八日 太政大臣 三條 實美

一議員選舉之際郡區相當人員ノ外辭職者補欠ノ別ニ數名(五名以下)ヲ副撰セシメ置クモ妨ケナシ  
 一議長副議長共欠席スルトキハ議員中ヨリ於テ臨時假議長ヲ公選シ其日ノ會場ヲ開シテ妨ケナシ  
 ●甲第十四號 明治十四年一月三十一日

縣會議員及常置委員任期中辭任手續左之通相定候條此旨布達候事  
 一縣會議員任期中病氣又ハ無已事故ニテ其任ヲ辭スルトキハ辭任書ヲ其撰出セシメタル郡役所ニ出シ郡役所ヨリ領受書ヲ交付スヘシ

一常置委員任期中全上ノトキハ辭任書ヲ縣廳ニ出シ縣廳ヨリ領受書ヲ交付スヘシ  
 一常置委員縣會議員ノ兩任ヲ一時ニ辭スルトキハ各別ニ前同條ノ手續ヲ爲スヘシ

●郡乙第十二號 明治十四年一月三十一日 郡 役 所  
 縣會議員辭任手續甲第十四號之通布達候ニ付テハ明治十二年三月乙第四十五號達之趣ハ相繼候條旨今辭任書差出候節ハ左式離形ニ據リ領受書ヲ交付シ直ニ其旨ヲ具シ縣廳ニ申告全時ニ郡内ニ公告スヘシ此旨相達候事  
 領受書々式

縣會議員辭任書領受候也

年 月 日

何 郡 役 所 印

何 條 誰 殿

●郡乙第七十一號 明治十七年九月一日

郡 役 所

縣會議員中府縣會規則第十三條諸款ノ場合ニ遭遇スルカ縣外ニ籍籍スルカ其他惣テ欠員ヲ生シタルトキハ直ニ其旨ヲ具シ縣廳ニ届出並ニ郡内ニ公告スヘシ此旨相達候事

●縣令第三十一號 明治二十二年三月二十九日  
 府縣會議員選舉規則第二十一條ニ依リ本縣々會議員選舉投票用紙左式ノ通リ相定ム

島 根 縣 會 議 員 選 舉 投 票

被 撰 人	氏 名	舉 撰 人	氏 名 印
郡 役 所 又 ハ 島 廳 名			

一用紙ハ美濃紙四ツ切トス

●第二類 ●會議 ●縣會

一輪廓ハ縦曲尺五寸五分横全上三寸五分トス  
 ●訓令第九十八號 明治二十二年五月十三日

島 廳 郡役所 市役所 戶長役場 町村役場  
 本年法律第六號府縣會議員選舉規則ニ據リ開製スヘキ選舉人名原簿及選舉人名簿ハ別紙離形ニ據ルヘシ  
 (別紙)

用紙半紙	選舉人名原簿離形 (裏面ハ前面ニ全シ)	何	條	某
氏名		何	條	某
住 所	何郡何町大字何々番屋敷 或ハ(松江市何大字何番屋敷)			
生 年 月	何年號何年何月			
納地租ノ總額	金、〃、〃、圓、〃、錢、〃、〃、厘			
納 稅 地	何區何郡何町 全國全郡何村 松江市			
用紙美濃紙	選舉人名簿離形 (裏面ハ前面ニ全シ)			
納地租ノ總額	生 年 月 住 所 氏 名			
何圓何拾何錢何厘	何年號何年何月	何郡何町大字何々番屋敷 或ハ(松江市何大字何番屋敷)	何	條 某

●訓令第百號 明治二十二年五月十四日

府縣會議規則第十四條選舉人ノ年齡ヲ算スルハ本年法律第六號名簿開製ノ期日ヲ以テ限界ト爲スヘシ但其納租ノ計算ハ從前之通年限ニ依ツテ依テ心付ルヘシ  
 ●訓令第七號 明治二十二年八月二十八日  
 府縣會議員選舉規則第四十八條ニ據リ町村吏員ニ分會登記ヲ命ジタルトキ其書記所屬役場ノ町村役場ヲ以テ支辨スルト分會場所屬區域ノ町村費ヲ以テ共同支辨スルトハ其町村ノ便宜ニ任セ妨ナシ但本文ニ抵触スル從前ノ令訓ハ取消ス

右訓示ス  
 ●縣令第百三十一號 明治二十二年十二月十六日

明治十五年五月本縣甲第百三號布達縣會議員常設委員更替手續縣令ノ議決ヲ徵シ左ノ通更定ス  
 縣會議員常設委員就職交替手續  
 第一條 縣會議員ハ第四次通常縣會ヲ終ヘ後任議員選定後常置委員選定ノ爲臨時縣會開設ノ日ヲ以テ交替スルモノトス

第二條 常設委員ハ前條臨時縣會ニ於テ之ヲ選定シ當日ヲ以テ新任委員就職スルモノトス  
 但前任委員ハ臨時縣會開設ノ前日ニ於テ任期ヲ終ルモノトス  
 第三條 臨時縣會開設ノ前日ニ於テ任期ヲ終ルモノトス

●訓令第四號 明治二十三年一月二十九日  
 各 郡 長 姓 名

●第二類 ◎會 議 ○縣 會

縣會議員選舉分會書記ヲ町村役場吏員中ヨリ命スルトキハ町村長助役書記ノ内ヲ以テ充ツヘキ事ト心得ヘシ  
右訓示ス

●訓令第十八號 明治二十三年二月四日

島 廳 郡役所 市役所 戶長役場 町村役場

府縣會規則第十三條第十四條ノ地租ノ納額ヲ計查スルニ數人共有地ノ地租ハ其共有人員ニ平分シ之ヲ各自ノ納額ト見做シ算入スヘキモノトス尤土地家賃又ハ其附屬連名簿ニ各自所有權ノ歩合又ハ納租額ノ割合ヲモ  
ノハ其額ニ依ルヘキ儀ト心得ヘシ

但市町村制ニ就テモ本文同様心得ヘシ

●訓令第二百二十號 明治二十三年十月十八日 島 廳 郡役所 市役所  
縣會議員選舉被選舉調別紙書式ニ準テ取調毎年十二月二十八日限リ差出スヘシ

但明治十九年十月訓令第四十八號ハ廢止ス

(別紙)

縣會議員選舉被選舉調

族	市	郡	籍		計
			地租五圓以上ヲ納ムル者	地租拾圓以上ヲ納ムル者	
華族	平士	計	撰舉權ヲ有スル者	被撰舉權ヲ有セサル者	計
			撰舉權ヲ有セサル者	被撰舉權ヲ有セサル者	
民族	計	計	撰舉權ヲ有スル者	被撰舉權ヲ有セサル者	計
			撰舉權ヲ有セサル者	被撰舉權ヲ有セサル者	
合計	平士	民族	計	計	計

右明治何年十一月十五日現在取調申報候也

年 月 日

島根縣知事宛

取調備考

島 郡 市 司 長 姓 名 印

一 選舉權ヲ有セサルモノトハ府縣會規則第十四條ノ資格ヲ有セズ並同條ノ但書ニ觸ル、若被撰舉權ヲ有セシ  
ルモノトハ同規則第十三條ノ資格ヲ有セズ並同條ノ各款ニ觸ル、者ヲ云フ  
一 地租拾圓以上ヲ納ムル者ノ欄ヘハ地租五圓以上ヲ納ムル者ノ内ニ就キ地租拾圓以上ヲ納ムル者ヲ抽出シテ  
再掲スルモノトス

●島根縣令第二百二十號 明治二十六年十二月二十九日

島根縣會常置委員定數及月手當旅費支給規則通常縣會ノ決議ヲ經テ左ノ如ク改定シ明治二十七年度ヨリ施行ス

島根縣會常置委員定數及月手當旅費支給規則

- 第一條 常置委員ノ定數ハ五人トス
- 第二條 常置委員ノ缺員ヲ補充スルカ爲メ豫備員五人ヲ撰舉ス
- 第三條 常置委員ノ月手當ハ一人金參拾圓トス
- 第四條 常置委員ノ月手當ハ十五日以前ニ就任シ若シハ十六日以後ニ退任シタル者ハ其月全額ヲ支給シ十五

●第二類 ○會職 ○縣會

廿八年縣令  
第六十九號

日以前ニ退任シ若クハ十六日以後ニ就職シタル者ハ其月半額ヲ支給ス  
 第五條 常置委員ノ旅費額ハ左表ノ如シ

流車賃	一	派船賃	一	車馬賃	一	日當	一
金五	錢五	金五	錢五	拾	錢	金六	拾

第六條 常置委員ノ旅費ヲ支給スルハ第五條ヲ除ク外ハ明治十九年六月閣令第十四號内國旅費規則ノ例ニ準據ス

●島根縣令第六十九號 明治二十八年十二月十三日

明治二十六年十一月 縣令第二百二十號常置委員定數及月手當旅費支給規則中通常縣會ノ議決ヲ經テ左之通更正  
 明治二十九年度ヨリ施行ス

第五條 左表中金六十錢トアルヲ金四十錢ト更正ス

●島根縣訓令會第三號 明治二十七年一月二十三日

府縣會議員選舉規則第五十二條ニ依リ選舉ノ結果ヲ報告スルトキハ左表ノ式ニ據ルヘシ爾後各項ノ異動アルトキハ其都度報告スヘシ

縣會議員改撰(補缺)選舉當選者報告

地租割	當撰ノ通知	當撰承諾ノ届出月日	現住所	原籍	現住所	族	籍職	業	生年月日	姓	名
何拾何圓	何月何日	何月何日	何里何丁	何郡市町村	何郡市町村	士族	農	業	生年月日	姓	名
何拾何圓	何月何日	何月何日	何里何丁	何番屋敷	何番屋敷	平民	農	業	生年月日	姓	名

右及報告候也

年 知 事 宛 日

島 司 郡 長 氏 名 (印)

地方税賦課徴收

●島根縣令第十六號 明治二十六年十二月二十七日

明治十九年一月第六號布達地方税中地租割戸數割徴收規則通常縣會ノ決議ヲ無地租割戸數割賦課規則トナシ左ノ如ク改正シ其第四條ハ明治二十八年年度其他ハ明治二十七年年度所屬ノモノヨリ之ヲ施行ス

地租割戸數割賦課規則

第一章 地租割

第一條 地租割ノ稅率ハ該年度地租豫算額ニ基キ之ヲ定ム

第二條 地租割ハ納期ノ月一日現在ニ依リ賦課シ官民有地彼此ノ租替又ハ荒地成起還其他地租ニ増減ヲ生スルモ追徴還付ヲナサス

第三條 備荒儲蓄法ニ依リ地租ノ補助貸與ヲ受タル地所ハ其年度ノ地租割ヲ免除ス但既納稅ハ還付ヲナサス

第二章 戸數割

第四條 戸數割ノ稅率ハ前々年十二月三十一日現住者ノ戸數ニ基キ之ヲ定ム

第五條 戸數割ハ總テ納期ノ初月一日現住者ノ戸數ニ依リ賦課ス

第六條 戸數割ハ市長町村長戸長ニ於テ該年度四月一日現住者ノ戸數ニ依リ第四條ノ稅率ヲ乘シ各市町村又ハ市長役場所轄聯合町村ノ受高ヲ定メ市町村會又ハ聯合町村會ノ議決ヲ經テ各個ノ稅額ヲ定ム其稅額ハ資力ニ依リ等差ヲ設クヘシ但赤貧者ハ市町村會又ハ聯合町村會ノ議決ニ依リ賦課ヲ免除スルヲ得トシ其市町村會又ハ聯合町村會ノ受高ヲ減スルヲ得ス

前項期日ヲ過キ移住シタルモノハ前項ニ依リ定メタル各個ノ稅額ヲ比準トシ市町村會又ハ聯合町村會ノ議決ヲ經テ其稅額ヲ定ム戸數割ノ追加賦課ヲナストキハ其納期ノ初月一日現住者ノ戸數ニ依リ第一項ノ例ヲ

●第二類 ○地方税賦課徴收



モノハ其營業地所轄ノ島廳郡役所市役所ニ届出ツヘシ  
第二條 前條ノ届書ニハ其課目（營業アルモノノ營業地課税標準 商業中牛乳搾取及工業中製糖製粉製油等）住所氏名ヲ記載スヘシ

第三條 島廳郡役所市役所ニ於テハ別紙書式ノ承認証ヲ下付スヘシ  
承認証ヲ受ケタルモノ年税ノ課目ニ屬スルモノハ前年度三月三十一日迄ノ月税ノ課目ニ屬スルモノハ前月

末日迄ニ承認証ヲ島廳郡役所市役所ニ差出シテ其裏面ニ毎年度若クハ毎月分ノ証印ヲ受ケヘシ  
第四條 承認証ハ貸借買賣讓渡ヲ許サス水火盜難過誤等ニテ承認証ヲ紛失毀損シ又ハ代替改氏名轉居者ハ

課税標準ヲ變更シタルトキハ之ヲ届出承認証ノ再渡又ハ訂正ヲ請フヘシ  
但工業中職工及雜種税中人頭ニ就テ課税スルモノニシテ代替ノ場合ニ於テハ此承認ノ再渡又ハ訂正ヲ請フヘキ限コトラス

第五條 慈善ヲ旨トスル會社ニシテ免税ヲ請フハントスルトキハ其事由及資本金ヲ詳記シ社則ノ謄本一通ヲ添

第六條 職工遊藝師匠遊藝稼人ニシテ不具並癡疾者及草履草鞋其他些少ノ物品ヲ販賣シ又ハ山間僻陬ニ於テ木賃宿ヲ營ムモノ若クハ營業人貧困ニシテ他人ノ扶助ヲ仰カサレハ生存スル能ハサルモノニシテ免税ヲ請

第七條 商業中會社銀行ノ業ヲ營ムモノハ明治二十七年四月一日現在ノ資本金ヲ同月五日限島廳郡役所市役所ニ届出ツヘシ爾後異動アルトキ又ハ新シ其業ヲ營ムモノハ其時々届出ツヘシ

商業中質屋宿屋牛乳搾取及工業中製糖製粉製油製糖場製粉場製糖場ヲ營ムモノハ其前年中ノ實取金高若クハ宿

客人員最多頭數上リ高製造高ヲ毎年三月三十一日限島廳郡役所市役所ニ届出ツヘシ  
前項營業者ニシテ其前年又ハ該年ニ於テ一ケ年未滿營業ノモノ若クハ新シ起業スルモノハ其實取營業月數又ハ該年ノ見込高ヲ起業ト同時ニ届出ツヘシ

第八條 普通額ヲ課スル營業者ノ税額ハ毎年度四月一日現在及同日迄ニ届出タルモノハ同月十八日限其決定額ヲ戶長町村長ヨリ島司郡長ニ報告スヘシ  
前項以外ニ屬スルモノハ翌月十日限前項ノ報告ヲナスヘシ

第九條 遊藝稼人、相撲（行司共）俳優、藝妓、辯問、牛馬市、演劇、興行、遊覽所、遊技場、船、馬車、人力車、荷積車、屠畜、自轉車以外ノモノ及第五條第六條ニ依リ免税ヲ許可セラレタルモノハ別紙書式ノ標札ヲ製シ市役所戶長役場町村役場ノ檢印ヲ受ケ之ヲ營業場所（定メザルモノ）若クハ自用者（自用水車ハノ）戶外見易キ所ニ釘付スヘシ

但本縣内ニ現住地ナキモノハ此限コトラス  
第十條 第一條第一項ニ依リ承認証ヲ受ケタルモノノ廢業スルトキハ其旨届出承認証ヲ返納シ同時ニ標札アルモノハ之ヲ市役所戶長役場町村役場ニ差出シテ消印ヲ受ケヘシ其承認証ヲ返納セサル間ハ課税ヲ受ケヘキモノトス

第十一條 行商、諸職工、遊藝師匠、遊藝稼人、相撲（行司共）俳優、藝妓、辯問、遊覽所ノ二等、遊技場、島鐵獵、仲仕、屠手ハ其業ヲナストキ承認証ヲ携帶スヘシ

第十二條 承認証ヲ有スル營業者ニシテ店舗ヲ構ヘ別ニ本人自ラ行商シ若クハ家族雇人ヲシテ行商セシムルトキ又ハ職工若クハ行商ニシテ十五年未滿六十年以上ノモノハ市役所戶長役場町村役場ニ届出テ證明証ヲ受ケ之ヲ携帶シ若クハ携帶セシムヘシ

第十三條 器械ニヨリ課税スルモノ税金免除ノ爲メ器械ノ封印ヲ請フハントスルモノハ市役所戶長役場町村役場ニ申出テ其封印ヲ受ケヘシ

第十四條 國稅又ハ地方稅アル營業者ハ其營業ニ關シ承認証ヲ有セサルモノヲ屬シテ地方稅ヲ課スヘキ諸業ニ從事セシムルヲ得ス

第十五條 製鐵製冶場酢釀造場糖製造場營業者ハ其上リ高較若クハ製造元帳ヲ製シ月計及年計ヲ付スヘシ

●第二類 ○地方稅賦課徵收

第十六條 質屋及宿屋營業者ハ成規ニヨリ調致スル質物及帳簿泊人名簿下宿人名簿ニ其質取金高又ハ宿客人員ノ月計及年計ヲ付スヘシ

第十七條 宿屋ノ宿泊人名簿下宿人名簿及割鉄鍛冶場ノ上リ高帳能製造場能製造場ノ製造元帳ハ其業ヲ稼額クト否トニ關セシ記帳後二ケ年間保存スヘシ

第十八條 質屋宿屋割鉄鍛冶場能製造場能製造場營業者ハ第七條ニ依リ届出ノ際其質物及帳簿泊人名簿下宿人名簿上リ高帳製造元帳ヲ市役所戸長役場町村役場ニ差出シ點檢ヲ受シヘシ

第十九條 島司郡市長戸長町村長ニ於テ營業者ヨリ届出タル質取金高宿客人員最多額數上リ高製造高及其見積高ヲ不相當ト認ムルトキハ適宜ノ方法ヲ以テ之ヲ審査シ訂正セシムルコトアルヘシ

第二十條 演劇興行遊覽所ノ一等ノ諸業ヲ營マントスルモノハ其警察署ニ届出ツルノ前ニ於テ相當税金ト均シキ金ヲ市役所戸長役場町村役場ニ預入置クヘシ其營業日數ヲ增加スルトキ亦同シ

第二十一條 屠畜者ニシテ畜類ヲ屠殺スルトキハ其税金領收證書ヲ應檢警察官吏ニ差出シ屠殺済及年月日ノ記入証印ヲ受クヘシ

第二十二條 此規則ニ依ルヘキ願届ハ其營業若クハ自用ノ場所ヲ定メタルモノハ其場所々在地場所ヲ定メタルモノハ其現住地(本縣内)ニ現住地ナキモノハ其營業地中ノ所轄ノ戸長町村長ヲ經由スルヲ要ス

第二十三條 承認証ヲ有スルモノ旅行スルトキハ留守引受人ヲ定メ双方連署ヲ以テ市長戸長町村長ニ届置クヘシ

第二十四條 營業稅雜種稅ニ關シ隨時主任官吏ヲ派遣シテ現場帳簿器械其他營業若クハ自用ニ關スル物件ヲ檢査セシムルコトアルヘシ此場合ニ於テハ營業者及自用者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十五條 第一條第三條ノ第二項第七條ヲ犯シタルモノ第二條ノ屆書ニ實ヲ以テ記載セサルモノ第十五條ノ帳簿ヲ設ケヌ又ハ之ヲ設ケルモ實ヲ以テ記載セサルモノ第二十四條ノ檢査ヲ拒ミタルモノハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料第四條第九條第十一條第十二條第十四條第二十三條ヲ犯シタルモノハ十錢

以上一圓以下ノ科料ニ處ス

第二十八條 此規則及他ノ規則ニ依リ處罰セラレタルモノ營業稅雜種稅課目課額ニ係ル脱税金アルトキハ其全額ヲ一時ニ追徴ス

承認証書式 用紙厚質西ノ内 豎曲尺六寸 横曲尺四寸

表

割 印

花 紋

第 何 號

何 營 業 承 認 之 證

何郡(市)町村(大字何)何番屋敷

何 某

●第二類 ○地方稅賦課徵收



裏

明治何年何月何日下付 明治何年度(何月分)証印			
花	紋		

承認證式例

一 數課目ヲ兼テ其ノ一課目ニ就キ課税スルモノハ其兼業名ヲ番號ノ下ニ兼業何々ト記載スヘシ  
 行商ノミヲナスモノハ本課目ノ下ニ行商ノ二字ヲ割書コスヘシ

標札書式 豎曲尺一尺五寸 横曲尺六寸

第何號	市役所町村役場 戸長役場烙印
何々	
姓	名

標札式例

- 一 普通額ヲ課スル營業者ハ烙印ノ下ニ年度稅額ヲ記載スヘシ
- 一 數課目ヲ兼テ其ノ一課目ニ就キ課税スルモノハ本業名ノ下ニ兼業何々ト記載スヘシ行商ノミヲ兼トスルモノハ課目ノ腹書ニ但行商ト書スヘシ
- 一 一人ニシテ數業ヲ營ミ各別ニ課税スルモノハ標札中ニ其各課目ヲ連載スルコトヲ得此場合ニ於テハ其課目ノ下ニ各別ニ烙印スヘシ
- 一 免稅ノ許可ヲ得タルモノハ課目ノ腹書ニ但免稅ト記載スヘシ

廿八年訓令  
第二十七號  
參照

●島根縣訓令第五十八號 明治二十七年三月二十四日  
 島 廳 郡役所 市役所 戸長役場 町村役場  
 明治二十四年八月島根縣訓令第三百二十九號營業稅雜稅課目課額施行手續別紙ノ通改正ニ明治二十七年四月  
 施行ス

●第一類 ○地方稅課徵收

(別紙)

營業稅雜種稅課目課額施行手續

第一章 戶長役場 町村役場

第一條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第一條第一項ヨリ届書ヲ差出シタルモノアルトキハ戶長町村長ハ其課目ト業体トノ適合及課稅標準ノ當否ヲ調査シ島廳郡役所ニ差出スヘシ

第二條 前條ニヨリ差出シタル届書ニ對シ島廳郡役所ヨリ承認證ヲ送付シタルトキハ元簿ニ其要件ヲ登記シタル後承認證ヲ本人ニ交付スヘシ

但月稅ノ課目ニ屬スルモノハ其税金ヲ收入シタル後承認證ヲ交付スヘシ

島廳郡役所ヨリ別ニ承認證ヲ本人ニ交付シタルコトノ通知ヲ受ケタルトキハ直轄ニ之ヲ元簿ニ登記スヘシ

第三條 前條ノ元簿ハ年稅ノ課目ニ屬スルモノト月稅ノ課目ニ屬スルモノトヲ區分シテ別冊トナシ且各課目ヲ分割シテ調製スヘシ

前項ノ元簿ハ其毎納期徵稅傳令書ヲ發付スルノ前ニ於テ人員ノ合計ヲ各課目ノ終ニ付スヘシ

第四條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第五條第六條ニヨリ免稅ヲ出願スルモノアルトキハ事實ヲ調査シ島廳郡役所ニ差出スヘシ前項ニヨリ免稅ヲ許可セラレタルモノハ適宜帳簿ヲ設ケテ其課目免稅事由及許可ノ年月日住所氏名ヲ記載シ置クヘシ

第五條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第四條ニヨリ承認證、再渡又ハ訂正ヲ請フモノ届書ヲ差出シタルトキハ之ヲ調査シテ島廳郡役所ニ差出スヘシ

前項ノ再渡又ハ訂正ニ係ル承認證ヲ島廳郡役所ヨリ送付シタルトキハ元簿ヲ訂正シ及ヒ其事由ヲ登記シタル後承認證ヲ本人ニ交付スヘシ

但月稅ノ課目ニ屬スルモノニシテ税金ヲ徵收スヘキモノハ之ヲ收入シタル後承認證ヲ交付スヘシ

六〇

簿ヲ訂正シ及ヒ其事由ヲ登記スヘシ

第六條 前條ノ承認證再渡ニ屬スルモノ、内轉居者ニシテ其島廳郡役所ノ所轄ヲ異ニスルモノハ轉住地戶長町村長ヨリ其届書及前承認證ヲ島廳郡役所ニ差出スヘシ

前住地戶長町村長ハ島廳郡役所ヨリ其轉居者ノ通知ヲ受ケタルトキハ元簿ニ其事由ヲ登記スヘシ

第七條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第十條ニ依リ廢業届出ノモノアルトキハ之ヲ島廳郡役所ニ差出シ全時ニ元簿ニ其事由ヲ登記スヘシ

第八條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第十二條ニヨリ證明書ノ下渡ヲ請フモノアルトキハ戶長町村長ニ於テ調製交付シ適宜帳簿ヲ設ケテ其元簿トナスヘシ

第九條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第二十條ニヨリ演劇興行遊覽所ノ一等ノ諸業ヲ營マントスル者ヨリ預入シタル金額ハ相當税金ヲ收入シタル後之ヲ還付スヘシ

第二章 島廳 郡役所

第十條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第一條第一項ニヨリ届書ヲ差出シタルモノアルトキハ之ヲ調査シ元簿ニ其要件ヲ登記シタル後承認證ヲ戶長町村長ニ送付スヘシ

但月稅ノ課目ニ屬スルモノニ限リ税金ヲ納付セシメタル後交付スヘシ

第十一條 前條ノ承認證ハ直轄ニ之ヲ本人ニ交付スルコトヲ得此場合ニ於テハ其別ニ交付シタルコトヲ戶長町村長ニ通知スヘシ

第十二條 第十條ノ元簿ハ一町村毎ニ年稅ノ課目ニ屬スルモノト月稅ノ課目ニ屬スルモノトヲ區分シテ別冊トナシ且各課目ヲ分割シテ調製スヘシ

但人員ノ僅少ナル町村ハ數町村ヲ合併シテ一冊トナスコトヲ得

前項ノ元簿ハ其毎納期徵稅傳令書ヲ發付スルノ前ニ於テ人員ノ合計ヲ各課目ノ終ニ付スヘシ

●第二類 ○地方稅賦課徵收

六一

第十三條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第五條第六條ニ依リ免稅セラルタルモノアルトキハ適宜帳簿ヲ設ケテ其課目免稅事由及許可ノ年月日住所氏名ヲ記載シ置クヘシ

第十四條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第四條ニヨリ承認證ノ再渡又ハ訂正ヲ請フモノアルトキハ左ノ區分ニヨルヘシ

一 承認證ヲ紛失毀損シ又ハ轉居セシモノナルトキハ元簿ニ其事由ヲ記載シ新ニ第十條ノ手續ニ據ルヘシ

二 課稅標準ノ變更又ハ代替改氏名ノモノナルトキハ元簿及承認證ヲ朱書訂正シ及其訂正ノ年月日ヲ記入シ承認證ニハ主任書記證印ノ上之ヲ戶長町村長ニ送付スヘシ

第十五條 前條ノ再渡又ハ訂正ニ係ル承認證ハ直ニ本人ニ交付スルコトヲ得此場合ニ於テハ其別ニ交付シタルコトヲ戶長町村長ニ通知スヘシ

但月稅ノ課目ニ屬スルモノニ限リ稅金徵收スヘキモノハ稅金ヲ納付セシメタル後交付スヘシ

第十六條 第十四條ノ承認證再渡ニ屬スルモノ、內轉居者ニシテ其島廳郡役所ノ所轄ヲ異ニスルモノハ轉居地島廳郡役所ニ於テ更ニ承認證ヲ交付スルト全時ニ其返納シタル前承認證ヲ前住地島廳郡役所ニ送付スヘシ其送付ヲ受ケタル島廳郡役所ハ元簿ニ其事由ヲ登記シ前住地戶長町村長ニ通知スヘシ

第十七條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第十條ニヨリ廢業届出ノモノアルトキハ直ニ元簿ニ其事由ヲ登記シ返納シタル承認證ヲ棄却スヘシ

第十八條 營業稅雜種稅課目課額ニヨリ質屋牛乳搾菜割鉄鍛冶場酢釀造場花製造場營業者ノ申立ニ對シ課額ヲ低減シタルトキハ其結果ヲ詳細縣廳ニ報告スヘシ

第三章 市役所

第十九條 市長ニ於テハ第一章及第二章ニ規定シタル手續ヲ併セ準用スヘシ

●島根縣訓令第二十七號 明治二十八年三月十一日 島廳 郡役所 市役所 戶長役場 町村役場

明治二十七年三月本縣訓令第五十八號營業稅雜種稅課目課額施行手續中左ノ通更正追加シ且第十條二項尙積取

ノ下劃註ノ內收稅署ヨリ通知トアルヲ戶長町村長ヨリ報告ト更正シ本年四月一日ヨリ施行ス

第一條 營業稅雜種稅課目課額施行規則第一條第一項ニヨリ届書ヲ提出シタルモノアルトキハ戶長町村長ハ之ヲ調査シ島廳郡役所ニ差出スヘシ

島廳郡役所ヨリ承認證ノ送付ヲ受ケタルトキハ元簿ニ其要件ヲ登記シタル後本人ニ交付シ又直ニ承認證ヲ本人ニ交付シタルコトノ通知ヲ受ケタルトキハ元簿ニ其要件ヲ登記スヘシ

但月稅ノ課目ニ屬スルモノハ其稅金ヲ收入シタル後承認證ヲ交付スヘシ

第二條 前條ノ元簿ハ年稅ノ課目ニ屬スルモノト月稅ノ課目ニ屬スルモノトヲ別冊トナシ且各課目ヲ分割シテ調製シ其毎納期徵稅簿ニ書テ發付スル前各課目ノ終ニ人員ノ合計ヲ付スヘシ

第三條 船、馬車、人力車、荷積車ノ新造解破亡失所有者ノ轉換及課稅標準ハ國稅ノ元帳ニ基キ其異動アル毎島廳郡役所ニ報告スヘシ

第十九條 但第十條ノ船、馬車、人力車、荷積車、元簿ハ設ケルニ及ハス

●島根縣令第十五號 明治二十七年二月二十三日

地方稅雜種稅中漁業採藻稅課目課額通常縣會ノ議決ヲ經內務大臣ニ具狀シ裁可ヲ得テ別紙ノ如ク改定シ明治二十七年度ヨリ施行ス

(別紙)

漁業採藻稅課目課額

第一章 課目課額

第一條 漁業採藻稅ノ課目課額左ノ如ク

捕鯨 一頭

●第二類 ○地方稅課額徵收

年稅上ノ額三百圓未満百分ノ一、三百圓以上五百圓未満百分ノ二、五百圓以上百分ノ三

六三

地引網

一等	一側長九百二十尋以上	年税金七圓五拾錢
二等	一側長六百六十尋以上	同 金六圓五拾錢
三等	一側長四百七十尋以上	同 金五圓六拾錢
四等	一側長三百二十尋以上	同 金四圓七拾錢
五等	一側長二百二十尋以上	同 金參圓九拾錢
六等	一側長百五十尋以上	同 金參圓拾錢
七等	一側長百尋以上	同 金貳圓四拾錢
八等	一側長七十尋以上	同 金壹圓八拾錢
九等	一側長五十尋以上	同 金壹圓參拾錢
十等	一側長五十尋未滿	同 金壹圓
中引網		
一等	一側長百五十尋以上	年税金貳圓拾錢
二等	一側長百尋以上	同 金壹圓六拾錢
三等	一側長七十尋以上	同 金壹圓貳拾錢
四等	一側長五十尋以上	同 金九拾錢
五等	一側長五十尋未滿	同 金七拾錢
大敷網		
一等	一側	季節税金一圓及上り高三百圓未滿八千分ノ七、同三百圓以上四百圓未滿八千分ノ十、同四百圓以上八千分ノ十五
春夏ニ營業スルモノ		同 金五十圓及上り高五百圓未滿八千分ノ十、同五百圓以上八千分ノ十五
二等	一側	同

秋冬ニ營業スルモノ

手繰網(丈高網及言方嶋牛網、三右衛門網、ミンミ網ヲ包含ス)

一等	一側長百尋以上	年税金參圓
二等	一側長五十尋以上	同 金貳圓
三等	一側長三十尋以上	同 金壹圓
四等	一側長二十尋未滿	同 金五拾錢
飯掛網		
一等	一側長三百尋以上	季節税金參圓
二等	一側長二百尋以上	同 金貳圓
三等	一側長百尋以上	同 金壹圓
四等	一側長百尋未滿	同 金五拾錢
鱈掛網	一側	季節税金參圓
鱈掛網	一側	同 金壹圓
文鰯魚掛網	長十尋	同 金七錢
掛網	長十尋	年税金七錢
八手網	長十尋	同 金參圓
鱈漁	一側	
一等	附ニテ網ヲ用フルモノ	季節税金四圓五拾錢
二等	附ニテ釣ヲナスモノ	同 金貳圓

●第二類 ○地方税賦課徴収

四張網(言方加賀津網、流網、五網、持網ヲ包含ス)	一側	同 金貳圓
鱒網	一側	同 金貳圓
鮭網	一側	同 金貳圓
六艘網	一側	同 金貳圓
壺網	一側	同 金壹圓
春柴手網	一個所	季節税金貳圓五拾錢
秋柴手網	一個所	同 金貳圓
張待網	一側	年税金貳圓
白魚張切網	一個所	季節税金壹圓五拾錢
投網	一人	年税金參拾錢
四手網(柄持網ヲ包含ス)一人	一人	同 金參拾五錢
潜水器	一臺	同 金拾五圓
扯繩	一人	同 金參拾錢
船釣	一人	同 金貳拾錢
磯釣	一人	同 金貳拾錢
桁曳漁(魁蛤桁、海鼠桁、蝦桁、海鼠網)	一人	同 金貳拾錢
魁蛤採	借區反別一反歩	同 金參拾錢
貝採	一人	季節税金參錢
章魚掛	一人	年税金貳拾錢
		同 金貳拾錢

章魚網	一人	同 金貳拾錢
海鼠採落シ石	一人	季節税金貳拾錢
手網	一人	年税金貳拾錢
多葉漬	一人	同 金參拾錢
肥料海藻採	一人	季節税金參拾錢
海藻採	一人	年税金貳拾錢
湖川ノ部		
越中網	一ヶ所	季節税金拾貳圓
手繰網 丈高網、及方言蠅牛網、三右衛網、ミンミ網ヲ包含ス)		
一等	一側長五十尋以上	年税金參圓
二等	一側長三十尋以上	同 金貳圓
三等	一側長三十尋未滿	同 金壹圓
六艘網	一側	年税金貳圓
春柴手網	一個所	季節税金貳圓五拾錢
秋柴手網	一個所	同 金貳圓
引網		
一等	一側長五十尋以上	年税金壹圓
二等	一側長五十尋未滿	同 金八拾錢
張待網	一側	年税金貳圓
出雲國大橋川及其支川並佐陀川、於テ營業スルモノ		

●第二類 ○地方税賦課徴収

二等	一個	同	金五拾錢
一等以外ノ場所ニ於テ營業スルモノ			
白魚張切網	一個所	季節税金壹圓五拾錢	
張切網(言方張網、立網、瀬張網、瀬切網、繰込網ヲ包含ス)	長十尋	年税金七錢	
	長十尋	同	金七錢
鮎掛網	長十尋		
方流網(方言操揚網、下リ待網、遊待網、ホリ網、手先網、舟川網ヲ包含ス)	一人	同	金參拾五錢
四手網(柄持網ヲ包含ス)	一人	同	金參拾五錢
浮網	長十尋	同	金參拾五錢
投網	一人	同	金六錢
鯛網	一個	同	金參拾錢
築漁	堰長一間	季節税金貳拾錢	
笠漁	堰長一間	同	金四錢
鵜飼	一羽	同	金四錢
鮎掛	一人	同	金參拾錢
並繩	一人	同	金參拾錢
籠採	一人	年税金參拾五錢	
釣魚	一人	同	金參拾錢
手網	一人	同	金貳拾錢
殿掻	一人	同	金貳拾錢

鰻箱	一個	季節税金參錢	
鵜籠	一個	年税金參錢	
貝採	一人	同	金拾錢
多葉漬	一人	同	金參拾錢
水草採	一人	同	金拾錢

第二章 賦課方法

第二條 大敷網ハ前季節ノ上リ高ニ依リ課税シ若シ營業季節ニ長短ノ差アルトキハ其月數ニ比例シテ上リ高ヲ定ム

但新規起業ノモノハ該季節間ノ上リ高見積ニ依リ課税ス

同上ノ營業者ニシテ一旦廢業ノ後更ニ起業スルモノ及家族若クハ他人其業ヲ繼テ營業スルモノ其間所一ケ年以内ノ者ハ繼續者ト見做シ課税ス

第三條 方流網、投網、四手網、ハ各一側ヲ増ス毎ニ投網ハ金參錢、方流網、四手網ハ金參錢五厘ヲ増課ス、第四條、尋數ノ算スルモノハ、鯨尺四尺ヲ以テ一尋トシ、其一尋ニ滿テサル端數モ尙ホ一尋トシテ計算ス

第五條 十尋毎ニ課税スルモノ其十尋ニ滿テサル端數モ尙ホ十尋トシテ計算ス

第六條 各種ノ網ニ附屬スル繩網ハ惣テ其長サヲ計算ス

第七條 魁蛤採ノ借區反別ハ一反歩ニ滿テサル端數モ尙ホ一反歩トシテ計算ス

第八條 築漁及笠漁ハ堰長一間ニ滿テサル端數モ尙ホ一間トシテ計算シ其堰ヲ設ケサルモノハ一間分ノ税ヲ課ス

第九條 張切網ニ笠ヲ附スルモノハ別ニ笠漁税ヲ課セス

第十條 手網、六嶋網、投網、四手網ノ諸課目ハ海及湖川ノ河部ヲ兼スルモ其最も高キ一課目ニ就テ課税シ課額

●第二類 ○地方稅賦課收

六九

同キモノハ其一種ニ就キ課税ス

第十二條 人頭ニ就キ課税スル各課目ヲ相兼セルモノハ海ノ湖川トテ同ハス其最も高キ一課目ニ就キ課税ノ課額同キモノハ其一種ニ就キ課税ス

但方流網投網四手網多葉漬鮎掛ハ此限ニアラス

第十三條 婦女子ニシテ人頭ニ就キ課税スル各課目ノ業ヲ營ムモノハ惣テ課額ノ二分ノ一ヲ課ス

第十四條 新規發明ノ漁具又ハ從來管内ニ用ヒタル漁具ヲ以テ起業セントスルモノアルトキハ之ヲ調査シ最モ類似ノ課目ニ準シテ課税ス

第十五條 器具ニ依リ課税スル者ニシテ其同課目中ノ器具ヲ所持スル者ハ物ヲ之ヲ算入ス

第十六條 年稅ヲ課スル課目(捕鯨ノ除ク)ハ其九月以前新起ニ係ルモノハ全年度分府業ニ係ルモノハ半年度分ノ税金ヲ課ス

第十七條 器具ヲ改修シタル爲メ課税ノ異動ヲ生シタルトキ若シ後ノ課額前課額ヨリ多キトキハ更ニ其差額ヲ課ス

第十八條 第二項ニ依リ免稅シタル者ハ其満期ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ課額ヲ計算ス

第十九條 器具ヲ改修シタル爲メ課税ノ異動ヲ生シタルトキ若シ後ノ課額前課額ヨリ多キトキハ更ニ其差額ヲ課ス

第二十條 自己ノ耕地培養ニ用フル海藻若シハ水草採

第二十一條 人頭ニ就キ課税スルモノニシテ年齡十五歳未滿六十歳以上ノモノ

第二十二條 人頭ニ就キ課税スルモノニシテ國庫費地方費市町村費ノ半年以上引當救恤ヲ受ケタルモノ

第二十三條 管外ヨリ來リ其特利アル入會場所ニ於テ漁採業ヲナスモノニシテ管外ニ於テ前稅ニ就キ課税スルモノ

第二十四條 左ノ各項ニ相當スルモノハ漁業採藻稅ヲ課セズ

第二十五條 自己ノ耕地培養ニ用フル海藻若シハ水草採

第二十六條 人頭ニ就キ課税スルモノニシテ年齡十五歳未滿六十歳以上ノモノ

第二十七條 人頭ニ就キ課税スルモノニシテ國庫費地方費市町村費ノ半年以上引當救恤ヲ受ケタルモノ

第二十八條 管外ヨリ來リ其特利アル入會場所ニ於テ漁採業ヲナスモノニシテ管外ニ於テ前稅ニ就キ課税スルモノ

第二十九條 左ノ各項ニ相當スルモノハ調査ノ上特ニ漁業採藻稅ヲ免除スルコトナルヘシ

第三十條 人頭ニ就キ課税スル營業人資因ニシテ他人ノ扶助ヲ仰カサレシ生存スル能ハサルモノ

第三十一條 將來公益ノ見込アル新規發明ノ漁具又ハ從來管内ニ用サル漁具ニシテ試驗ノ爲メ使用ヲ要スルモ

第三十二條 但ニ十年ヲ超ユルモノハ此限ニアラス

第三十三條 遊樂ノ爲メ漁業採藻シナスモノハ總テ其課額ノ二倍ヲ課ス

第三十四條 島根縣令第十八號 明治二十四年二月九日

漁業採藻稅課目課額施行規則

第一條 漁業採藻稅課目課額ニ定メタル諸業ヲ營メントスル者ハ左ノ各項ヲ詳記シ場區ヲ定ムル者ハ其場區

第二條 場區ヲ定ムル者ハ其現住地所轄ノ島廳郡役所市役所ニ願出テ一種目毎ニ鑑札ヲ受テヘシ

第三條 營業稅種目稅額及課稅ノ標準

第四條 敷種目ノ營業者ニシテ其一種目ニ就キ課税スル者ハ其營業種目

第五條 捕魚採貝採藻中其主トスル者及之ニ兼ムル者ノ名稱

第六條 器具ノ圖面及其使用方法

第七條 定置漁具ハ其裝置法及地形

第十六年 命令 第二十五號

第七一

七〇

第六 海及湖川ノ両部ニ同種目アル者ハ其區別

第七 場區ヲ定ムル者ハ其地名及借區許可ノ年月日

第八 季節稅ヲ課スル者ハ其季節

前各項ノ内人頭ニ就キ課稅スル者ヨリ差出スヘキ願書ニハ第三項第四項第五項ハ記載ヲ要セス

本條ノ願書ハ其漁業組合規約アル所ハ其組合取締ノ連印ヲ以テ差出スヘシ

第二條 第一條ニ依リ鑑札ヲ有セサル者ハ其諸業ヲ管ムコトヲ得ス

第三條 鑑札ハ貸借買賣讓渡ヲ許サス

第四條 水火盜難過誤等ニテ鑑札ヲ紛失毀損シ又ハ代替改氏名轉居セントキハ之ヲ届出テ鑑札ノ再渡又ハ書換ヲ請フヘシ

但人頭ニ就キ課稅スル者ニテ代替ノ場合ニ於テハ本條ノ書換ヲ請フヘキ限コラス

第五條 人頭ニ就キ課稅スル營業人貧困ニシテ他人ノ扶助ヲ仰カサレハ生存スル能ハサル者及不具並癩疾ノ爲メ免稅ヲ請ントスルトキハ第一條ノ例ニ依リ島廳郡役所市役所ニ願出ツヘシ

第六條 將來公益ノ見込アル新規發明ノ漁具又ハ從來管内ニ用ヒサル漁具コシテ試驗ノ爲メ使用ヲ要スルモノ免稅ヲ請ハントスルトキハ第一條ノ例ニ依リ其島廳郡役所市役所ヲ經テ縣廳ニ願出ツヘシ

第七條 鑑札ヲ受ケタル者及前二條ニ依リ免稅セラレタル者ハ營業ノ時其鑑札若シハ許可ノ証ヲ携帯スヘシ

第八條 人頭ニ就キ課稅スル者ニシテ年齢十五歳未滿六十歳以上ノ者及因庫費地方費市町村費ヨリ半年以上引續救恤ヲ受ケル者ハ市役所戶長役場町村役場ニ届出テ其免稅ノ證明書ヲ受ケテ之ヲ携帯スヘシ

第九條 第一條第五條第六條ニヨリ營業ヲ許可セラレタル者ハ左記書式ニ從ヒ鑑札ヲ製シ市役所戶長役場町村役場ノ檢印ヲ受ケ之ヲ戶外見易キ所ニ釘付スヘシ

第十條 場區ヲ定メテ營業セントスル者ハ其借區ノ許可ヲ受ケタル後此規則ニ依リ願出ツヘシ

第十一條 漁具改修ノ爲メ鑑札面ニ異動ヲ生シタル者アルトキハ直ニ鑑札ノ書換ヲ願出ツヘシ

前項鑑札ノ書換ヲ受ケタルトキハ直ニ其標札中ノ異動ヲ訂正スヘシ

第十二條 廢業スル者ハ其旨届出テ鑑札アル者ハ之ヲ返納シ同時ニ標札ヲ市役所戶長役場町村役場ニ差出シ消印ヲ受ケヘシ其借區營業ニ係ル者ハ直ニ場區ヲ返納スヘシ

但實際其業ヲ管マサレモ鑑札ヲ返納セサル間ハ課稅ヲ受クヘキ者トス

第十三條 大敷網營業者ハ其上リ高帳ヲ製シ月計及季節ノ合計ヲ付スヘシ

第十四條 前條ノ帳簿ハ稜積シト否トニ關セス其季節後二年間保存スヘシ

第十五條 大敷網營業者ニシテ稜積カントスル者ハ一二月末日迄二等ハ八月末日迄ニ前季節ノ上リ高ヲ島廳郡役所市役所ニ届出テ同時ニ其上リ高帳ヲ市役所戶長役場町村役場ニ差出シテ照檢ヲ受クヘシ

第十六條 島司郡長市長戶長町村長ニ於テ前條ニ依リ届出タル上リ高及新規起業者ノ上リ高稜積額ノ不相當ト認ムルトキハ適宜審査ヲ遂ケ之ヲ訂正セシムルコトアルヘシ

第十七條 此規則ニ依ルヘキ願届ハ場區ヲ定ムル者ハ其場區、場區ヲ定メサル者ハ其現住地所轄ノ戶長町村長ヲ經由スルヲ要ス

第十八條 鑑札ヲ受ケタル者出稼等ノ爲メ旅行スルトキハ留守引受人ヲ定メ双方連署シ以テ市長戶長町村長ニ届置クヘシ

第十九條 漁業採藻稅ニ關スル營業ニ就テハ隨時主任官吏ヲ派遣シ現場帳簿器具其他營業ニ屬スル物件ヲ檢査セシムルコトアルヘシ此場合ニ於テハ營業人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十條 第二條第十四條ヲ犯シタル者及第一條ノ願書ニ實ヲ以テ記載セサル者第十三條ノ帳簿ヲ設ケス又ハ之ヲ設ケルモ實ヲ以テ記載セサル者第十九條ノ檢査ヲ拒ミタル者ハ登壇以上登壇九拾五錢以下ノ科料第三條第四條第七條第八條第九條第十一條第十五條第十八條ヲ犯シタル者ハ拾錢以上登壇以下ノ科料ニ處ス

第二十一條 此規則ニ依リ處罰セラレタル者脱稅金アルトキハ其全額ヲ一時ニ追徵ス



補則

第二十二條 遊樂ノ爲メ漁業採藻ヲナスモノハ此規則ノ各條ニ依ルヘシ

第二十三條 他ノ府縣ヨリ來リテ漁業採藻ヲナスモノハ此規則ニ依リ其營業地ノ屬スル島郡那役所市役所中便宜ノ一ヲ選テ之ニ就キ鑑札ヲ受クヘシ

第二十四條 明治二十一年ニ縣令第二十五號明治二十二年一月縣令第九號及明治二十三年二月縣令第十四號ヲ以テ定メタル漁業採藻稅徵收規則ニ依リ漁業採藻ヲナスコトヲ許可セシメラル者ノ鑑札及許可ノ証標札ハ此規則ニ於テ尙ホ有効トス

(標札書式) (豎曲尺一尺五寸)

第 號	市役所 戶長役場 町村役場 鑑札	稅 金 何 程
何等何網幾側若クハ何々		
姓	名	

(輻曲尺六寸)

標札式例

一人ニシテ數種目ノ業ヲ兼テ各別ニ税金ヲ課スル者ハ標札中ニ其各種目ヲ記載スルヲ得此場合ニ於テハ其種目ノ下ニ各別ニ烙印ヲ捺スヘシ

一數種目ノ營業者ニシテ其一種目ニ就キ課稅スル者ハ本業名ノ下ニ兼業何々ト記載スヘシ

一免稅ノ許可ヲ得タル者ハ税金ノ位地ニ免稅ト記載スヘシ

一遊樂ノ爲メニスルモノハ種目ノ冒頭ニ遊樂ノ二字ヲ割當スヘシ

島根縣令第三十五號 明治二十六年三月九日

明治二十四年二月島根縣令第十八號漁業採藻稅課目課額施行規則中左ノ通改正。明治二十六年度ヨリ施行ス

第七條ニ左ノ但書ヲ加フ  
但網及潜水器ノ所有主(投網、四ツ手網、方流網、手網ヲ除ク)家族或ハ雇人ヲ使役シテ營業スルトキハ其鑑札若クハ許可ノ証ハ本人ニ代テ携帶セシムルコトヲ得

第八條ニ左ノ一項ヲ加フ  
器械ニ依リ課稅スルモノ税金免除ノ爲メ器械ノ封印ヲ請ハントスルモノハ市役所戶長役場町村役場ニ申出テ其封印ヲ受クヘシ

島根縣訓令第四百十號 明治二十四年八月二十九日

漁業採藻稅課目課額施行手續別紙ノ通定

島 郡 那 役 所 市 役 所 戶 長 役 場 町 村 役 場

(別紙)

漁業採藻稅課目課額施行手續

第一章

戶長役場 町村役場

第一條 漁業採藻稅課目課額施行規則第一條ニ依リ願書ヲ差出シタル者アルトキハ其願書ニ記載アル事項及時宜ニヨリ場所若クハ器具ヲ調査シ又必要ト認ムルトキハ關係ノ有スル町村及營業者ヲ取調ルル後島郡那役所ニ差出スヘシ

第二條 漁業採藻稅課目課額施行規則第五條第六條ニ依リ免稅ヲ願出シタル者アルトキハ前條ノ外尙ホ免稅ノ當否ヲ調査シテ島郡那役所ニ差出スヘシ

第三條 戶長町村長ハ別紙第二號書式ニ準シ徵稅元簿ヲ調製シ前第二條ノ願書ニ對シ島郡那役所ヨリ鑑札若クハ許可ノ証ヲ送付セルトキ其各事項ヲ記載シテ後之ヲ本人ニ交付スヘシ

第二類 C 地方稅賦課徵收

島廳郡役所ヨリ前二條ノ願書ニ對シ鑑札若クハ許可ノ証ヲ與ヘタルノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ徵稅元簿ニ記載スヘシ

本條第一項ノ内隨時收入ニ屬スル者ハ其税金ヲ收入シタル後鑑札ヲ本人ニ交付スヘシ

第四條 徵稅元簿ハ其每納期徵稅傳令書ヲ發付スルノ前ニ於テ人員及税金額ノ合計ヲ各納稅種目ノ終ニ付スヘシ

第五條 漁業採藻稅課目課額施行規則第四條第十一條ニ依リ鑑札ノ再渡又ハ書換ヲ願出ツル者ノルトキハ之ヲ調査シテ島廳郡役所ニ差出シ島廳郡役所ヨリ更ニ鑑札ヲ送付シタルトキ徵稅元簿中ニ其事由ヲ記入シ別ニ新ニ各事項ヲ記載シタル後鑑札ヲ本人ニ交付スヘシ

島廳郡役所ヨリ再渡又ハ書換ニ係ル鑑札ヲ直ニ其本人ニ交付シタルノ通知ヲナレバトキハ前項ニ依リ徵稅元簿中ニ記載スヘシ本條第一項ノ内其税金ヲ徵收スヘキ者ハ之ヲ收入シタル後鑑札ヲ交付スヘシ

第六條 前條ノ鑑札再渡ニ屬スル者ノ内轉居者ニシテ其島廳郡役所ノ所轄ヲ異ニスルモノハ轉住地戸長町村長ヨリ其屆書及前鑑札ヲ島廳郡役所ニ差出スヘシ

第七條 漁業採藻稅課目課額施行規則第十二條ニ依リ廢業届出ノモノアルトキハ直ニ徵稅元簿中ニ其事由ヲ記載シテ島廳郡役所ニ差出スヘシ

第二章 島廳 郡役所

第八條 漁業採藻稅課目課額施行規則第一條ニ依リ願書ヲ差出シタル者アルトキハ其願書ニ記載アル事項及時宜ニヨリ場所若クハ器具ヲ調査シ又必要ト認ムルトキハ關係ヲ有スル町村及營業者ヲ取調ルル後別紙第一號書式ニヨリ鑑札ヲ調製シ戸長町村長ニ送付スヘシ

第九條 漁業採藻稅課目課額施行規則第五條第六條ニ依リ免稅ヲ出願スル者アルトキハ之ヲ調査シ其第五條ニ屬スル者ハ島司郡長ニ於テ之ヲ許可シ第六條ニ屬スル者ハ之ヲ照應ニ差出スヘシ

本條ニ依リ免稅シタル者ノ許可ノ証ハ之ヲ戸長町村長ニ送付スヘシ

第十條 前二條ニ依リ戸長町村長ニ送付スヘキ鑑札若クハ許可ノ証ハ直ニ其本人ニ交付スルコトヲ得此場合ニ於テハ之ヲ戸長町村長ニ通知スヘシ

本條中隨時收入ニ屬スル者ハ直ニ其税金ヲ納付セシメタル後鑑札ヲ交付スヘシ

第十一條 島廳郡役所ニ於テハ別紙第二號書式ニ依リ徵稅元簿ヲ調製シ第八條第九條ニヨリ鑑札若クハ許可ノ証ヲ與フル者ニ屬スル各事項ヲ記載スヘシ

第十二條 徵稅元簿ハ其每納期徵稅傳令書ヲ發付スルノ前ニ於テ人員及税金額ノ合計ヲ一町村毎ニ納稅種目別ニ終ニ付スヘシ

第十三條 漁業採藻稅課目課額施行規則第四條第十一條ニ依リ鑑札ノ再渡又ハ書換ヲ願出ツルモノアルトキハ徵稅元簿中ニ其事由ヲ記入シ別ニ新ニ各事項ヲ記載シテ鑑札ヲ調製シ戸長町村長ニ送付スヘシ

第十四條 前條ノ再渡又ハ書換ニ係ル鑑札ハ直ニ之ヲ本人ニ交付スルコトヲ得此場合ニ於テハ之ヲ戸長町村長ニ通知スヘシ

本條中其税金ヲ徵收スヘキ者ハ之ヲ收入シタル後鑑札ヲ交付スヘシ

第十五條 第十三條ノ鑑札書換ニ屬スル者ノ内轉居者ニシテ其島廳郡役所ノ所轄ヲ異ニスル者ハ轉住地島廳郡役所ヨリ更ニ鑑札ヲ交付スルト同時ニ其返納シタル前鑑札ヲ前住地島廳郡役所ニ送付スヘシ其送付ヲ受ケタル島廳郡役所ハ徵稅元簿ニ其事由ヲ記載シ前住地戸長町村長ニ通知スヘシ

第十六條 漁業採藻稅課目課額施行規則第十二條ニ依リ廢業届出ノモノアルトキハ直ニ徵稅元簿中ニ其事由ヲ記載シ返納シタル鑑札ヲ棄却スヘシ

第三章 市 役 所

第十七條 市長ニ於テハ第一章及第二章ニ規定シタル手續ヲ併セテ用スヘシ

(第一號書式)

長三寸

七八

表

〇 何營業免許鑑札

縣國郡市町村大字番地

族籍

姓

名

島根縣

〇 嶋廳郡市役所

島 郡 市 役 所 印

明治年月日

宜 濱 厚 並 賀 木

式 例

一海ト湖川ニ同名アル者ハ種目ノ冒頭ニ海又ハ湖川ノ字ヲ冠セシムヘシ

一數種目ノ營業者ニシテ其一種目ニ就キ課税スル者ハ其一種目ノヨリ記載スヘシ

一種目ニ等級アル者ハ種目ノ下ニ等級ヲ記入スヘシ

一二側以上ノ網ヲ有スル者ハ其側數ヲ記入スヘシ

一海ノ部文鰯魚掛網、掛網、春柴干網、白魚張切網、潜水器、魁蛤採、多葉漬及湖川ノ部春柴干網、白魚張切網、張切網、鮭掛網、浮網、釣漁、釜漁、鵜飼、多葉漬ハ其數東數其他課税ノ標準トナルヘキ者ヲ種目ノ下ニ記入スヘシ

一遊娛ノ爲ニスル者ハ營業ノ字ニ換フルニ遊娛ノ字ヲ以テスヘシ

(第二號書式) (用紙美濃紙)

鑑札番號	鑑札交付年月日	課税ノ標準	何若クハ何間或ハ何箇所	何	郡市町村大字番地
納税種目	何網何等若シハ	何若クハ何間或ハ何箇所	何若クハ何間或ハ何箇所	何	某
年(季節)税額	何	納税期	何	何	
場	所	何	何	何	
採魚ノ主ナル者ノ名稱	何	全上之ニ象スル者ノ名稱	何	何	

第二類 ○地方稅賦課徴收

七九


式例

第十八條  
第十四號

一 場區借用許可ノ者ハ場所ノ欄ニ其場區ノ名稱及反別ヲ記入スヘシ  
 一 大敷網ハ年(季節)税額ノ欄ハ記入ヲ要セス  
 一 季節ノ欄ハ季節税ヲ課スル者ニ限リ記入ヲ要ス  
 一 此帳簿ハ毎町村別及納税種目毎ニ區劃スルヲ要ス  
 ● 島根縣令第百十四號 明治二十六年十二月二十七日  
 地方税徵收期限左ノ通改正シ明治二十七年年度所屬ノモノヨリ之ヲ施行ス

地方税徵收期限

第一條 地租割ハ左ノ期限ニヨリ毎期五分宛徵收ス  
 該年 三月十六日ヨリ  
 該年 五月三十一日マデ  
 該年 九月三十日マデ

第二期 該年 四月二十一日ヨリ  
 該年 五月十五日マデ  
 該年 十一月十五日マデ

第一期 該年 五月十六日ヨリ  
 該年 五月三十一日マデ  
 該年 十一月三十一日マデ

第二條 戶數割ハ左ノ期限ニヨリ毎期五分宛徵收ス  
 該年 五月十六日ヨリ  
 該年 五月三十一日マデ  
 該年 十一月三十一日マデ

第三期 營業税雜種税ノ内年税ハ左ノ期限ニヨリ毎期五分宛徵收ス  
 該年 五月十六日ヨリ  
 該年 五月三十一日マデ  
 該年 十一月三十一日マデ

第四條 營業税雜種税ノ内季節税ハ前條ニ依リ其季節ノ始マル期ノ内ノ年税ト同期限ニ於テ其各年度分ヲ徵收

ス

第五條 營業税雜種税ノ内月税日税及屠畜税捕鯨税ハ左ノ期限ニヨリ徵收ス  
 月税日税 届出ノ際  
 屠畜税 屠殺前  
 捕鯨税 上ノ高決定後三日以内

第六條 第三條及第四條ノ内臨時届出ニ係ルモノハ其時々相當税額ヲ徵收ス

第七條 地方税徵收期ノ末日日曜日又ハ大祭日祝日ニ當ルトキハ其翌日ヲ以テ徵收期ノ末日トス  
 ● 島根縣令第百十四號 明治二十八年三月二十二日  
 明治二十六年<sup>十二</sup>本縣令第百十四號地方税徵收期限中左ノ通改正ス

第二期 戶數割ハ左ノ期限ニヨリ毎期五分宛徵收ス  
 第一期 該年 五月三十一日ヨリ  
 該年 五月三十一日マデ  
 該年 十一月三十一日マデ

第二期 營業税雜種税ノ内年税ハ左ノ期限ニヨリ毎期五分宛徵收ス  
 第一期 該年 五月三十一日ヨリ  
 該年 五月三十一日マデ  
 該年 十一月三十一日マデ

第二期 島根縣令第百十五號 明治二十六年十二月二十七日  
 府縣稅徵收法細則通常照會ノ決議ヲ經左ノ如ク改正シ明治二十七年年度所屬ノモノヨリ之ヲ施行ス

府縣稅徵收法細則

第一條 島司郡長ハ徵收法第五條第七條市長ハ同法第六條第七條ニヨリ每年度ノ地租割戶數割ノ税率及營業  
 稅雜種稅課目課額ニ從ヒ之ヲ徵收スヘシ

第二條 島司郡長ハ地租割及戶數割ハ該納期以前十日マデニ徵收令發シ町村長戶長ハ納期以前ニ徵收傳

● 第二類 C 地方税賦課徵收

令書ヲ發スヘシ

營業稅雜稅ハ該納期以前二十五日マテニ徵稅令書ヲ發シ納期以前ニ徵稅傳令書ヲ發スヘシ

第三條 市長ハ地租割及營業稅雜稅日數割ハ該納期以前ニ徵稅令書ヲ發スヘシ

第四條 隨時徵收ニ係ル者ハ島司郡長ニ於テ時々納期ヲ指定シテ町村長戸長ニ對シ徵稅令書ヲ發シ町村長戸長ハ其徵稅令書ヲ受ケタル日ヨリ二日以内ニ徵稅傳令書ヲ發スヘシ

第五條 島司郡長ニ於テ納稅人ヨリ直ニ徵收シ及市長ニ於テ徵收スルモノモ尙ホ前項ヨリ徵稅令書ヲ發スヘシ

第六條 雜稅中物件ニ課スルモノハ該年度前後兩期各々納稅義務ノ起リタル日現在ノ所有者ヨリ徵收スヘシ

第七條 納稅人ヨリ稅金ヲ縣出納吏又ハ戸長收入役ニ納付スルトキハ徵稅令書若シハ徵稅傳令書ヲ添付スヘシ

第八條 徵稅令書ヲ受ケタル納稅人及市長町村長戸長ヨリ納付スル稅金ハ縣出納吏ニ納付シ縣出納吏ハ即時ニ領收証ヲ交付スヘシ

第九條 戸長及收入役ニ於テ領收シタル稅金ハ一定ノ納期アルモノハ納期後三日以内其他ハ一ヶ月毎々之ヲ取納メ翌月三日以内ニ市長町村長戸長ヨリ縣出納吏ニ納付スヘシ

第十條 島司郡長ニ於テ徵收スルモノ及市長ニ於テ隨時徵收スルモノニ係ル縣出納吏ノ事務ハ島司郡長市町長之ヲ取扱フヘシ

訓令第一號 明治二十三年三月二十日 島司郡長市長姓名

地方稅滯納者ヲ處分スルニ際シ國稅滯納處分法第四十五條ニヨリ使了若シハ書留郵便ヲ以テ督促令狀ヲ發付スルノ費用ハ同法第八條第三項ノ通信費ニ包含セサル義ト心得可シ

訓令第二九號 明治二十三年五月二十一日 島 廳 市役所

地方稅滯納者處分ニ際シ國稅滯納處分法第八條ニ規定アル滯納處分費ハ其廳(役所)經費所屬ノ經費ニ收入ス

右訓示ス

ヘキ義ト心得可シ

訓令第二八號 明治二十三年五月二十一日

地方稅滯納者處分ニ際シ國稅滯納處分法第八條ニ規定アル滯納處分費收入方法書ニ訓令第一六號ヲ以テ訓令ニ置キタル處右ハ其收入スルトキハ郡吏員給料旅費及廳中諸費ニ屬スル雜收入トシテ取扱ヒ其支出ハ郡役所經費ノ當然支辨ニ屬スヘキ義ト心得ヘシ

島根縣訓令第十二號 明治二十四年一月二十四日 島 廳 戶長役場

地方稅ヲ其徵收期限ヲ過キ完納セサル者アルトキハ戶長ヨリ督促令狀ヲ發シ滯納者其令狀ヲ受タル日ヨリ五日以内ニ尙ホ之ヲ完納セサルトキハ其種目金額及滯納者住所氏名ヲ詳細ニシテ屬書ヲ製シ島廳ニ差出スヘシ

島根縣訓令第十三號 明治二十四年一月二十四日 島 廳 戶長役場

明治二十四年一月訓令第十二號ニヨリ地方稅滯納者ニ對シ督促令狀ヲ戶長ヨリ發スルニ就テハ其手数料ハ該町村ニ收入スヘシ

甲第百十號 明治十八年六月二十二日

土地所有者ニシテ其土地所在ノ戶長役場所轄内ニ居住セサルトキハ地租地方稅備荒儲蓄金町村費徵稅物件輸送費上納ノ爲メ代人ヲ定メ土地所轄ノ戶長役場ニ届出シ此旨布達候事

但明治十三年本縣甲第百二十七號布達ハ廢止ス

島根縣令第二十一號 明治二十四年二月十六日

明治二十二年七月縣令第七號貸席娼妓賦金賦課徵收規則別冊ノ通更止明治二十四年度ヨリ施行ス

貸席娼妓賦金賦課徵收規則

第一章 賦課 徵收

第一條 貸席及娼妓營業者ハ左ノ等級ニ依リ賦金ヲ課ス

一等地 松江市及安來町免許地

第二類 C 地方稅賦課徵收

廿六年縣令  
第百二十一號  
號參照



第十二條 貸席若シハ娼妓ノ營業免許ヲ受ケタルトキハ其賦金賦課ノ標準ヲ記載シ三日以内ニ島司郡長市長ニ届出ツヘシ

賦金賦課ノ標準ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十三條 娼妓病ニ罹リ休業シ賦金納額ニ異動ヲ生スルトキハ醫師診斷書ヲ添ヘ島司郡長市長ニ届出ツヘシ

第十四條 前二條ノ届書ニシテ島司郡長市長ニ差出スモノハ町村長戸長ヲ經由スルヲ要ス

第十五條 第十二條ヲ犯シタル者ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

第十六條 貸席及娼妓賦金ヲ怠納シタルトキハ營業ヲ停止ス

但怠納金ヲ完納シタルトキハ解停ス

島根縣令第二百一十一號 明治二十六年十二月二十九日

明治二十四年島根縣令第二十一號貸席娼妓賦金賦課徵收規則中左ノ如ク改正シ明治二十七年四月ニ施行ス

第一條 貸席及娼妓營業者ハ左ノ區別ニ依リ賦金ヲ課ス	
一等地 松江市及能義郡安來町免許地貸席	賦金月額金參圓
二等地 客室八間以上	同 金貳圓
三等地 同 五間以上	同 金壹圓
娼妓 同 四間以下	同 金壹圓
一等地 一夜揚代金壹圓五拾錢以上	賦金月額金貳圓五拾錢
二等地 同 金壹圓五拾錢以上	同 金貳圓拾錢
三等地 同 金壹圓拾錢以上	同 金壹圓七拾錢

四等 同 金八拾錢以上	同 金壹圓參拾錢
五等 同 金五拾錢以上	同 金九拾錢
六等 同 金參拾五錢未滿	同 金五拾錢
二等地 一等地外ノ免許地	
一等地 客室八間以上	賦金月額金壹圓八拾錢
二等地 同 五間以上	同 金壹圓貳拾錢
三等地 同 四間	同 金八拾錢
四等地 同 三間以下	同 金五拾錢
娼妓 一夜揚代金壹圓以上	賦金月額金壹圓六拾錢
一等地 同 金壹圓未滿	同 金壹圓貳拾錢
二等地 同 金六拾錢以上	同 金八拾錢
三等地 同 金四拾錢以上	同 金四拾錢
四等地 同 金貳拾五錢以上	同 金貳拾錢
五等地 同 金貳拾五錢未滿	同 金貳拾錢

島根縣訓令第二十四號 明治二十八年三月四日

- 島 廳
- 郡役所
- 警察署
- 監獄支署
- 縣立學校
- 縣立病院
- 縣立療養院
- 測候所
- 市役所

地方税科目別表ノ通改定シ明治二十八年四月ヨリ施行ス

但豫算ニ於テ科目ノ増加若シハ變更ヲナシタルトキハ當然本表中ノ科目ヲ増加變更シタルモノトス

●第二類 C地方税賦課徵收

地方稅科目表

收入ノ部

款	項	目	節	解
地租割		郡市連帶地租割		
營業稅	商業稅	郡部地租割		
	工業稅			
雜種稅		全上		
	料理屋稅			
	待合茶屋稅			
	遊船宿稅			

第二類 ○地方稅賦課徵收

項	目	節	解
芝居茶屋稅			
飲食店稅			
湯屋稅			
理髮人稅			
備人請宿稅			
遊藝師匠稅			
遊藝稼人稅			
相撲稅			
俳優稅			
帶間稅			
藝妓稅			
市場稅			
	牛馬市稅		
	木綿市稅		
演劇稅			



興行税	遊覽所税	遊技場税	人寄席税	船税	車税	馬車税	人力車税	荷積車税	水車税	乘馬税	屠蓄税	漁業税	採藻税
													漁業採藻税課目課 類ニ係ケル如シ

鳥獸獵税	自轉車税	仲仕税	屠手税	戸數割	雜收入	警察費雜入	請願審査費 納付金	賠償金	被服代返納 金	不用物賣却 代	懲罰金	全上
				郡市連帶戸 數割	郡市戸數割							
		同上	同上	同上								

地方税規則第九條ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケタルモノ

●第二類  
○地方税賦課徴収







●第二類 ○地方稅賦課徵收

賦金收入	代生產物賣却	貸渡料	地所賣却代	家屋賣却代	不動產收入	金	代不用物賣却	金	過誤拂返納	金	賠償金	代不用物賣却	貸渡料	金	縣監獄建築 修繕費雜入	金	過誤拂返納	金	縣監獄建築 修繕費雜入

縣監獄建築 修繕費雜入	貸渡料	代不用物賣却	賠償金	金	過誤拂返納	金	工錢收入	工業塔收入	工業益金	慈善金收入	代不用物賣却	懲罰金	賠償金	被服代返納	上告者在監 費拂償金	縣監獄建築 修繕費雜入

監獄則第二十四條ニ係ルモノ

國庫下渡金	國庫補助金	國庫費	寄附金	某尋常中學校基金收入	前年度繰越金	前々年度繰越金	雜収	追徴金	貸席賦金	娼妓賦金	某追徴金	絶家遺留財產収入	郡市連帶繰越金	郡市連帶繰越金	郡部繰越金	郡部繰越金	郡市連帶繰越金	慈惠命繰越金	警察費下渡金	

賠償金	代不用物賣却	農業者實踐場収入	入學試験料	授業料	何費中何費指定金	何費指定金	縣監獄建築修繕費支辨金	縣監獄費支辨金	何費補助金	警察廳舎建築修繕費下渡金	築治監入ルキ囚人費	築治監入ルキ囚人費	築治監入ルキ囚人費	築治監入ルキ囚人費	築治監入ルキ囚人費	築治監入ルキ囚人費	築治監入ルキ囚人費	築治監入ルキ囚人費	築治監入ルキ囚人費	築治監入ルキ囚人費

●第二類 C地方税賦課徴収

款	支 出	項 目	節	解								
警 察 費	支 出	利 子 收 入	節	公債証書及預金利子								
					支 出	項 目	節	解				
									俸 給			
									雜 給			
									旅 費			巡查、雇員、諸雇証人等ノ旅費
									備 給			雇員、給仕、小使、水夫、繩取並看守人ノ給及公輸物送 送人足、臨時雇入人足、職工、評價人、非常雇付夫、標旗 持夫等ノ賃金
									巡 査 給 助 金			巡查看守給助例及明治十九年内務省訓第五九八號訓令 ニ據ルモ、
賞 與 費			賞與費規則ニ據ルモ、及巡查雇員以下職務勉勵ニ 賞與ナルモ、									
被 服 費			巡查、水夫等ノ被服代及其修繕ノ費用									

應 費	手 當
備 品 費	警區手當、教習生月手當、公換方給料等
消 耗 品 費	椅子、腰掛、板、簿記帳簿、文箱、長筒、戸棚、文庫、銀 函、磁器、水桶、釣瓶、手桶、窓掛、枕掛、時計、暖爐、火 鉢、箕、掃帚、傘、立、印章、活字、版木、茶碗、茶盆、 車、鑼、砲、斧、鋸、鋤、水甕、鍋、釜、土瓶、土瓶、茶壺、 炭取、火箸、柄杓、煎茶、打盤、物取、刷毛、雨具、點火器 雙本道具、椅子、防火器、書箱、拾遺、香物、官報、雜費、 硯箱、墨盒、墨汁入、コンパス、烏口、定木、ノコギリ、 盤、水入、糊入、肉池、油具皿、インキ、墨、筆架、文房、小刀、 錐、鉛筆、鉛筆、取、門札、室札、風呂敷、標旗、毛巾、下駄 ノ類及其修繕費
巡査器具費	用紙、特ニ印刷セルモノ、共ニ封袋、毛筆、鐵筆、鉛筆 石筆、油具筆、墨、朱墨、墨汁、拾遺、白墨、印肉、ペン、 金留針、油、ノミ、薪木、石灰、木炭、石油、檫油、器用油、漆、 ペンキ、茶棹、石炭酸、硫酸、燐、封蝕、膠、付木、火 繩、燈心、繩、巾、待塵拂、草履、新聞紙、類
水上警備費	巡查ニ貸與スル帶、網、桐、草、手帳、捕繩、草帶、腕負、外、套、 草、棒、燈、巡查部長ノ徽章、類
郵便電信費	水上警察ニ要スル備品
印刷費	郵便稅、留、並、別、配、連、手、數、料、小包、郵便、料、全、保、險、料、電、信 料、及、手、數、料
運搬費	圖書、報告、其他、統計、表、等、ノ、印刷 物品、運搬、費、荷、送、用品、代、保、險、料、類、(人、足、賃、ハ、包、含、セ ス)

● 第二類 ○ 地方稅賦課徵收

										土木費
										道路橋梁費
										道路改修費
										道路修繕費
										橋梁新架費
										橋梁改架費
										橋梁修繕費
										船橋費
										渡船費
										標柱費
										並木費
										治水堤防費
										河川改修費
										河川修繕費
										湖海浚渫費

●第二類 ○地方税賦課徴収

										警察廳舎建築修繕費
										機密費
										建築費
										修繕費
										雜費
										派出入諸費
										雜費
										贈與人及送囚人諸費
										贈費
										巡査諸証人等ノ附料
										留置人及護送囚人ノ附料其他一身ニ屬スル諸費
										筆工料帳簿綴貸換手数料(郵便電信爲替凡)新聞廣告料物品入札手数料(印費)物品借入損料臨時借家料(鑑札調製費)官物拾上者報勞金其他ノ雜費
										廳舎新築費、建繕費、土地買上代、井泉開鑿費等
										廳舎敷地井泉等ノ修繕及模樣替費
										工事受負等契約ニ屬スル廣告料
										廳舎及其敷地等ノ借入料





衛生及病院費	衛生費	地方衛生會費	衛生試驗費	雜件	修繕費	某建築費	某建築費	印刷費	郵便電信費	消耗品費	備品費	慰勞手當	備給	縣會常設委員會給仕小使其他隨人員
--------	-----	--------	-------	----	-----	------	------	-----	-------	------	-----	------	----	------------------

108

某病院費	雜費	職員給	旅費	備給	慰勞手當	死亡賜金	給助金	備品費	消耗品費	郵便電信費	藥品費	助費	印刷費	運搬費	贈札製造費等	院長副院長醫師長醫員調劑員書記雇員之給料	醫用器械費其他備什品費
------	----	-----	----	----	------	------	-----	-----	------	-------	-----	----	-----	-----	--------	----------------------	-------------

●第一類 (地址) 郵政傳收

●第一類 ○地方税賦課徴収

種痘費	種痘費	種痘代ノ額
職員給	職員給	檢疫醫給料
備給	備給	
慰勞手當	慰勞手當	
死亡賜金	死亡賜金	
給助金	給助金	
備品費	備品費	醫用器械費其他備付品費
消耗品費	消耗品費	
郵便電信費	郵便電信費	
雜費	雜費	
某建築費	某建築費	
某改築費	某改築費	
修繕費	修繕費	
聖職院費	聖職院費	

雜費	借家借地料其他ノ諸費
某建築費	
某改築費	
修繕費	模倣替費其他修繕ノ費用
傳染病豫防費	
某檢疫所費	委員給料、旅費、備入料、慰勞金、器具器械費、雜用消耗品費、郵便電信費、消毒藥品費、印刷料、運送料其他ノ諸費
某檢察所費	備入料、器具器械費、雜用消耗品費、郵便電信料、消毒藥品費、運送料、雜費ノ類
交通遮斷費	備入料、器具器械費、雜用消耗品費其他ノ諸費
貧困患者費	藥價及診察料看護人及運搬人給料、消毒費、賄費、埋火費、汚物埋焼却費、燒却物品買上代
給助費	吊祭料、救助料、療治料、(以上明治十九年閣令第二十三號ニ據リテ給與スルモノ) 療治料、埋葬料、扶助料、(以上明治十年太政官第八十九號連ニ據リテ給與スルモノ)
某避難院費	醫員給料、調劑員給料、旅費、備入料、慰勞金、器具器械費、雜用消耗品費、郵便電信料、藥品買入費、印刷料、運送料、建設費、修理費其他ノ諸費
醫師派遣費	醫員手當、旅費、備入料ノ類
町村豫防費	

		職員給	備給	慰勞手當	死亡賜金	給助金	備品費	消耗品費	郵便電信費	藥品費	雜費	某建築費	某改築費	修繕費	教育費
		醫員給料、書記員給料													
		醫用器備費其他備付品費													
尋常師範學校															

		職員給	旅費	備給	退職給與金	恩給金	慰勞手當	死亡賜金	給助金	手當	備品費	消耗品費	郵便電信費	運搬費	國庫納金	印刷費	
		教員給料、書記給料															
		圖書費、器械費其他備品費															
		府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ據リ納ム、校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ據リ納ム、校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ據リ納ム															
		府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ據リ納ム															

●第二類 ○地方稅賦課徵收

恩給金	退職給與金	備給	旅費	職員給	某尋常中學校費	修繕費	某建築費	某建築費	雜費	印刷費	國庫納金	運搬費	郵便電信費	消耗品費	備品費	手当	給助金	死亡賜金	慰勞手当
														圖書費、器材費其他備品費					
														臨時借家借地料、為換手數料新聞廣告料					

恩給金	退職給與金	備給	旅費	職員給	某尋常中學校費	修繕費	某建築費	某建築費	雜費	手當	被服費	食費	生徒諸費	雜費	
														臨時借家借地料、為換手數料、新聞廣告料、租	
														日用品費（紙墨紙其他給與品）其用品費沐浴費被服費修繕費旅行費宿泊料應賃渡海賃臨時借家料付保人手當、租	
														學校長給料、教員給料、舍監書記給料	











● 第二類 C 地方稅賦課徵收

地方稅取撥																				
	何獎勵費	官林看守費	發郵信號標費																	
				雜費	修繕費	某改築費	某建築費	運搬料	印刷料	郵便電信料	消耗品費	備品費	慰勞金	備人料						
		備人料、雜費	標柱、信號費、雜費																	

		測候所費	試驗費	報告費											某業教師費					
旅費	職員給				雜費	運搬料	教授費	慰勞金	旅費	備給		雜費	修繕費	某改築費						







但其金額千圓未満ナルトキ又ハ購入上差支アルトキハ前條ニ據リ預ケ入ルヘシ  
第三條 公債証書ハ儲蓄金ノ支出ヲ要スル多大コソテ現金ニ不足ヲ告グル場合ニ於テ臨時貸付スルコトアルヘシ

第四條 米穀ヲ儲蓄スル場合ニ於テハ縣會ノ議決ヲ經ルモノトス  
第五條 米穀儲蓄ノ場所及ヒ歩合ハ左ノ如シ  
松江 五歩 濱田 四歩 西郷 一步

第六條 公債証書及米穀ヲ購入若シハ賣却スルトキハ必ス公ノ入札法ニ據ルヘシ  
第七條 儲蓄米ハ非常ノ凶荒不慮ノ災害ニ遭遇シ人民食料ニ欠乏ヲ告グル時ニ於テ拂下クルモノトス其價格ハ儲蓄地前月下米平均相場ニ據ル

第二章 救助

第八條 罹災ノ爲メ自ラ生存スル能ハサルモノニ限リ左ノ場合ニ於テ食料小屋掛料農具料種穀料ヲ給與ス  
食料 目下饑餓ニ迫レル場合  
小屋掛料 家屋瀕滅流亡若シハ潰覆破損半燒ニ歸シ居住スル能ハス他ニ假リニ居住スヘキ家屋ナク自ラ小屋掛ヲ爲ス能ハサル場合  
農具料 農具流亡燒失等ニ屬シ自ラ購フ能ハサル場合  
種穀料 種穀流亡燒失等ニ屬シ又ハ地租ノ補助貸與ヲ受シルカ如キ災害ニ罹リ種穀ヲ得ル能ハス自ラ之ヲ購フ能ハサル場合

第九條 食料小屋掛料農具料種穀料ヲ給與スルハ左ノ制限ニ據ル  
食料 一人一日玄米四合  
男 一人一日玄米二合  
女

小屋掛料

一等 家屋瀕滅流亡ノ者

一家七八人以下ノ者 以上ノ者

一家五人以上ノ者

一家四人以下ノ者

二等 家屋潰覆ノ者

一家七人以上ノ者

一家五人以上ノ者

一家四人以下ノ者

三等 家屋破損半燒ノ者

一家七人以上ノ者

一家五人以上ノ者

一家四人以下ノ者

農具料

一等 農ヲ本業トスル者

一家五人以上ノ者及七十年以上ノ者 以上ノ者

一家三人以上ノ者

一家二人以下ノ者

年令七十一年以上十二年未満ノ者ハ男女ヲ問ハス 一人一日玄米二合  
日數三十日以内 第十條ニ據リ貸出ヲ受ケルルトキハ其日數ヲモ算入ス  
該市町村前月下米平均相場ヲ以テス

金七圓

金六圓

金五圓

金六圓

金五圓

金四圓

金五圓

金四圓

金五圓

金四圓

金三圓

金七圓

金六圓

金五圓

二等 農ヲ本業トセサル者  
 一家五人以上ノ者 金四圓  
 一家三人以上ノ者 金三圓  
 一家二人以下ノ者 金二圓

種穀料

耕作地自作耕作ノ別ナク  
自己所有ノモノノ反別ニ應ニ其市町村普通播種ノ量ニ據リ前月ノ上穀平均相場ヲ以テス但金  
 五圓ニ超過スルヲ得ス 畑地ハ其主作物一季分ニ限ル

第十條 災害酷烈ナル場合ニ於テハ臨時小屋掛ヲ爲シ又ハ焚出ヲ爲スコトアルヘシ其制限左ノ如ク  
 小屋掛  
 費額 一戸平均金三圓以内

焚出

食料 第九條ノ制限以内但米價ハ現相場ニ據ル  
 日數 十日以内

第十一條 小屋掛料農具料種穀料ノ給與ヲ願出ルモ第二十條ノ出願期限ヲ經過シタルモノハ許可セス  
 第三章 地租補助貸與

第十二條 地租ヲ補助若クハ貸與スルハ罹災ノ爲メ土地家屋ヲ賣却スルニテラサレハ地租ヲ納ムル能ハサル者ニ限ル

第十三條 既納税ニ對シテハ補助若クハ貸與セス  
 第十四條 地租ヲ補助若クハ貸與スルハ左ノ制限ニ據ル

補助 罹災ノ當時所有地價金百圓未満ノ者

貸與

但所有地價金百圓以上ノ者ト雖モ九歩以上ノ損毛ニ屬スルトキハ臨時補助スルコトアルヘシ  
 罹災ノ當時所有地價金百圓以上ノ者

一等 所有耕作地ヲ通シテ損毛八歩以上ノ者 五ヶ年賦  
 二等 所有耕作地ヲ通シテ損毛六歩以上ノ者 三ヶ年賦

第十五條 地租貸與年賦金ハ毎年十一月三十日限リ返納スヘシ  
 第十六條 地租ノ補助若クハ貸與ヲ願出ルモ第二十一條ノ出願期限ヲ經過シタルモノハ許可セス

第十七條 地租ノ貸與ヲ受ケタル後復ヒ罹災ノ爲メ補助貸與ヲ受ケル者其他窮困必迫ト認ムル者ハ其返納ヲ猶豫若クハ免除スルコトアルヘシ

第十八條 地租貸與金返納年期内ニ於テ其土地ヲ賣却讓與スルトキハ其土地ニ係ル貸與金ハ一時ニ返納スヘシ其土地ノ幾分ヲ分割シテ賣却讓與スルトキ亦同シ  
 但家督相續ニ依リ讓與シタル場合ニ於テハ其讓受人ニ於テ年期ニ隨ヒ返納スルコトヲ得

第四章 願 届

第十九條 食料ノ給與ヲ受ケント欲スルモノハ罹災後直チニ其状況ヲ具シ市長町村長戸長ヘ届出ヘシ此場合ニ於テハ必スシモ書面ニ依ルヲ要セス

第二十條 小屋掛料農具料種穀料ノ給與ヲ受ケント欲スルモノハ左ノ事項ヲ具シ罹災後三十日以内ニ於テ願出ヘシ

- 一 災害區分
- 二 罹災月日
- 三 第八條ノ要件
- 四 一家居住者同居者モ  
算入ス人員

●第二類 ○備荒儲蓄

五 種穀ヲ用フヘキ耕作地自作耕作ノ別ナクノ反別及其作物

第二十一條 地租ノ補助若クハ貸與ヲ受ケント欲スルモノハ左ノ事項ヲ具シ地租ノ納期初日ヨリ三十日以前ニ於テ願出ヘシ

但罹災ノ時地租ノ納期ニ切迫シ又ハ納期內ニ在ル場合ニ於テハ直ニ願出ヘシ

一 災害區分

二 罹災月日

三 第十二條ノ要件

四 罹災地反別及ヒ其被害ノ歩合

五 補助貸與ヲ要スル地租額

六 所有ノ土地地目ニ反別及ヒ其地價額

七 所有耕作地ヲ通シタル損毛ノ歩合

八 所有ノ土地及ヒ家屋負債ノ爲メ書入タルモノアルトキ土地地目ニ反別及ヒ地價額家屋ノ建築ノ區分及ヒ其建坪數

第二十二條 前條土地及ヒ家屋ノ罹災地外ニ係ルモノハ其所在地市長町村長戸長ノ証明ヲ要セス

第二十三條 本規則ニ係ル願書ハ總テ親戚若クハ隣保連署市長町村長戸長加印ノ上市ニ於テハ市長ヨリ直ニ進達シ其他ニ於テハ島司若クハ郡長ヲ經テ進達スヘシ

第五章 雜 則

第二十四條 米穀ヲ儲蓄スル爲メニ要スル諸費用米穀公債證書ノ賣買若クハ臨時禁出ニ關スル諸雜費及ヒ擔テノ損失ハ儲蓄金ヨリ支辨スヘシ

第二十五條 前年度儲蓄金ノ出納精算ハ知事ニ於テ其年通常縣會ニ報告ノ上管内ニ告示スヘシ

第六章 附 則

第二十六條 本規則ハ更正ヲ要セサル限りハ連年施行スルモノトス

●島根縣令第一號 明治二十五年一月八日

通常縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ明治二十四年一月島根縣令第六號備荒儲蓄法施行規則第二十條ニ左ノ一項ヲ追加ス

財產管守上ヨリ生スル利益及不用ニ屬シタル土地建物物品ノ代價ハ儲蓄金ニ收入スヘシ

●島根縣令第二十八號 明治二十八年四月十日

明治二十四年一月本縣令第六號備荒儲蓄法施行規則第六條中左ノ但書追加ノ件臨時縣會ノ議決ヲ經内務大臣大藏大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

但公債ノ募集ニ應ジ若クハ非常災害ニ付至急公債證書ヲ賣却スルノ必要アルトキハ此限ニテナス

●島根縣訓令第十號 明治二十四年一月二十三日

備荒儲蓄法施行手續別紙ノ通相定ム  
島 郡 郡役所 市役所 戸長役場 町村役場

但明治十四年一月乙第八號違及ヒ明治十九年九月訓令第十五號ハ廢止ス  
(別紙)

備荒儲蓄法施行手續

第一章 町村役場 戸長役場

第一條 食料ノ給與ヲ受ケン爲罹災ノ届出シナシタル者アルトキハ町村長戸長ハ其實況ヲ調査シ救助ノ資格アリト認メタル上ハ左ノ事項ヲ具シ救助方島司郡長ニ申請スヘシ

一 罹災ノ情况

二 每戸人員及其男女若クハ十二年未滿七十歳以上ノ者男女ノ區分

三 該町村前月下米平均相場

●第二類 ○備荒儲蓄



第二條 災害酷烈ナル場合ニ於テハ町村長戸長ハ前條出テ待テス被害ノ状況ニ島司郡長ニ具申スヘシ  
第三條 小屋掛料農具料種穀料ノ給與ヲ願出ルモノアルトキハ町村長戸長ハ其事實調査ノ上願書ニ加印シ毎戸左ノ事項ヲ具シ島司郡長ニ進達スヘシ  
小屋掛料  
一 家屋林 湯熾流亡潰覆破損半燒ノ區分  
二 一家居住者同居者 人員

農具料  
一 農ヲ本業トスル者ト否トノ區分  
二 一家居住者同居者 人員ノ内十二年未滿及七十年以上ノ者ヲ除キタル人員

種穀料  
一 該町村普通播種ノ畝  
二 該町村前月ノ上穀平均相場

第四條 地租ノ補助貸與ヲ願出ルモノアルトキハ町村長戸長ハ其事實調査ノ上願書ニ加印シ每人別ニ左ノ事項ヲ具シ島司郡長ニ進達スヘシ

一 罹災地等ニ係ル收穫ノ歩合  
二 土地家屋ノ外財産中賣却スヘキモノアルトキハ其見積價格

第二章 島 廳 郡 役 所

第五條 第一條ニ據リ町村長戸長ヨリ救助方申請スルトキハ島司郡長ハ事宜ニ依リ吏員ヲ實地ニ派遣シ事實調査ノ上施行規則ノ制限内ニ於テ食料ヲ給與シ其状況速ニ具申スヘシ

第六條 災害酷烈ニシテ町村長戸長ヨリ第二條ノ具申ヲナシタルトキハ島司郡長ハ直ニ吏員ヲ派遣シ状況止ムヲ得サル場合ニ於テハ施行規則ノ制限ニ據リ臨時小屋掛料ヲナシ若シハ焚山米ヲ給與シ其状況速ニ具申スヘシ

スヘシ

但本文吏員派遣ノ場合ニ於テハ其際町村長戸長ノ具申ニ基キ概況開申スヘシ  
第七條 第三條ニ據リ戸長ヨリ願書ヲ進達シタルトキハ島司ハ事宜ニ依リ吏員ヲ實地ニ派遣シ事實調査ノ上之ヲ許否スヘシ

第八條 第三條ニ據リ町村長ヨリ願書ヲ進達シタルトキハ郡長ハ事宜ニ依リ吏員ヲ實地ニ派遣シ事實調査ノ上異見ナキ者ハ願書ニ加印シ若シ異見アルトキハ其旨副申ヲナシ書面進達スヘシ

第九條 第四條ニ據リ町村長戸長ヨリ願書ヲ進達シタルトキハ島司郡長ハ事宜ニ依リ吏員ヲ實地ニ派遣シ事實調査ノ上異見ナキモノハ願書ニ加印シ若シ異見アルトキハ其旨副申ヲナシ書面進達スヘシ

第十條 前條出願者中前ニ地租金ノ貸與ヲ受ケ未タ之ヲ完納セサルモノアルトキハ其人名開申スヘシ  
但本文前貸與金返納ノ猶豫若シハ免除ヲ要スルモノアリト認ムルトキハ之ヲ稟申スルコトヲ得

第十一條 地租貸與金ニ就テハ島司郡長ハ指令書到達ノ際地租貸與金原簿ヲ調製シ其期限ニ從ヒ年賦金ヲ取立テ納付スヘシ  
但本文原簿ニハ貸與ヲ受ケタル者ノ住所姓名貸與金額毎年賦金額及取立タル月日ヲ登錄スヘシ

第十二條 前條納付書ニハ本人ノ捺印及一町村毎ニ人員金額ヲ區分シタル仕簿ヲ添付スヘシ  
第十三條 貸與年賦金ノ期限ヲ過キ返納セサルモノアルトキハ嚴ニ督促ヲ加ヘ尙ホ之ニ應セサル場合ニ於テハ情況取調ノ上事實開申スヘシ  
但本文狀況取調ノ上窮因必迫事情止ヲ得スト認ムルモノアルトキハ貸與金返納ノ猶豫若シハ免除ヲ稟申スルコトヲ得

第三章 市 役 所

第十四條 市長ニ於テハ第一章及第二章第七條ノ手續ヲ併セ取扱フヘシ  
第四章 雜 則

●第二章 ○備置條書



廿年告示第  
百五十六號  
參照

●甲告第六十四號 明治十七年三月十四日  
備荒儲蓄米穀購入並拂下ケ入札規則及ヒ受渡規則別冊之通相定メ候條此旨告示候事  
(別冊)

備荒儲蓄米穀受渡規則

第一章 總 則

第一條 備荒儲蓄米穀ヲ購入又ハ賣却スルトキハ總テ此規則ニ遵フヘシ

第二條 米穀ハ總テ公ノ入札法ヲ以テ購入シ又ハ賣却スヘシ

但入札法ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 購 入

第三條 現米ハ一俵四斗入トシ入實不同ナキ様目方ヲ一定セシメ念入仕立タルモノニ限ルヘシ

第四條 俵拵ハ可成前年ノ繩類ヲ用ヒ内俵外俵<sup>五所懸リ</sup>ノ外更ニ<sup>懸</sup>ニテ一重上包ヲナシ堅牢ニ包立且俵ノ目方

二貫目宛ニ一定スヘシ

第五條 乱俵又ハ鼠喰其他見苦シキモノヲ用フヘカラス若不都合ト見認ムルモノハ之ヲ仕替或ハ除去セシム

第六條 米質及量目ノ検査ハ出張官之ヲ爲スモノトス受買人ハ之ニ對シ異議ヲ唱フルコトヲ得ス

第七條 納人ハ豫定ノ期日倉庫へ運入シ一俵毎ニ割シヲ入レ米質ノ善惡ヲ寫ト検査シ性劣更痛ハ勿論淨手米

等ヲ剔除キ清俵ノ<sup>順次</sup>並立置クヘシ

但納人數名同日ニ納入スルトキ又ハ米質異同アルモノハ之ヲ區別シ並立置クヘシ

第八條 回シ方百俵迄ハ總テ三俵ト定メ以上百分ノ三ノ割ヲ以テ回シ俵數ヲ定ムヘシ

但本文端數ハ四拾五人ノ法ヲ以テ俵ニ止ム

第九條 並立ノ法ハ下ク並ニ二十二俵上ハ並十八俵即チ百俵ノ一俵ト定メ俵數ニ應ジ幾種ニモ並立ヘシ

但本條ノ通定ムルト雖モ不止得事情アリ宿俵可相成見込ノ部ハ兩邊ノ爲メ三十六俵並ニ積立ルモ妨ケナ

第十條 回シ俵ハ振リ回シ以テ撰定スヘシ其方法<sup>ハ</sup>一俵ノ内へ黒圍二本白圍一本都合五本ヲ挿入振リ出

シ黒圍ヲ以テ中リ側ヲ定メ更ニ其側毎ニ黒圍一本<sup>即チ</sup>白圍若干<sup>此數ハ初回上圍ニシテハ十七</sup>ヲ挿入シ其中リ俵ヲ

回シ俵ト定メ順次如此ニシテ一俵毎ニ三俵ヲ取出シ置立其平均ヲ以テ總俵ノ入額ヲ定ムヘシ

第十一條 若シ百俵ヲ宿俵トナスニヨリ三十六俵並ニ積ムトキハ二俵二十八俵トナル其端數モ一俵ト見做シ

都合三俵トシ此一俵ニ黒圍一本白圍三十五本<sup>端數ニハ</sup>挿入振リ出シ其中リ一俵ヲ以テ回シ俵ト定メ都合三

俵トス

第十二條 回シ圍ハ主任官吏ニテ振リ當ルモノトス尤其當錢ハ双方立會ノ上決定スヘシ

但圍筒ハ竹ヲ用ヒ圍ハ長短輕重ナシ黒圍ハ中央一寸計リ黒塗シタルモノヲ用フヘシ

第十三條 枰回シ仕方ハ順次ニ<sup>一</sup>俵俵ヲ切解キ敷廷ニ<sup>移</sup>別紙圍面ノ如キ枰<sup>ニ</sup>挿キ入レ下クロコ斗枰ヲ据置

キ<sup>餘</sup>ニ落シ入レ枰ノ四隅ニ均ラシ斗枰ヲ引キ置リ立斗<sup>以下五分枰ヲ用フ</sup>小數ハ合ニ止メ勻以下切捨計算スヘシ

第十四條 受渡一日ニ果サハルトキハ倉庫へ宿俵ニ<sup>スル</sup>モ妨ケナシト雖モ其護衛及兩邊ノ手當ハ總テ倉庫看

守人等ニ於テ一切關係セサルモノトス

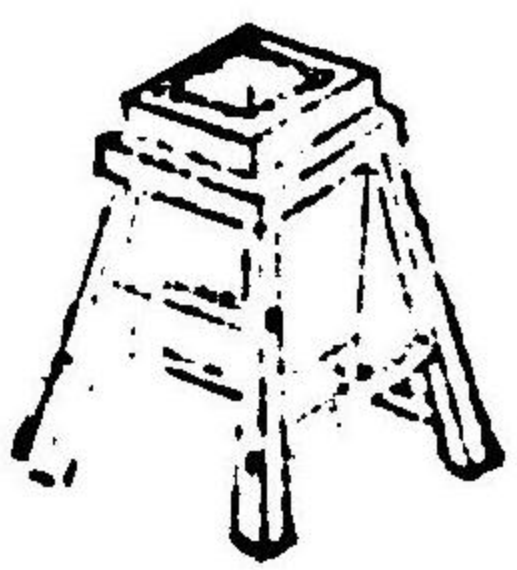
第十五條 購入ハ藏入了テ受取濟ヲ証スルマテノ手續及其費用ハ總テ納人ノ負擔タルヘシ

第三章 賣 却

第十六條 積替等ニヨリ賣却スルニ當リ俵回シ等ノ方法ハ總テ第二章各條ニ準據受渡スヘシ

但回シ圍ハ買受人ニ於テ振當スヘシ

第十七條 現穀下渡ノトキハ藏出シ並立枰回シノ手續及右ニ係ル費用ハ官廳ノ負擔トス



●第二類 ○備荒儲蓄

●告示第百五十六號 明治二十年十月五日  
明治十七年三月甲告第六十四號告示中備荒儲蓄米穀購入並拂下入札規則別紙之補更正  
(別紙)

備荒儲蓄米穀買上並拂下入札規則

第一條

備荒儲蓄米穀買上又ハ拂下ノトスルトキハ豫メ新聞紙又ハ他ノ方法ヲ以テ廣告スヘキニ付望ノ者ハ此規則ニ從ヒ入札スヘシ

第二條

但廣告ノ時限ニ後レ及書式不充分又ハ實印ヲ押捺セザル等情ヲ調査上差支アリト認ムルハ札ハ採用セザルヘシ  
入札ハ別紙甲乙號書式ノ通り字書方正ニ認メ若シ書損シテハ無効ナリ以テ必ス實印ヲ押捺封印シ表書ニモ住所姓名ヲ記スヘシ開札ノ上書換又ハ違算等申立ツルモ一切採用セザルヘシ  
但書損ヨリテ普通買相場ヨリ五割以上ノ増減ヲ生シタリト確認スルトキハ臨時詮議ノ上除札スルトコトアルヘシ

第三條

入札人ハ入札保證金トシテ一封ニ付金拾圓本圓又ハ入札ヲ受付ケル都役所ノ爲換方預券ヲ以テ入札ニ添ヘ差出スヘシ且ツ該金ハ落札人ハ身元金ニ差繼キ其他ハ開札後ニ返付スヘシ

第四條

買上ハ入札毎ニ見本米一合以上ヲ添フヘシ落札ノ上現米受渡ニ際シ見本米ヨリ性質劣ノモノハ勿論更精澤手米等一切納入スルヲ許サス但見本米審査ノ上若シ貯藏ニ不適當ナリト認ムルモノハ其入札ヲ除却スヘシ

第五條

拂下ハ入札人ノ望ミニ應ジ豫メ其貯藏米實見セシムヘキニ付現米受渡ニ際シ一切異議ヲ唱フルヲ得ス

第六條

開札ハ指定ノ日時豫メ廣告セシ場所ニ於テ當該官吏二名以上立會執行スヘキニ付入札人一同登場スヘシ後日ニ至リ該入札ノ事ニ關シ一切異議ヲ唱フルヲ得ス

第七條

買上ハ最低札ヨリ拂下ハ最高札ヨリ落札ヲ定メ石數ノ計算ニヨリ入札高ノ幾分ナシ落札人ヨリ免除申出ルカ第九條ノ期限内ニ受書若クハ身元金ヲ差出サ、ルトキハ順次次札ヲ以テ落札ト定ム此場合ニ於テハ次札トノ間金ヲ辨償セシムルモノトス  
但間金ヲ辨償セシムルトキハ入札保證金ハ差繼キ計算スルモノトス

第八條

落札代價不相當ト認ムルトキハ該入札ハ取消シ更ニ入札ヲナサレムコトアルヘシ

第九條

落札人買上ケ又ハ拂下ノ違フ受ケルトキハ二日以内ニ別紙丙丁號書式ニ據リ受書差出シ尙受書差出ルル日ヨリ三日以内ニ身元金トシテ其買上又ハ拂下代價百分ノ五ニ當ル金額ヲ上納スヘシ

第十條

買上代金ハ現米領收ノ上相渡スヘシ拂下ハ其地爲換方ノ現金預券ト引換ニ現米引渡スヘシ  
但本人ノ都合ヨリテハ其期口内幾度ニモ受渡セシムルコトアルヘシト雖前條ノ身元金ハ其結末ニテラフヘシ  
レハ差額上納又ハ返付ヲ許サ、ルヘシ

第十一條

落札人ハ豫定日限日限ハ本條ノ指迄ニ必ス受渡結了スヘシ若シ日限迄ニ結了セザルトキハ更ニ次札ヲ以テ落札ト定ム次札ニ於テ免除ヲ申出ルトキハ總テ第七條ノ例ヲ適用ス  
但本條ノ場合ニ於テ身元金ハ還付セザルモノトス尤モ天災ノ如キ人力ヲ以テ防禦シ得ヘカシキル災害ニ罹

●第二類 ○備荒儲蓄

リタル照證アルモノハ還付スルコトアルヘシ

(甲)

米穀賣上ケ入札(米質或ハ產地異ナル  
毎ニ別封トナスヘシ)

某所某米倉納

一現米何石 何國何郡何村産

但一俵四斗入ニ仕立米一石ニ付代金若干

右ハ今般御廣告ニ付前替代金ヲ以テ納方受負仕度候間御買上被成下度素ヨ。備荒儲蓄米穀受渡規則及ヒ買上並拂下入札規則承知入札仕候也

年 月 日

國郡町村番地族籍 名印

(乙)

采穀御拂下入札(產地毎ニ別記シ別  
封トナスニ及ハス)

某所某米倉蓄積

一現米何石 何國何郡何村産

但米一石ニ付代金若干

右ハ今般御廣告ニ付前替代金ヲ以テ引受度候間御拂下被成下度以下全前

御請書

某所某米倉納

一現米何石 何國何郡何村産

代金若干

但一俵四斗入ニシテ米一石ニ付代金若干

右ハ今般御買上相成候ニ付入札仕候處落札ノ旨御達ノ趣承知仕候就テハ本縣備荒儲蓄米穀買上並拂下入札規則及同上受渡規則ヲ遵奉シ身元金若干圓ハ御規則ノ通上納仕何月何日以内無相違受渡了可仕候依之保証人連署受書差上候也

年 月 日

國郡町村番地族籍 賣上人 姓 名印 保証人

(丁)

御請書

某所某米倉蓄積

一現米何石 何國何郡何村産

但代金若干米一石ニ付代金若干

右ハ今般御拂下以下同前但賣上人ヲ拂

島根縣告示第四號 明治二十四年一月二十八日

備荒儲蓄金公債証書購入賣却規則別紙ノ如ク相定ム

(別紙)

備荒儲蓄金公債証書購入賣却規則

第一條 備荒儲蓄金ニ屬スル公債証書ヲ購入若クハ賣却セントスルトキハ左ノ事項ヲ得ケ豫メ新聞紙又ハ他

●第二類 (備荒儲蓄)

ノ方法ヲ以テ廣告スヘシ

- 一 公債証券ノ種類
- 二 額面ノ制限
- 三 入札並開札ノ日時

第二條 前條廣告ニ依リ賣渡若シハ買受ヌ者ハ左ノ事項ヲ具シテ入札書縣廳內務部ニ差出シ其封面ニ公債証券賣渡(若シハ買受)入札ノ文字及住所姓名ヲ書シ封緘シ押印スヘシ

- 一 公債証券毎種別額面及價額並其額面百圓ニ對スル價格
- 二 住所姓名及姓名下ノ押印

第三條 左ノ各項ニ觸レタル入札ハ無効トス

- 一 廣告ノ期限ニ後レタルモノ
- 二 前條各項ヲ具備セサルモノ
- 三 文旨ノ認知ニ難キモノ

第四條 開札ハ內務部主任官二名以上ニテ之ヲ取扱フヘシ

入札人ハ開札ノ場所ニ立會フコトヲ得

第五條 購入ハ最低札賣却ハ最高札ノモノヲ以テ落札トナシ入札價格ノ同一ナルトキ及其他ノ場合ニ於テハ左ノ各項ニ據リ之ヲ定ムヘシ

但落札人定マレモ價格ノ摸樣其他縣廳ノ都合ニ依リ購入若シハ賣却ヲ止メ又ハ再入札ニ付スルコトアルヘシ

- 一 額面價格トモ同キトキハ入札ヲ受付タル順次ニ依リ其受付時刻同キトキハ抽籤ニ依ル
- 二 價額同シテ額面異ナルトキハ額面ノ多キ者ヨリ順次之ヲ取ルヘシ
- 三 第一條二項ノ制限ニ於テ總額及最少額ヲ示シタル場合ニ當リ最低札若シハ最高札ノモノ其額面總額ニ

二十一年訓令  
會第四十九號  
發給照

満クサルトキハ其不足額ハ次札ヨリ順次之ヲ取ルヘシ

第六條 落札人購入又ハ賣却ノ通達ヲ受ケタルトキハ其通達ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ受渡ヲナスヘキ請書ヲ差出スヘシ

第七條 前條請書ヲ差出サス若シハ之ヲ差出スモ期限内ニ於テ受渡ノ手續ヲ完了セサルトキハ其落札ハ無効ナルヘシ此場合ニ於テハ次札ヲ以テ落札ト定メ又ハ再入札ニ付スルコトアルヘシ

**會計検査**

●訓令會第十七號 明治十九年十一月五日 何官國幣社々務所 何郡役所

會計検査規程別冊ノ通改定ス (別冊)

**會計検査規程**

- 第一條 官國幣社郡役所警察署學校病院監獄ノ金錢物品出納ノ實況ヲ検査シ會計法規ノ施行ヲ主持センカ爲メ毎歲検査員ヲ各廳ニ派遣セムヘシ
- 第二條 検査員ヲ派遣スルトキハ必ス命令書ヲ提携セシム故ニ各廳検査ヲ行フトキハ須ク先ツ之ヲ其首長ニ示スヘシ
- 第三條 検査員ハ會計上諸帳簿及金錢物品ノ出納ヲ検査スルハ勿論成規價格ノ行ハル、ヤ否ヤフ悉皆査閱スヘシ
- 第四條 検査員ハ検査上緊要ノ事項ニテ各廳ノ取調ヲ要スルモノハ其廳ノ首長ニ照會シ其臨時事ノ質問ニ止マルモノハ直チニ會計主任官ニ辨明ヲ要ムルコトヲ得ヘシ
- 第五條 検査員ハ検査上若シ會計ノ法規ニ違フモノヲ發見セタルトキハ之ヲ其首長ニ告知シ又時宜ニ依リ知事ニ具申スヘシ

但本文告知ニ對シ追テ其處分方接及處分濟ノ額末ヲ其首長ヨリ報告ヲ請シヘキモノトス

●第一類 ○備荒儲蓄

ノ方法ヲ以テ廣告スヘシ

- 一 公債証券ノ種類
- 二 額面ノ制限
- 三 入札並開札ノ日時

第二條 前條廣告ニ依リ賣渡若シハ買受望ノ者ハ左ノ事項ヲ具シテ入札書縣廳内務部ニ提出シ其封面ニ公債証券賣渡(若シハ買受)入札ノ文字及住所姓名ヲ書シ封緘シ押印スヘシ

- 一 公債証券毎種別額面及價額並其額面百圓ニ對スル價格
- 二 住所姓名及姓名下ノ押印

第三條 左ノ各項ニ觸レタル入札ハ無効トス

- 一 廣告ノ時限ニ後レタルモノ
- 二 前條各項ヲ具備セサルモノ
- 三 文旨ノ認知ニ難キモノ

第四條 開札ハ内務部主任官二名以上ニテ之ヲ取扱フヘシ

入札人ハ開札ノ場所ニ立會フコトヲ得

第五條 購入ハ最低札賣却ハ最高札ノモノヲ以テ落札トナシ入札價格ノ同一ナルトキ及其他ノ場合ニ於テハ左ノ各項ニ據リ之ヲ定ムヘシ

但落札人定マシモ價格ノ模様其他縣廳ノ都合ニ依リ購入若シハ賣却ヲ止メ又ハ再入札ニ付スルコトアルヘシ

- 一 額面價格トモ同キトキハ入札ヲ受付タル順次ニ依リ其受付時刻同キトキハ抽籤ニ依ル
- 二 價額同シシテ額面異ナルトキハ額面ノ多キ者ヨリ順次之ヲ取ルヘシ
- 三 第一條二項ノ制限ニ於テ總額及最少額ヲ示シタル場合ニ當リ最低札若シハ最高札ノモノ其額面總額ニ

二十一年訓令  
會第四十九  
號參照

満テサルトキハ其不足額ハ次札ヨリ順次之ヲ取ルヘシ

第六條 落札人購入又ハ賣却ノ通達ヲ受ケタルトキハ其通達ヲ受タル日ヨリ十五日以内ニ受渡ヲナスヘキ請書ヲ差出スヘシ

第七條 前條請書ヲ差出サス若シハ之ヲ差出スモ期限内ニ於テ受渡ノ手續ヲ完了セザルトキハ其落札ハ無効ナルヘシ此場合ニ於テハ次札ヲ以テ落札ト定メ又ハ再入札ニ付スルコトアルヘシ

**會計検査**

●訓令會第十七號 明治十九年十一月五日 何官國幣社々務所 何郡役所  
會計検査規程別冊ノ通改定ス (別冊)

**會計検査規程**

第一條 官國幣社郡役所警察署學校病院監獄ノ金銀物品出納ノ實況ヲ検査シ會計法規ノ施行ヲ主持センガ爲メ毎歲検査員ヲ各廳ニ派遣セムヘシ

第二條 検査員ヲ派遣スルトキハ必ス命令書ヲ提携センム故ニ各廳検査ヲ行フトキハ須シ先ツ之ヲ其首長ニ示スヘシ

第三條 検査員ハ會計上諸帳簿及金銀物品ノ出納ヲ検査スルハ勿論成規例格ノ行ハル、ヤ否ヤヲ悉皆査閱スヘシ

第四條 検査員ハ検査上緊要ノ事項ニシテ各廳ノ取調ヲ要スルモノハ其廳ノ首長ニ照會シ其臨時事ノ質問ニ止マルモノハ直チニ會計主任官ニ辨明ヲ要ムルコトヲ得ヘシ

第五條 検査員ハ検査上若シ會計ノ法規ニ違フモノヲ發見シタルトキハ之ヲ其首長ニ告知シ又時宜ニ依リ知事ニ具申スヘシ

但本文告知ニ對シ追テ其處分方接及處分濟ノ頗末ヲ其首長ヨリ報告ヲ請フヘキモノトス

●第二類 ○備荒儲蓄

第六條 検査員ハ時宜ニ依リ警察分署戸長役場等ノ出納ヲ臨檢スルコトヲ得

第七條 會計事務ニ關シ各該署長若シハ主任官ヨリ諮問ヲ請クルトキハ之カ意見ヲ具申スルコトヲ得

第八條 検査員ハ各該會計事務取扱ノ利害ニ關シ意見アルトキハ之ヲ知事ニ具申スヘシ

●副令會第四十九號 明治二十年九月二十八日 官(國)幣(大)(中)(小)其神社 某郡役所

會計検査規程中左ノ通更正補増ス

一第一條(郡役所)ノ下(警察署)ノ三字ヲ削リ(法規)ノ下(例格)ノ二字ヲ加フ

一第五條(法規)ノ下(例格)ノ二字ヲ加ヒ同但書ヲ削リ左ノ一項ヲ増補ス

首長ハ前項ノ告知ヲ受ケタルトキハ速カニ其處分方按ヲ検査員ニ報告シ爾後處分濟ノ上其顛末ヲ知事ニ具申スヘシ

一第六條(時宜ニ依リ)ノ下(警察分署)ノ四字ヲ削ル

●島根縣訓令第九十九號 明治二十四年六月十日

地方税ニ係ル會計検査規程左之通り相定ム

警察署

第一條 警察署ノ金銀物品出納ノ實況ヲ検査シ會計法規例格ノ施行ヲ主持センカ爲メ毎歲検査員ヲ派遣セシムヘシ

第二條 検査員ヲ派遣スルトキハ必ス命令書ヲ提携セシメ其検査ヲ行フトキハ豫メ之ヲ該署長ニ示サシムヘシ

第三條 検査員ハ會計上諸帳簿及金銀物品ノ出納ヲ検査スルハ勿論成規例格ノ行ハルニテ否テモ悉皆查閱スヘシ

第四條 検査員ハ検査上緊要ノ事項ニシテ其署ノ取調ヲ要スル者ハ該署長ニ照會シ又ハ辨明ヲ要スルコトヲ得ヘシ

第五條 検査員ハ検査上若シ會計ノ法規例格ニ違フ者ヲ發見シタルトキハ之ヲ該署長ニ告知シ又ハ時宜ニヨリ知事ニ具申スヘシ

署長ハ前項ノ告知ヲ受タルトキハ速カニ其處分ノ方按ヲ検査員ニ報告シ爾後處分濟ノ上其顛末ヲ知事ニ具申スヘシ

第六條 會計事務ニ關シ署長ヨリ質問ヲ受ケタルトキハ意見ヲ答辨スルコトヲ得

第七條 検査員ハ各署會計事務取扱方ニ關シ意見アルトキハ之ヲ知事ニ具申スヘシ

(書式)

不合规ノ件告知書

一何々不合规ノ事實云々

本件ハ何々法規例格ニ照シ不合规云々

右會計検査規程第五條ニ據リ及告知候也

會計検査員 官 氏 名 印

年 號 月 日

署長官氏名宛

不合规之件處分方按書

一何々不合规云々

本件ハ云々告知ノ事由

(右告知書原文ノ儘掲クヘシ)

是ハ何々不合规ノ理由及處分方按書ニ據リ及告知候也

右會計検査規程第五條ニ據リ及告知候也

●第二類 ○備荒儲蓄



年 號 月 日

検査員官氏名宛

署 長 官 氏 名

一五二

會計検査上發見ニ係ル不台規之件處分方上申  
一何々不台規ノ

本件云々不台規由

(右告知書原文ノ儘掲クヘシ)

是ハ何々云々検査員ハ報告シタル方按

右會計検査規程第五條ニ依リ願末上申候也

年 號 月 日

縣 知 事 宛

署 長 官 氏 名

●島根縣訓令會第九號 明治二十六年六月二十四日

尋常師範學校

第一尋常中學校

第二尋常中學校

松江病院 翠梅院

濱田測候所

濱田育種場 福富育種場

會計検査規程左之如ク定ム

會計検査規程

第一條 地方税經濟ニ屬スル金錢物品出納ノ實況ヲ検査シ會計法規例格ノ施行ヲ主持セシムカ爲メ毎歲検査員ヲ派遣スヘシ

第二條 検査員ヲ派遣スルトキハ命令書ヲ提携セシムヘシ検査員ハ検査ヲ行フニ先テ之ヲ其首長ニ示スヘシ

第三條 検査員ハ會計上諸帳簿及金錢物品ノ出納ヲ検査スルハ勿論成規例格ノ行ハル、ヤ否ヲ査問スヘシ

第四條 検査員ハ検査上緊要ノ事項ニシテ其職ノ取調ヲ要スルモノハ其首長ニ照會シ其臨時質問ニ止マレム

ノハ直チニ會計主任官ニ辨明ヲ要ムルトコトヲ得

第五條 検査員ハ検査上若シ會計ノ法規例格ニ違フモノヲ發見シタルトキハ之ヲ其首長ニ告知シ又時宜ニ依

リ知事ニ具申スヘシ首長ハ前項ノ告知ヲ受ケタルトキハ速ニ其成分方案ヲ検査員ニ報告シ爾後成分濟ノ上

其願末ヲ知事ニ開申スヘシ

第六條 検査員ハ會計事務取扱ノ利害ニ關シ意見アルトキハ之ヲ知事ニ具申スヘシ

●島根縣訓令縣稅第二十一號 明治二十五年六月二日

隱岐島廳

某郡役所

某警察署

濱田監獄支署

尋常師範學校

尋常中學校

松江病院

其支署 學校 病院 爲替方取扱之實況臨時検査之必要ヲ見認ムルトキハ爲替方命令書第十八條ニ基キ直ニ検査ヲ

ナスコトヲ得

但検査ニハ命令書ヲ附與スヘシ

前項検査ヲ終リタルトキハ其願末開申スヘシ

雜

●告示第十五號 明治三十三年一月二十四日

地方税經濟ニ關スル金錢物件寄附願ハ町村役場及ヒ郡役所又ハ戶長役場及ヒ島廳又ハ市役所ヲ經テ縣廳ニ送

出スヘシ

但警察ニ屬スルモノヲ除ク

●島根縣令第六十二號 明治二十五年五月十九日

地方税備蓄儲蓄命諸返納及ヒ上納未済者ニ對シテ其返納或ハ代付直ニシテ改姓名時居シテ若シテハ其死亡退隱時ヲ相續

シタルモノアルトキハ同時ニ島廳郡市役所ヲ經テ届出ツヘシ

●島根縣訓令第六十三號 明治二十六年五月三十日

郡役所

警察署

警察分署

監獄支署

縣立學校

●第二類 ○雜

一五三

地方稅旅費規則左ノ如ク定ム

縣立病院

縣立警察院

測候所

育種場

地方稅旅費規則

第一條 地方稅ヲ支拂スル旅費ハ明治十九年六月四日令第十四號內國旅費規則及ヒ內務省令第十一號警察官吏其他內國旅費規則大藏省訓令第二十三號ニ準據シ支給スルニシテ縣會議員及ヒ常置委員地方衛生會計勸業諮問會員等ノ旅費ハ此限コトラス

第二條 旅費額ハ別ニ之ヲ規定ス其規定ナキモノハ內國旅費規則及ヒ警察官吏其他內國旅費規則ノ規定ニ據ル

第三條 縣立學校職員及ヒ生徒ノ修學旅行ニ係ル旅費ノ支給方法ハ別ニ之ヲ規定ス

第四條 土木擔任ノ雇員ニハ豫算ニ規定アルモノ、外旅費ヲ支給セズ

●島根縣訓令第七十六號

明治二十六年七月十一日

- 郡役所 警察署 警察分署 監獄支署 縣立學校
- 縣立病院 縣立警察院 測候所 縣立檢驗所 縣立育種場
- 縣立勸業展覽場

地方稅俸給支給規則左ノ如ク定ム

地方稅俸給支給規則

第一條 地方稅ヨリ支給スル俸給ハ郡書記及ヒ巡査看守ヲ除クノ外總テ此規則ニ據リ支給ス但第七條ニ限リ郡書記ニモ之ヲ適用ス

第二條 俸給ハ新任轉任増俸減俸トモ總テ發令ノ翌日ヨリ計算ス但日給者ハ雇ヲ命ゼタル當日ヨリ支給ス

第三條 年俸ハ十二分シテ毎月之ヲ支給ス

第四條 廢職解職失職及ヒ死亡ノトキハ其前當月分ノ全額ヲ支給ス但日給者ハ解職及ヒ死亡ノ當日迄支給ス

第六條ニ據リ減額スル者ハ前項ニ據リ減給ノ全額ヲ支給ス

第五條 廢職解職失職ノ者事務引繼發務調理ノ爲メ特ニ命ヲ受ケ公務ニ從事スルトキハ其間尙從前ノ俸給ノ支給ス

辭令ノ到達セサルカ爲メ前職ノ事務ニ從事スル者尙前項ニ準テ支給ス

公務ニ從事スルトコト翌月以降ニ涉リ全月分ヲ支給スル者ハ支給定日ニ據ル但最後ノ月ハ其終了ノ日迄日割ヲ以テ其際之ヲ支給ス

第六條 病氣ノ爲メ職務セサルコト九十日（中略）ヲ超過スル者及ヒ私事ノ故障ニ由リ職務セサルコト三十日（中略）ヲ超過スル者ハ俸給ノ半額ヲ減シ其日給ニ係ル者ハ日數ノ多少ヲ論セス總テ之ヲ支給セズ但公務ノ爲メ傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ服患ヲ受ケル者及ヒ特旨ニ由リ賜假休養スル者ハ此限コトラス

前項但書ノ場合及ヒ冬夏期休日ハ病氣若クハ私事故障ト連續スルモ減俸トナルヘキ期間日數中ニ算入セス

又病氣ト私事故障ト連續スル場合ニ於テハ之ヲ通算セス

女監取締ニ限リ私事ノ故障ニ由リ職務セサルコト二十日（中略）ヲ超過スル者ハ前二項ニ據リ俸給ヲ減ス

檢疫所ノ醫員ハ檢疫ニ從事セサル月ハ俸給ヲ支給セズ

第七條 年俸及月俸ハ毎月二十一日ヨリ其月二十日迄ノ分ヲ毎月二十三日ニ於テ支給ス

但日給ヲ受ケル者ニシテ旅行スルモ旅費ヲ支給セサル場合ニ限リ前月二十一日ヨリ其月五日迄ノ分ヲ毎月八日ニ其月六日ヨリ二十日迄ノ分ヲ毎月二十三日ニ支給ス

前項支給定日休日ニ當ルトキハ順延トス

第八條 轉任者ノ俸給ハ其發令ノ當日迄ハ前任職ニ於テ支給シ翌日以降ノ分ハ後任職ニ於テ支給ス

第九條 他職ニ轉任シタル者ハ支給定日ニ拘ハラズ發令ノ當日迄ニ係ル俸給ヲ其際支給ス

第十條 支給定日後轉任シタル者ハ前任職ニ於テ過渡ノ俸給ヲ其際徴收シ後任職ニ於テ其月ノ殘日數ニ對スル俸給ヲ其際支給ス

第十一條 委任ノ者ハ其俸給額ノ多キ一方ヨリ支給ス

第十二條 豫備後備ノ軍籍ニ在ル者陸軍給與令第十八條ニ據リ俸給ヲ受ケル間ハ俸給ノ支給ヲ停止ス但し其額地方稅ヨリ支給スル俸給ヨリ寡少ナルトキハ其差額ヲ支給ス

第十三條 徵兵令第十一條第三項ニ依リ陸軍現役ニ服スル者及陸軍若クハ海軍後備後備役ニ服スル者ハ勤務演習ノ召集ニ應スル者ニハ出發當日ヨリ歸着前日マデ俸給ヲ支給セズ

第十四條 俸給ヲ支給スルニ當リ計算上厘位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨シ日割計算ノ法ハ其月ノ現日數ニ據ル

第十五條 押丁給仕小使等ニモ此規則ヲ適用ス

●島根縣訓令第六十五號 明治二十七年九月二十四日

郡役所 警察署 警察分署 監獄支署 縣立學校  
 縣立病院 縣立藥劑院 縣立檢驗所 測候所 縣立育種場  
 縣立勸業展覽場

明治一十六年十月島根縣訓令第七十六號地方稅俸給支給規則中左ノ如ク更正ス

第二條 轉任ノ下ニ復職ノ二字ヲ挿加ス

第四條 第一項廢職ノ上ニ休職ノ二字ヲ加ヘ第二項左ノ如ク改メ第三項ヲ追加ス

第六條ニ據リ減給スル者前項ノ場合ニ於テハ其際減給ノ全額ヲ支給ス

第十四條ニ據リ減給スル者第一項ノ場合ニ於テハ其際休職前ノ俸給全額ヲ支給ス

第五條 廢職ノ上ニ休職ノ二字ヲ加フ

第十四條 縣立學校職員ニシテ休職ヲ命ゼラレタル者ハ俸給ヲ支給セズ其職務ノ爲メ傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルニ由ル者ハ俸給三分ノ一ヲ支給ス

原第十四條ヲ第十五條トシ原第十五條ヲ第十六條トス

照第百八十三號  
 十一月三十一日  
 令

島根縣訓令第百八十二號 明治二十七年十二月十九日

郡役所 警察署 警察分署 監獄支署 縣立學校  
 縣立病院 縣立藥劑院 測候所 育種場

明治一十六年五月島根縣訓令第六十三號地方稅旅費規則中左ノ一條ヲ追加ス但此訓令ハ明治二十八年一月一日ヨリ施行ス

第五條 郡吏員檢田測量及土木工事等ノ爲メ現場ヲ巡視スルモ内國旅費規則第十條ノ準據セズ一般ノ例ニ據リ旅費ヲ支給ス

●島根縣訓令第五十五號 明治二十七年三月二十二日

郡役所 警察署 警察分署 監獄支署 縣立學校  
 縣立病院 縣立藥劑院 測候所 育種場

明治二十六年五月島根縣訓令第六十五號地方稅旅費額別表ノ如ク更正ス但明治二十七年度ヨリ施行ス

地方稅旅費定額表

職名種類	旅車賃	海運賃	馬賃	當日	召集旅費	陸路雜費
尋常師範學校長 (委任待遇)	五〇	五〇	一〇〇	八〇〇		
尋常師範學校教諭 (委任待遇)	四〇	四〇	五〇	四〇〇		
尋常中學校長	四〇	四〇	五〇	四〇〇		
尋常中學校教諭	四〇	四〇	七〇	四九〇		
縣立病院院長	四〇	四〇	七〇	四九〇		
縣立病院副院長	四〇	四〇	七〇	四九〇		
縣立學校教員檢定委員	四〇	四〇	七〇	四九〇		

△印ハ赤字

縣立學校教諭、助教諭、書記、監監、訓導、監獄、醫師	三〇	四〇	七〇	四九〇		
監獄、醫師	三〇	四〇	八〇	四八〇		
巡查	三〇	四〇	四〇	三〇	五〇	
土木工師	六〇	六〇	一五〇	一、二八〇		
警察臨時雇員	四〇	四〇	七〇	五〇〇		
小學校教科用圖	三五	三五	五〇	四〇〇		
書審查委員	三五	三五	五〇	四〇〇		
測候所長	三五	三五	五〇	四〇〇		
縣立病院調劑長	三〇	三〇	五〇	三五〇		
分科委員	三〇	三〇	五〇	三五〇		
縣立病院醫員	三〇	三〇	四〇	三〇〇		
調劑員、書記、書記	三〇	三〇	四〇	三〇〇		
縣立醫院醫員	三〇	三〇	四〇	三〇〇		
檢瀝醫	三〇	三〇	四〇	三〇〇		
縣立育種場取捨	三〇	三〇	四〇	三〇〇		
雇員	三〇	三〇	四〇	三〇〇		
土木雇員(日常ノ外旅費ヲ支給セラルモノ)	三〇	四〇	七〇	五〇〇		
漁業教師	三〇	四〇	七〇	五〇〇		
押丁	三〇	三〇	七〇	二五〇		四〇

名等級	一	二	三	四	五	六	七
巡查部長區内	三、七五〇	三、二五〇	二、七五〇	二、二五〇	一、七五〇	七五〇	
日當月額							

備考

一朱字、明治十九年六月内務省令第十一號ノ規定額ノ示ス

●島根縣訓令第八十三號 明治二十七年十二月十九日

郡役所 警察署 警察分署 監獄支署 縣立學校  
 縣立病院 縣立醫院 測候所 育種場  
 本年三月島根縣訓令第五十五號地方稅旅費定額表申郡書記ノ欄左ノ如ク更正ス但此訓令ハ明治二十八年一月一日ヨリ施行ス

郡 書 記 四〇 四〇 五〇 十二圓未満 四〇 三五〇

●島根縣訓令第十一號 明治二十八年一月十六日

郡役所 警察署 警察分署 監獄支署 縣立學校  
 縣立病院 縣立醫院 測候所 育種場  
 明治二十七年三月本縣訓令第五十五號地方稅旅費定額表職名中郡常師範學校長以下二十九字係ヨリ縣立學校長(委任官委任待遇共)縣立學校教諭委任待遇ト郡書記ノ次尋常中學校長トナルヲ縣立學校長ト更正ス

第三類

賞典

●乙第四十三號 明治十二年三月十七日

賞與達方之儀、付、客年一月十五日付無號達之趣モ有之候處右之内賜品アルモノハ郡役所へ喚起部長、

第三類 賞典

十三年郡令  
 第四十三號

傳達シ褒詞ノミニシテ賜品ナキモノハ其町村戸長ヘ下ニ傳達可爲致尤褒詞中最モ奇特ト保ルモノハ郡長ノ見込ヲ以テ特ニ喚起傳達スルハ適宜タルヘシ此旨相達候事

●郡乙第四十七號 明治十三年六月二十二日 郡 役 所

篤行奇特者賞譽遠方之儀ニ付客歲乙第四十三號ニ以テ相達候儀有之候處自今賜品アルモノト類モ郡役所近傍ニシテ往復便利ノモノヲ除クノ外惣テ戸長役場ニ遞送シ傳達可爲致此旨相達候事

●郡乙第十三號 明治十六年二月十五日 郡 役 所

自己ノ危難ヲ顧ミズ人命ヲ救助セシモノ又ハ德行卓絶ナル者女子願節又ハ公衆ノ利益ヲ與ヘ成績著明ナル者或ハ貧民學校設立ノ類有之具狀スル書面ハ自今左ノク條可成詳細取調書中脱誤ノ文字等無之様調査ノ上可致池達此旨相達候事

登記スヘキ要件

- 一 住所族籍
- 一 官位勳等
- 一 姓名年齢
- 一 受賞受刑ノ有無賞罰トモ其全文ヲ記スヘシ
- 一 巨長等ノ具狀書
- 一 賞典ヲ賜ルヘキ要旨ノ内
- 一 人命救助者
- 一 最モ危難ト見認ムヘキ實況
- 一 數人ニテ救助セシ場合ニ於テハ其内最モ先盡力ノ者ヨリ甲乙ノ區別
- 一 水難者ヲ救助スルモノハ游泳ヲ其所ニ到リシヤ又ハ船隻或ハ助網等ヲ以テセシヤノ區別
- 一 水難者ハ救助者ノ船又ハ陸上ノ距離及河海ノ淺深廣狭水勢ノ緩急等

德行 者

- 一 履歴
- 一 平素ノ行狀
- 一 其志行最卓絶ト見認ル件
- 一 其志操ヲ不變年數
- 一 公益ヲ興セシ者
- 一 平素ノ志行
- 一 事業經營ノ始末及將來維持ノ方法及費金額該金ハ本人ヨリ支出セシヤ又ハ其親
- 一 學校病院等ヲ設立セシモノハ其構造並ニ建坪其他教師生徒及患者等ノ員數
- 一 疏河築堤修路ニ係ルモノハ工事ノ模様著手及ヒ竣工ノ年月施工前後實地ノ景況又ハ川幅堤等ノ里程間數詳細繪圖面ヲ要ス
- 一 右ノ外ト雖トモ緊要ノ件ハ記載ヲ要ス
- 郡乙第二十七號 明治十九年四月八日 郡 役 所
- 德行者人命救助者公益ヲ起ス者又ハ金穀物品寄附者等賞與授與ノ前重罪ノ刑ニ處セラレタルモノハ授與セザル儀ニ付賞與傳達方相達候節右ニ當ルモノハ該辭令及賞品返納シ又既ニ褒章ヲ賜ハル者ニシテ全刑ニ處セラレタルモノハ該品沒收可相成ニ付引揚ケ進達スヘシ此旨相達候事
- 但明治十三年 本縣郡乙第三十四號達ハ廢止ス
- 訓令第二十八號 明治二十一年二月二十四日 郡 役 所
- 來ル明治二十一年度以降町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關シ金穀物件ヲ寄附スル者ノ賞與ハ該金穀物件ニ付キ町村會ノ議決ヲ經タル上施行スヘキ筈ニ付右議決ヲ經タル上賞與方申請スヘシ但該金穀物件納済ノ上ハ從前ノ如シ

十四年乙卯  
十六年乙酉  
十七年乙亥  
十八年乙丑  
十九年乙卯  
二十年乙巳  
二十一年乙未  
二十二年乙酉  
二十三年乙亥  
二十四年乙丑  
二十五年乙卯  
二十六年乙巳  
二十七年乙未  
二十八年乙酉  
二十九年乙亥  
三十年乙丑

救恤

●乙卯百六十四號 明治十二年八月八日

那 町 村

自今貧民救恤規則左之通相定有費途地方規ヨリ支出候條此旨相達候事

貧民救恤規則

第一條

一此規則ハ親戚隣保及該町村既ニ教育ノ情誼ヲ盡ス能ハス之ヲ明治七年第六十二號公達ニ照スモ其規則ニ適セス遂ニ門扉ニ乞食シ道路ニ倒死セントスルモノ、爲ニ設ケルナリ故ニ第二條以下ニ適スルモノヲモ他ニ教育スヘキ道アルモノハ此規則ヲ以テ救恤セサルモノトス

第二條

一極貧ノ者癡疾ニ罹リ及七十年以上ノ者老衰シテ産業ヲ營ム能ハス餘ノ家人アリト雖トモ事故アリ養育ニ若支目下窮迫ノ者ニハ一ケ年米一石一斗ノ割ヲ以テ給與ス

第三條

一極貧ノ者疾病ニ罹リ營業ヲナス能ハス餘ノ家人アリト雖トモ事故アリ養育スル能ハス目下窮迫ノ者ニハ一日男三合女米二合ノ割ヲ以テ給與ス

第四條

一同上十三年以下ノ者ニテ餘ノ家人アリト雖トモ事故アリ養育スル能ハス目下窮迫ノ者ニハ一ケ年米七斗ノ割ヲ以テ給與ス

第五條

一癡疾疾病ニアラスト雖トモ極貧ニシテ十年以下ノ幼兒三人以上ヲ有シ他ニ家人ナク目下窮迫ノモノハ一ケ年米七斗ノ割ヲ以テ給與ス

第六條

一同上極貧ニシテ一家中廢疾ニ係ルモノ二人以上アリ他ニ家人ナク目下窮迫ノモノハ一ケ年米一石一斗ノ割ヲ以テ給與ス

但其癡疾者皆十三年以下ナルトキハ一ケ年米七斗ノ割ヲ以テ給與スヘシ

第七條

一同上極貧ニシテ一家中長病ニ罹ルモノ二人以上アリ他ニ家人ナク日家窮迫ノモノハ病中一日男米三合女米二合ノ割ヲ以テ給與ス

第八條 一前條掲ル所ノ條件ニ當リ救助ヲ受クヘキモノハ一家一人ニ限ルト雖トモ困難ノ事情ニヨリ詮議ノ上二人以上救助スルコトアルヘシ

第九條

一親戚隣保又ハ其町村協救スルモノ上雖トモ若シ幾分ノ補助ヲ不仰ハ違ニ保育ノ効ヲ全フスル能ハサル事情アルカ如キハ其幾分救助ノ義申出ツヘシ

第十條

一癡病ノ者タリトモ糊口ノ道立ツヘキモノナリトセス故ニ其困難實際不得止者ニ非レハ救恤セサルモノトス

第十一條

一幼少或ハ疾病ノ爲救助ヲ受クルモノハ成長或ハ全快ノ期篤ト調査シ在再給與ヲ仰カサル様注意スヘシ

第十二條

一前條掲クル所ノ石數ヲ以テ給與スルハ勿論ト雖トモ定額以內ヲ以テ定レトモカ如キハ其數實地至當ニ斟酌申出ツヘシ

第十三條

一ケ年ノ給米ハ三ヶ月分ヲ取束其初月ニ後ナノ兩月ヲ括シ日割給米ハ一ヶ月分ヲ其月初ニ換揚ケ相渡スヘシ且給與米ハ惣テ其地給與米ハ惣テ其地前月下米平均相場ヲ以テ石代給與スヘシ

第三類 C救恤

但本人死去等ノ節ハ渡過アルモ返納ニ及ハス

第十四條

一救助願出ルトキハ本人願書ニ該町村議員二名以上連署スヘシ且左條ニヨリ實際ヲ斟酌シ成分及ヘシニ付逐條詳細取調願出ツヘシ

但該町村議員二名以上連署スルハ本人願出ルモ若シカラス

戸籍寫

疾病及ヒ癩疾ニ罹ルモノハ醫師ノ診斷書

親戚ノ住所族籍姓名職業貧富等

親戚及該町村内協救スル能ハサル次第該町村戸數反別

本人家屋及所有地ノ有無

本人並家族ノ職業

●乙第六十八號 明治十四年十月三日

郡 町 村

明治十二年ハ本縣乙第六十四號達貧民救恤規則第三條(左ノ但書追加並第四條第五條第六條中幼弱ノ者ハ救助米額(七斗)ヲ(五斗)ト更正候條此旨相違候事

一極貧ノ者疾病ニ罹リ營業ヲナス能ハス但癩癩症ニ罹リ看護ノ爲メ病體構造スヘキモ實際赤貧ニシテ之ヲ爲シ能ハサル者ハ實地審査ノ上補助費トシテ金拾圓マテ給與ス

●乙第三百三十六號 明治十七年八月二十七日

郡 町 村

明治十二年ハ本縣乙第六十四號達貧民救恤規則第十四條左之通改正候條此旨相違候事

第十四條

一救助願出ルトキハ本人親戚連署親戚ナキハ保人保ノ戸主ニ名以上連署又ハ親戚ニ名以上連署又ハ隣保ノ戸主一名以上連署出願セムヘシ但左ノ各項戸長ニ於テ詳曲具狀スヘシ

一 戸籍寫

二 疾病及癩疾ニ罹ルモノハ醫師ノ診斷書

三 本人及家族ノ職業

四 本人及家族ノ財産

五 是迄生計ノ次第及自今活路ナキ次第

六 家族ニ於テ養育スル能ハサル次第

但疾病及癩疾ニ罹ルモノハ第二項ニ依ル

七 親戚隣保ニ於テ保育スル能ハサル次第

八 親戚ノ住所族籍姓名年輪本人トノ積柄職業貧富(附在ノ)

九 該町村内ニ於テ協救スル能ハサル次第

十 該町村ノ戸數及耕宅地ノ反別

●訓令第二百三十一號 明治二十二年十二月二十七日

島 廳

郡 役 所

市 役 所

戸 長 役 場

町 村 役 場

明治十二年ハ乙第六十四號達貧民救恤規則第十四條又ハ隣保ノ戸主二名以上連署ノ下所轄町村役場及郡役所又ハ戸長役場及島廳又ハ市役所ヲ經テノ二十七字ヲ挿入ス

●訓令第二百二十七號 明治二十一年八月十四日

島 廳

郡 役 所

地方稅支給窮民救助米代自今毎一年度豫算ヲ以下渡候條明治十二年ハ本縣乙第六十四號貧民救恤規則第十條ニ據リ渡方取計毎年度二期(前半年度ハ其年十月後半年度ハ翌年四月)ニ別紙書式ニ照準シ精算報告スヘシ

但實費ニ對シ過不足アルトキハ上納又ハ増費請求スヘシ且現ニ窮民無之向ハ豫算配付セス

(別紙)

何年度前 後 半期窮民救助米代精算報告書

第三類 ○救恤

一金 内譯 元 受 高

年 月 日 領 收

年 月 日 領 收

前 期 越 高

支 拂 高

支 拂 殘 高

差 引

但別紙正當證書何葉ノ通

金 (但年月日何號ヲ以上納済)

右何年度前 半年期窮民救助米代精算書面ノ通相違無之候也

年 月 日

島 司 署 名

郡 長

知 事 宛

訓令第四百十九號 明治二十一年十月三十一日 島 郡 郡役所 戸長役場

町村費補助及私費養育ニ係ル稟見並養育費本年一月ヨリ每一ケ年左記表式ニ據リ取調戸長ハ翌年一月二十日

限島廳又ハ郡役所ニ進達シ島廳又ハ郡役所ハ更ニ之ヲ通計シ全二月五日限リ本廳ニ進達スヘシ

但明治十九年十一月訓令第七十五號ハ廢止ス

乘 兒 並 養 育 費

明治何年島 郡 名(戸長役場名)

費 途	前年より越員	新タニ養育	養育ヲ廢セシ者	本年末ノ現員	町村費補助ノ代額
町村費補助					
私 費					
合 計					

一 町村費補助ノ欄ニハ官費養育ノ者ヲ町村費ニテ補助スル所ノ者ヲ掲載スヘシ

一 新タニ養育セシ者ノ欄ニハ拾ヒ上ケシモノ及他管ヨリ轉入セシモノニシテ町村費補助又ハ私費ノ者若シ

ハ官費(地方税町村費補助共)ヨリ私費ニ私費又ハ官費(地方税補助トモ)ヨリ町村費補助ニ移リシ者等ヲ掲ケ養育ヲ廢セシ者ノ欄ニ

ハ滿十二年ヲ過シ者又ハ他人ノ養子女トナリシモノ(養育費ヲ受ケ)及ヒ他管ニ轉出又ハ死亡又ハ私費若シハ官

費(地方税補助トモ)トナリテ町村費補助ヲ止メ官費(地方税補助トモ)トナリテ私費ヲ止メン等ノモノヲ掲ケヘシ

●訓令第三十九號 明治二十二年三月一日 島 郡 郡役所 戸長役場

迷兒ハ乘兒ニ準シテ取扱ヒ家元發見シ若シ其費用辨償ノ資力ナキトキハ官費ヨリ支拂セラルヘシ

●島根縣訓令第七號 明治二十六年二月四日 島 郡 郡役所 市役所

國庫費又ハ地方税ヲ以テ救助ヲ受クル貧民ニシテ左ノ各項ニ該當スル者之アルトキハ速ニ申報スヘシ

但地方税救助米下渡ノ際ハ其都度特ニ調査ヲ遂ケ之ニ該當スル者アルトキハ其下渡方ヲ停止シ置キ先ツ指

揮ヲ受クヘシ

一 救助米ヲ仰ガサルモ自ラ他ニ飢餓ヲ免カル、ノ途ヲ得タル者又ハ親戚其他ヨリ新ニ救助ヲ受クル者

廿六年訓令  
第四十二  
號參照

第三類 ○救恤



二 戸籍上異動ヲ生シタル者

三 本人失踪逃亡旅行未決拘留又ハ拘留若シハ輕禁錮以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケ確定シタルトキ

四 罹病中救助ヲ受クル者其疾病輕快ニ赴キタル者

五 餘ノ家人失踪逃亡若シハ入監シタル者又ハ其所在判明若シハ出監シタル者

六 餘ノ家人中其年齢七十年地方稅救助ノ者ニ限リ又ハ十五年ニ滿ツル者

七 餘ノ家人中疾病ノ故ヲ以テ救助ヲ受クル者其疾病輕快ニ赴キタル者

●島根縣訓令第四十二號 明治二十六年十一月九日 島 廳 郡役所 市役所

明治二十六年ニ島根縣訓令第七號中左ノ通改正削除ス

四 罹病ノ爲ノ救助ヲ受クル者又ハ餘ノ家人中疾病ノ故ヲ以テ救助ヲ受クル者其疾病輕快ニ赴キ廢救支ナキ者

六 削除

七 削除

●島根縣訓令第二十二號 明治二十六年四月十九日 島 廳 郡役所 市役所

國庫費ヲ以テ養育米代ヲ受クル棄兒及誘兒ニシテ左ノ各項ニ該當スル者之アルトキハ速ニ申報スヘシ

一 家元發見シタルトキ

二 住所ノ異動

三 失踪逃亡並死亡

四 未決拘留又ハ拘留若シハ輕禁錮以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケ確定シタルトキ

命令告示

●丙第三號 明治十九年四月九日

法律命令ニ係ル施行期限之儀今般勅令第一號ヲ以制定相成候コ付テハ島地ハ所轄郡役所ニ官報到達ノ翌日ヨリ起算スヘシ答ニ候處海士知夫兩郡ハ該地戸長役場ニ到達ノ翌日ヨリ起算候儀ト心得ヘシ右ハ其前ノ裁可ヲ

廿四年訓令  
第百二十四號

經テ此旨隱岐國ニ布達候事

●甲告第百二十四號 明治十九年四月二十九日

北海道廳及他府縣ニ係ル公証製印簿更正諸鑑札紛失又ハ溺死人其他官報ニ掲載公報之件ハ自今本縣ニ於テ別ニ告示及ハス候條右官報ニ就キ相心得公証簿ニ係ル件又ハ行衛知レサルモノ所在見聞ノ者等ハ戸長役場ニ申出諸鑑札拾得其他ノ者ハ警察署分署交番所之内ニ届出ツヘシ

右告示候事

●訓令第百二十四號 明治二十一年六月八日 隱岐島 廳

島令ヲ發シタルトキハ當廳ニ即報スヘシ

●訓令文第十二號 明治二十二年七月一日 隱岐島 廳

戸長役場ニ特令ニ出ル訓令内訓訓示及島司名ヲ以テ廳内ニ令達及人民ニ特達スルモノハ印刷筆記ノ別ナク渾テ地方稅諸達書費ヨリ支辨ス

但用紙ノ儀ハ別紙豫算ニヨリ收支取計毎三月精算スヘシ(別紙ハ容ス)

●島根縣訓令第二〇四號 明治二十四年三月二十五日 隱岐島 廳

明治二十二年七月訓令文第十二號中島司名ヲ以テ下ニ「廳内ニ令達及」ノ六字ヲ挿入シ來ル四月一日ヨリ施行ス

●島根縣訓令第八十四號 明治二十三年九月八日 郡役所 市役所

官報ニ登載セラレタル各官廳又ハ府縣ニ對スル内閣及各省訓令中本縣郡役所市役所ニ於テ施行スヘキ事項ハ自今該官報ニヨリ直ニ施行スヘシ

●島根縣訓令第八十四號 明治二十四年四月三十日 島 廳 郡役所 市役所 戸長役場 町村役場

五月一日以後北海道廳及他府縣ニ係ル左ノ件ハ官報ニ據リ了知スヘシ

第三類 命令告示

一 郡市役所町村役場水火災等ニ罹リ書類焼失又ハ流亡ノ件  
一 市町村ノ廢置分合及名稱境界變更ノ件

●島根縣令第八號 明治二十六年十一月二十五日  
島縣令郡令ハ令書ヲ戶長役場又ハ町村役場ニ頒付スルヲ以テ公布トシ明治二十六年十二月一日ヨリ施行ス

●島根縣令第三十三號 明治二十八年四月十七日  
本縣令ハ山陰新聞松江日報ニ登載スルヲ以テ公布ノ方法トス

但兩新聞同時ニ休刊スルトキハ其間令書ヲ島縣郡役所市役所戶長役場町村役場ニ配付スルヲ以テ公布ノ方法トス  
本令ハ本年五月一日ヨリ施行ス

●島根縣訓令第四十三號 明治二十八年四月十七日

島 廳 郡役所 警察署 警察分署 收稅署 監獄支署  
出納官吏 分任收入官吏 物品會計官吏 縣立學校 縣立醫院  
縣立癲癩院 縣立檢瀝所 測候所 育種場 土木管區員派出所  
市役所 戶長役場 町村役場 市町村立小學校

本縣訓令ハ本年五月一日ヨリ山陰新聞松江日報ニ登載シ令書ヲ頒付セス  
但兩新聞同時ニ休刊中及特別訓令ハ別ニ令書ヲ配付ス

●島根縣告示第五十二號 明治二十八年四月十七日  
本縣告示及告諭ハ本年五月一日ヨリ山陰新聞松江日報ニ登載シ兩新聞同時ニ休刊スルトキハ其間印刷物ヲ島縣郡役所市役所戶長役場町村役場ニ配付ス

●島根縣訓令第八十七號 明治二十七年四月三十日  
島 廳 郡役所 市役所 戶長役場 町村役場

市町村立小學校

島根縣令訓頒布部數左ノ通り定ム  
一 縣令告示告諭

島 廳	三部内一部揭示用	郡役所	三部内一部揭示用
市役所	三部内一部揭示用	戶長役場	二部内一部揭示用
町村役場	二部内一部揭示用	市町村立小學校	一部(學校長兼員ノ職務ニ直接關係アルモノ)
一訓令			
島 廳	二部	郡役所	二部
戶長役場	一部	市役所	二部
願 届		市町村立小學校	一部

●第七十八號 明治五年八月九日  
附來諸願伺届等ニテ出願致シ候節印形用意可致候此段相違候事

●甲第十號 明治九年一月十七日  
凡建白書工是迄取捨指令致シ來候處右ハ銘々意見ヲ上陳スルモノコシテ固ヨリ尋常乞願ノ類ニ非サレハ自今指令不及候條此旨可相心得候事

右之通管内無遺相違スルモノ也  
●丙第一號 明治十一年一月十日  
凡建白書ハ銘々意見ヲ上陳スルモノコシテ固ヨリ尋常乞願ノ類ニ非サレハ其取捨指令ニ不及候條此旨爲心得

石見因幡伯耆隱岐四ヶ國へ布達候事  
但是迄進達有之分モ本文全様ノ儀ト可相心得候事

●郡乙第二十三號 明治十三年二月二十八日  
郡 役 所

廿二年告示  
第五十三號  
廿三年告示  
第五十七號  
廿六年告示  
第六十號  
廿七年告示  
第六十號

凡期限ヲ定メタル諸進達書ハ豫テ其期日ニ注意シ給テ調理進達々々進達スヘキハ勿論ニ候處近々追々候儀ニ  
流レ遲滞スルノミナラス甚キニ至テハ期ヲ過ケルモ何等不申出主務課長ヨリ再三督促ノ末滞クコソテ延期  
申請ノ向モ不少哉ニ相聞不都合ノ事ニ候條爾後ハ一層勉勵期限進達々々進達可致萬一期日調理難出來事情有  
之節ハ其狀ヲ具シ必前以猶豫可申立若シ其儀無之等閑ニ差置候ニ於テハ其責專ラ郡長ニ歸スルハ勿論ニ候條  
事務不遲滞様豫テ適宜ノ方法ヲ設ケ自今不都合無之様厚シ注意可致此旨相達候事  
但本文ノ趣意各町村戸長ヘモ豫テ相達置爾後一層嚴重取捕可致候事

郡 町 村

●乙第四十六號 明治十四年七月二日  
縣廳又ハ郡役所ヘ金員上納ノ際納人ヨリ差出ス納證書並ニ戸長ヨリ縣廳又ハ郡役所ヘ差出ス上申届書ニ限  
文向短縮ノモノハ自今半葉野紙ニ認メ差出スモ不苦候條此旨相達候事

●告示第十五號 明治二十二年一月十七日  
人民ヨリ差出ス諸願届書左記ノモノヲ除ク外自今一通差出スヘシ  
但願届書ノ前文ヘ必ス其要旨ヲ摘ミ何々之件願届ト記載スヘシ

- 一 獸醫開業試驗願
- 一 鐵山借區願
- 一 鐵山試掘願
- 一 砂鐵採取願
- 一 農商務省種馬牛貸與願
- 一 以上三通
- 一 地籍變換ニ關スル願
- 一 官地借用及使用ニ關スル願

- 一 社寺ニ關スル願
- 一 徵兵ニ關スル願國民兵ニ關スル願
- 一 地租ニ關スル願地籍變換ニ關スル願
- 一 酒醬油ニ關スル願
- 一 以上三通

右之外特例アルモノ  
●告示第五十三號 明治二十二年三月三十日  
本年一月告示第十五號中(一農商務省種馬牛貸與願)ノ一項及(以上三通)ノ四字ヲ削除シ左ノ一項ヲ增加ス  
一通洞願

●告示第五十七號 明治二十二年四月四日  
本年一月告示第十五號中徵兵ニ關スル願ノ一項ヲ削除ス  
●告示第五十三號 明治二十二年十一月九日  
本年一月告示第十五號中左ノ二項ヲ削除ス

- 一 獸醫開業試驗願

●島根縣告示第六十六號 明治二十三年四月二十二日

明治二十二年一月告示第十五號中(地籍變換ニ關スル願)(社寺ニ關スル願)ノ二項ヲ削除ス  
●島根縣告示第十八號 明治二十七年二月七日

明治二十二年一月告示第十五號中左ノ一項ヲ削除ス  
一 地租ニ關スル願届

●訓令第八號 明治二十二年一月十七日

●第三類 C 願届

島 廳 郡 役 所

凡ソ諸願伺書ハ島廳郡役所限リ指令ヲ與フルモノ自今別紙ヲ以テ指令スヘシ

●訓令第二十七號 明治二十二年二月七日 島 廳 郡 役 所

人民ノ出願ニ據リ鑑札ヲ下付スルモノハ自今別ニ指令ヲ要セス直ニ鑑札下付スヘシ

●訓令第九號 明治二十二年一月十七日 島 廳 郡 役 所 戶長役場

自今島廳郡役所戶長役場ニ於テハ豫メ簿冊ヲ編製シ人民ヨリ當廳ニ差出ス願伺届ノ要旨年月日等記載ノ上成規ノ手續ヲ以テ進達シ當廳ヨリ指令ヲ與フルトキハ其要旨等記入(成規アルモノ)ハ下付スヘシ又願書(國民典ニテ除キ徵兵ニ關スル願書一過)ニ就キ簿冊ノ訂正ヲ要スルモノハ處理ノ後進達スヘシ

但戶長役場ノ島廳郡役所ニ於ケルモ亦全シ

●訓令第六十八號 明治二十二年四月四日 島 廳 郡 役 所 市 役 所 町 村 役 場 戶 長 役 場

本年一訓令第九號中屆書ノ下國民兵ニ關スル屆云々ノ割註ヲ削除ス

●縣令第九號 明治二十二年七月三十一日 常 關 及 常 關 所 屬 官 衙 ニ 差 出 ス 可 キ 願 届 書 ハ 左 ノ 例 規 ニ 據 ル 可 シ

願 届 書 差 出 方 例 規

第一條 凡願届書ハ半紙可成ニ認メ前行ニ要旨ヲ摘ミ何々之件類ト記載シ末行ニ年月日及本籍住所其住居ハ現族籍氏名ヲ記シ其氏名ノ下ニ實印ヲ捺シ知事又ハ島司郡長警察署長全分署長市長戶長町村長等ヲ宛テ本人ヨリ直ニ當廳及當廳所屬官衙ニ差出スヘキモノトス

第二條 凡願届書ニシテ島廳郡役所警察署全分署市役所又ハ戶長役場町村役場等ヲ經テ差出スヘキ特例アルモノハ各其例ニ據ル

第三條 前項島廳郡役所警察署全分署市役所戶長役場町村役場等ヲ經由スル願届書ハ島司郡長警察署長全分署長市長又ハ戶長町村長等ニ於テ願届書ノ前行ニ加印スヘシ若シ意見アルトキハ別ニ其意見ヲ附申スヘシ

廿二年訓令第六十八號

廿二年縣令第九號

島 廳 郡 役 所

●縣令第二十一號 明治二十二年十一月二日

本年一訓令第九號願届書差出方例規第二條左ノ通改正ス

第二條 凡願届書ニシテ用紙又ハ書式又ハ島司郡長市長戶長町村長等ノ與印與書式又ハ島廳郡役所警察署全分署市役所戶長役場町村役場等ヲ經テ差出スヘキ特例アルモノハ各其例ニ據ル

●告示第五十號 明治二十二年十一月二日

本年一訓令第九號願届書差出方例規第一條ニ據リ半紙ヲ用ユヘキ願届書ト雖トモ事經易ニシテ簡短ナルモノハ便宜郵便端書ヲ用ユルコトヲ得

●訓令第二百七號 明治二十二年十一月二日

常關ニ差出スヘキ書面ニシテ事經易簡短ナルモノハ便宜郵便端書ヲ用ユルコトヲ得

但特ニ用紙ヲ定ムルモノハ此限ニアラス

●島根縣告示第一號 明治二十三年一月七日

左ノ願書ニシテ縣廳ニ可差出モノハ町村役場及郡役所又ハ戶長役場及島廳又ハ市役所ヲ經島廳郡役所ニ可差出モノハ戶長役場若クハ町村役場ヲ經ヘシ

一 社寺ニ關スル願届

一 外國人ニ關スル願届

一 航路標識條例ニ關スル願届

一 地種變換並地所官民有區別ニ關スル願

一 官地拂下ケ下渡土石掘採ニ關スル願

一 水面借用願

一 官地拜借人其拜借地ニ於ケル所有ノ建物ヲ誓入質及賣買讓與ノ與書願

●島根縣告示第二十七號 明治二十三年二月二十七日

二 願 ○ 願

廿三年告示第廿七號  
廿五年告示第廿七號  
號參照



川原町		福山		松前郡					
		松前郡				山越郡			
江良町村	根部田村	福島村	吉岡村	大澤村	直轄	郡役所	長萬部村	八雲村	落部村
原口村	赤神村	白符村	禮部村	上及部村	寅向町	東上町	神明町	袋町	小松前町
江良町村	札前村	福島村	吉岡村	大澤村	傳治澤町	東中町	馬形上町	横町	松城町
游部村	根部田村		宮吹村	荒谷村	山ノ上町	東下町	馬形中町	藏町	大松前町
	茂草村			炭燒津村	及部町	東新町	馬形下町	中川原町	枝ヶ崎町
	雨垂石村						泊川町	端立町	川原町
									中町
									湯殿澤町
									西館町
									愛宕町
									新荒町
									唐津内町
									生符町
									總社堂町
									博知石町
									砂原村
									掛瀨村
									落部村
									八雲村
									山越内村
									長萬部村

		七飯村		龜田郡					
茅部郡		上磯郡		龜田郡					
鹿部村	白尻村	尾札部村	森村	知内村	木古内村	茂透地村	上磯村	大野村	七飯村
鹿部村	白尻村	尾札部村	石倉村	知内村	札部村	茂透地村	上磯村	一本木村	大野村
	熊泊村		宿野透村	小谷石村	木古内村	石別村	濱川村	本郷村	大中山村
			森村		泉澤村		中野村	市渡村	七飯村
			磁ノ木村		釜谷村		谷好村	文月村	大中山村
			蛇谷村				富川村	千代田村	七飯村
									藤城村
									鹿下村
									鶴野村
									軍川村
									尻岸内村
									椴法華村
									尻岸内村
									戸井村
									小安村

久遠郡		爾志郡		檜山郡		江差		中歌町				
貝取洞村	久遠村	熊石村	乙部村	上ノ國村	俄虫村	泊村	直轄					
平田内村	太田村	熊石村	乙部村	石崎村	館村	田澤村	寺小屋町	影ノ町	法華寺町	津花町	詰木石町	東新町
貝取洞村	上古丹村	相沼内村	小茂内村	小砂子村	鶴村	伏木戸村	五勝手村	澤茂尻町	上野町	濱茂尻町	豊部内町	北新町
長磯村	久遠村	泊川村	突符村	上ノ國村	俄虫村	柳崎村	中茂尻町	任平治町	酒田町	九艘川町	川原森町	中新町
	湯ノ尻村		三ノ谷村	木ノ子村	赤沼村	川村	小平澤町	彌陀堂町	新地製町	新地製町	中歌町	川原森町
			蚊杜村	沙吹村	安野呂村	小黒部村	庭町	切石町	新地製町	新地製町	片原町	片原町

岩内郡		磯谷郡		島收郡		壽都郡		壽都郡		岩内郡	
直轄	郡役所	湖路村	島古丹村	永豊村	黒松内村	樽岸村	政治村	直轄	郡役所	瀬棚村	太樺村
幌似町	御鏡内町	湖路村	本目村	永豊村	黒松内村	湯別村	政治村	大磯町	六條村	瀬棚村	太樺村
野束町	難波町	有戸村	島古丹村	千走村	樽岸村	樽岸村	矢追町	岩崎町	開進町	梅花都村	古樺太村
敬島内町	梨野舞納町	程前村	能津登村	江泥邊村	原歌村	原歌村		開進町	渡島町	中歌村	良留石村
新田町	吹上町	美谷村	尻別村	原歌村	歌島村			渡島町	新築町	此羅村	磯泊村
	老古美町	熱郭村								島歌村	青苗村

第三類  
〇願屋

西五丁目		南二條		札幌區		札幌區		積丹郡		美國郡		古平郡		仁木村											
石狩郡		親船町		江別村		豐平村		山鼻村		下手稻村		琴似村		札幌村		野塚村		小泊村		濱町		仁木村			
當別村		花畔町		江別村		豐平村		山鼻村		上手稻村		琴似村		札幌村		余別村		野塚村		船淵村		群來村		濱町	
當別村		生振村		對雁村		白石村		圓山村		下手稻村		發寒村		苗穂村		來岸村		日司村		小泊村		沖村		港町	
樽川村		親船町		(石狩郡)		上白石村		山口村		山口村		丘珠村		神戶村		入舸村		厚苦村		澤江村		入船町		山道村	
若生町		濱町		篠津村		平岸村		雁來村		雁來村		山脚村		西河村		觀武意村		歌樂村		丸山町		九山町		新地町	
八幡町		仲町		月寒村		月寒村		篠路村		篠路村		篠路村		篠路村		篠路村		篠路村		篠路村		篠路村		篠路村	

第三類  
C類

量徳町		小樽郡		高島郡		古宇郡		堀株村		堀株村		堀株村	
余市郡		忍路郡		朝里村		神惠内村		泊村		堀株村		堀株村	
濱中町		忍路村		(小樽郡)		神惠内村		興志内村		堀株村		堀株村	
川平町		盤谷村		手宮裏町		赤石村		赤石村		堀株村		堀株村	
山日町		忍路村		南濱町		赤石村		赤石村		堀株村		堀株村	
馬川村		桃内村		北濱町		赤石村		赤石村		堀株村		堀株村	
山田村		藤島村		高島村		赤石村		赤石村		堀株村		堀株村	
春部村		梅川町		祝津村		赤石村		赤石村		堀株村		堀株村	

御針内町



厚田郡	濱益郡	千歲郡	空知郡	夕張郡	樺戸郡	雨龍郡	上川郡	増毛郡
厚田村	茂生村	千歲村	市來知村	岩見澤村	瀧川村	山仁村	月形村	新十津川村
厚田村	川下村	千歲村	島松村	市來知村	岩見澤村	瀧川村	山仁村	月形村
聚富村	厚田村	島松村	市來知村	岩見澤村	瀧川村	山仁村	月形村	新十津川村
望來村	小谷村	島松村	市來知村	岩見澤村	瀧川村	山仁村	月形村	新十津川村
嶺泊村	別狩村	島松村	市來知村	岩見澤村	瀧川村	山仁村	月形村	新十津川村
古淵村	安瀬村	島松村	市來知村	岩見澤村	瀧川村	山仁村	月形村	新十津川村
押琴村	渡邊村	島松村	市來知村	岩見澤村	瀧川村	山仁村	月形村	新十津川村
茂生村	茂生村	島松村	市來知村	岩見澤村	瀧川村	山仁村	月形村	新十津川村

留萌郡	苫前郡	天鹽郡	中川郡	上川郡	宗谷郡	枝幸郡	利尻郡	禮文郡	網走郡
留萌村	鬼鹿村	苫前村	苦前村	燒尻村	稚内村	枝幸村	鬼脇村	鷺泊村	船泊村
留萌村	鬼鹿村	苫前村	苦前村	燒尻村	稚内村	枝幸村	鬼脇村	鷺泊村	船泊村
留萌村	鬼鹿村	苫前村	苦前村	燒尻村	稚内村	枝幸村	鬼脇村	鷺泊村	船泊村
留萌村	鬼鹿村	苫前村	苦前村	燒尻村	稚内村	枝幸村	鬼脇村	鷺泊村	船泊村
留萌村	鬼鹿村	苫前村	苦前村	燒尻村	稚内村	枝幸村	鬼脇村	鷺泊村	船泊村
留萌村	鬼鹿村	苫前村	苦前村	燒尻村	稚内村	枝幸村	鬼脇村	鷺泊村	船泊村
留萌村	鬼鹿村	苫前村	苦前村	燒尻村	稚内村	枝幸村	鬼脇村	鷺泊村	船泊村
留萌村	鬼鹿村	苫前村	苦前村	燒尻村	稚内村	枝幸村	鬼脇村	鷺泊村	船泊村
留萌村	鬼鹿村	苫前村	苦前村	燒尻村	稚内村	枝幸村	鬼脇村	鷺泊村	船泊村

浦河村		浦河郡			
靜内郡	新冠郡	沙流郡	浦河郡	白老郡	
下下方村	門別村			直轄	郡役所
狭布村	有良村 遠佛村 音江村	萬指村 比字村 (新冠郡)	荷葉橋村 波惠村 平取村 佐瑠太村	幌別村 野深村 浦河村	社登村
邊訪村	遠別村 婦登村 幕別村	滑若村 泊津村 大狩部村	厚別村 慶能舞村 二風谷村 富仁家村	萩伏村 向別村	敷生村
幌毛村	佐妻村 市父村	高江村 栗朽村 栗實村	賀張村 賀負村 平賀村	西舍村 後新村	白老村
兒孫村	野家村 摺別村	去登村 受乞村	長知内村 賀家別村	杵臼村 後邊戸村	後邊戸村
本桐村	春立村 勢栗村	元神部村 姉去村	門別村	井邊沢村	姉茶村
	目名村 勢栗村		荷葉村		

室蘭郡							北見町	
札幌通	室蘭	有珠	幌別	室蘭	紋別	常呂	斜里	
勇拂郡	虻田郡	西紋郡	襟別村	直轄	郡役所	常呂村	斜里村	
植生苗村	虻田村	有珠村 黄金茶村	輪西村	濱町	札幌通	澤木村	野付牛村	常呂村
似灣村	厚真村	似灣村	似灣村	似灣村	似灣村	似灣村	似灣村	似灣村
累標村	鶴川村	鶴川村	鶴川村	鶴川村	鶴川村	鶴川村	鶴川村	鶴川村
種別村	井目別村	井目別村	井目別村	井目別村	井目別村	井目別村	井目別村	井目別村
邊富内村	邊富内村	邊富内村	邊富内村	邊富内村	邊富内村	邊富内村	邊富内村	邊富内村

厚岸郡		川上郡	阿寒郡	足寄郡	白糠郡	上川郡	河東郡	河西郡	訓路	
太田村	霧多布村	樽月町	熊牛村	舌辛村	白糠村					大津村
太田村	樽月町 霧多布村	樽月町 真龍村 別巻邊牛村	熊牛村	舌辛村	(白糠郡) 陸別村	人舞村	幸震村	伏古村	(河西郡) 刺苞村	止若村
	濱中村	松葉町 苦多村	塘路村	徹別村	白糠村	屈足村	湖援村	美生村	上帶廣村	唎別村
	後群村	梅香町 床深村	弟子屈村	龜牛村	鹿路村	西士村	寶買村	芽室村	下帶廣村	奈別村
	琵琶瀬村	若竹町 末廣村	屈路村	飽別村	尺別村	美登村	(河東郡) 美登村	羽帶村	白入村	白人村
	敷布村	赤渡村 瑞穂洞村	虹別村		(足寄郡)	(上川郡)	普更村	戸為村	追別村	別奴村

中川郡		十勝郡	當麻郡	廣尾郡	釧路郡		幌泉郡	様似郡	三石郡	
			茂寄村	昆布森村	鳥取村	直轄	郡役所	幌泉村	様似村	姨布村
幌蓋村	信取村	豐頃村	生剛村	(十勝郡) 大樹村	(廣尾郡) 大樹村	昆布森村	鳥取村	釧路村	米町	近呼村
負原村	蓋浜村	十弗村	愛牛村	大津村	茂寄村	跡永賀村	鳥取村	柱懸村	真砂町	油駒村
煤侶村	居邊村	調塞村	(中川郡) 長白村	長白村	(當麻郡) 歷舟村	仙鳳趾村	浦見町	小越村	阪露村	菅内村
本別村	押帶村	煤舞村	旗來村	蕨奴村	歷舟村		帶舞町	阪別村	庶野村	冬島村
煤多村	勇足村	磐牛村	安骨村	十勝村	當麻村		州崎町	後群村		二七村

紗那郡	常磐町	根室郡	根室郡	花咲郡	野付郡	標津郡	目梨郡	得撫郡	新知郡	占守郡	國後郡	色丹郡	紗那郡	
直郡役所	和田村	直轄	和田村	別海村	標津村	泊村	斜古丹村	斜古丹村	有前村	別飛村	別飛村	別飛村	別飛村	
	(根室郡) 本町	(根室郡) 常磐町	(根室郡) 清隆町	(根室郡) 定基町	(根室郡) 幌茂尻村	(花咲郡) 沖根邊村	(新知郡) 沖根邊村	(根室郡) 和田村	(野付郡) 別海村	(根室郡) 西別村	(標津郡) 標津村	(目梨郡) 忠類村	泊村 東沸村	斜古丹村
	梅ヶ枝町	彌生町	千島町	鳴海町	厚別村	花咲村	婦羅理村	和田村	平糸村	走古澤村	伊奈仁村	蘆別村	留夜別村	有前村
	光内町	彌栄町	松本町	辨天町	友知村	齒舞村	(占守郡) 齒舞村	(花咲郡) 昆布盛村	野付村	(野付郡) 植別村	米戸賀村	秩別村	秩別村	別飛村
	松ヶ枝町	平内町	根室村	沙見町	沖根邊村	(得撫郡) 沖根邊村		落石村		茶志竹村	崎無具村			

十五年乙第  
百十九號

●乙第百七十八號 明治十二年八月二十八日 郡役所  
 神奈川縣奉職ノ巡查其父母疾病等ニ際シ辭職及ヒ歸省ヲ請願スル時ハ是迄其本管郡ノ添書ヲ要シ來候處以來  
 ハ其本管郡區役所ノ添書ヲ以テ請願スヘキ事ニ改正候旨同縣ヨリ通知ノ趣ニ有之候條爲心得此旨相違候事  
 ●乙第百七十一號 明治十五年七月三日 郡  
 大阪府巡查奉職ノ者父母疾病ニ付販省又ハ皆勤休暇等ニテ旅行中事故有之歸省延期願出ツルトキハ其地郡區  
 長戸長ノ証明ヲ受ケ其書面ヲ添可差出様相違候ニ付証明願出ノ者有之候ハ、証明書下付候様條ヲ管下ニ送方  
 同府ヨリ依頼越候條右等願出候節ハ速ニ証明書下付可致此旨相違候事  
 ●乙第百十九號 明治十五年十一月十七日 郡  
 本年七月三日付乙第七十一號ヲ以テ大阪府巡查奉職ノ者父母疾病又ハ賜假等ニテ旅行中歸省延期願出ノ節証  
 明書附與之儀ニ付相違候儀モ有之候處右父母疾病ニ付電報ヲ以出願スルモノハ其地戸長若シハ郡區長各ノ電  
 報ニアラサレハ聽許不致旨相違候趣ヲ以向又依頼越候條右等願出候有之節ハ其手續可取計此旨相違候事  
 ●乙第百八十六號 明治十五年八月八日 郡  
 鳥取縣巡查奉職ノモノノ父母疾病ニ罹リ歸省中又ハ慰勞休暇等ニテ旅行中洪水難船其他ノ事故有之歸省延期願  
 出ツルトキハ其地戸長浦役人等ノ証明ヲ受ケ可差出旨相違候ニ付証明下付ノ儀全縣ヨリ照會越候條右出願ノ  
 伺有之候ハ、証明下付可致此旨相違候事  
 ●乙第百六號 明治十五年十月七日 郡  
 京都府巡查奉職ノ者疾病ニ罹リ他管内ニ療養中又ハ歸省過勤其他賜假等ニテ旅行中事故有之歸省延期願出ツルトキ

第三類 ○願屆